

Nikon

レンズ交換式デジタルカメラ

1 AW1

活用ガイド



Jp

このたびは二コンレンズ交換式デジタルカメラをお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。お使いになる前に、この活用ガイドをよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- この活用ガイドでは、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- マルチセクターの上、下、左、右を、▲、▼、◀、▶と表記しています。

本文中のマークについて

この活用ガイドは、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときに活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



活用ガイド上で関連情報が記載されているページです。

⚠ 安全上のご注意

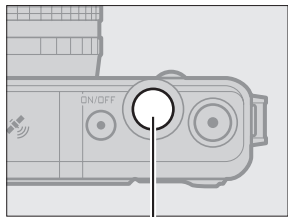
安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□□xii～xviiiをご覧ください。

1 AW1

このカメラを簡単に楽しむには	ii
目次	iv
 はじめに	1
 撮影前の準備	14
 静止画を撮影する/再生する	25
 カメラを水中で使う	48
 動画を撮影する/再生する	64
 さらに撮影を楽しむ（その他の撮影モード）	74
 撮影の便利な機能	86
 高度計/水深計、方位、水準器、位置情報機能（GPS/GLONASS）、ログ取得について	100
 いろいろな再生機能	114
 パソコン、テレビ、プリンターとの接続	125
 再生メニュー	146
 撮影メニュー	156
 動画撮影メニュー	181
 絵づくりメニュー	185
 セットアップメニュー	201
 資料	213

このカメラを簡単に楽しむには

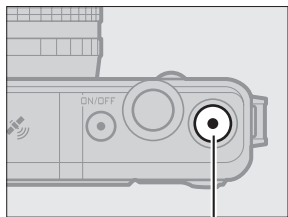
シャッターボタンで「静止画を撮る」



シャッターボタン

どの撮影モードでも、シャッターボタンを押すと静止画を撮影できます。撮影モードについては□10を参照してください。

動画撮影ボタンで「動画を撮る」



動画撮影ボタン

オートモード (□25)、クリエイティブモード (□34)、アドバンスド動画モード (□64) で動画撮影ボタンを押すと、動画が撮影できます。

カメラを「水中で使う」

専用防水レンズを取り付けることで、水深15 m以内で使用できます。水中に持ち込むことができる最長時間は60分間です。水中での使用方法については□48を参照してください。水中での撮影に便利な次の機能も使用できます。



- 画像の青みを調整しながら撮影する (□52)
- 水中撮影時の画像のゆがみを補正する (□54)
- 水中で内蔵フラッシュを使う (□54)

高度計/水深計、方位、水準器、位置情報機能 (GPS/GLONASS)、ログ取得機能を使う

屋外などで撮影するときに、次の機能を使用して撮影を楽しむことができます。

- 高度計/水深計や方位、水準器などの情報を表示する (□100)
- 画像に位置情報を記録する (□103)
- 位置情報/水深情報のログを保存する (□109)

目次

このカメラを簡単に楽しむには	ii
安全上のご注意	xii
耐衝撃性能、防水 / 防じん性能について	xix
耐衝撃性能	xix
防水 / 防じん性能	xix
<重要>専用防水レンズを取り付けて使用する場合の ご注意	xx
耐衝撃性能についてのご注意	xx
防水 / 防じん性能についてのご注意	xxi
使用環境についてのご注意	xxiii
<重要>位置情報機能 (GPS/GLONASS) についての ご注意	xxiv
ご確認ください	xxv

はじめに **1**

お使いになる前に	1
各部の名称	2

撮影前の準備 **14**

陸上専用ストラップを取り付ける	14
バッテリーを充電する	14
カメラにバッテリーとSDカードを入れる	15
専用防水レンズを取り付ける	18
カメラの電源をONにする	21
日付と時刻を合わせる	22
防水についての警告画面を確認する	23
バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数を 確認する	24

静止画を撮影する / 再生する

25

カメラまかせで撮影する (オートモード).....	25
撮影した静止画を再生する	28
画像を削除する	29
ライブコントロールで静止画を撮影する.....	32
シーンや効果を選んで撮影する (クリエイティブモード)....	34
クリエイティブモードで選べるシーンと効果.....	35
水中 (📷 (🌊 📷))	35
夜景 (🌃)	35
夜景ポートレート (📷)	35
逆光 (📷)	36
かんたんパノラマ (📷)	36
ソフト (0)	36
ミニチュア効果 (📷)	36
セレクトカラー (📷)	36
P、S、A、Mモードで撮影する.....	37
[逆光] で撮影する	44
[かんたんパノラマ] で撮影する	45

カメラを水中で使う

48

<重要>水中で使用するときのご注意.....	48
水中で使用する前のチェックをする.....	49
最終チェックをする.....	51
水中で撮影する.....	52
水中で撮影するときの便利な機能	54
水中で使用した後のお手入れをする.....	58
Oリングのお手入れについて	60

動画を撮影する / 再生する

64

HD動画を撮影する.....	65
HD動画の撮影中に静止画を撮影する	66
撮影した動画を再生する	67
動画を削除する	69
スローモーション動画を撮影する	70

さらに撮影を楽しむ（その他の撮影モード） 74

□ ベストショットを撮影する（ベストモーメントキャプチャー）.....	74
シャッターチャンスじっくり選ぶ（スロービュー）.....	74
ベストショットをカメラが選んで撮る（スマートフォトセレクト）.....	77
■ 静止画と短い動画を一緒に撮影する（モーションスナップショット）.....	82
撮影したモーションスナップショット画像を確認する.....	85
モーションスナップショット画像を削除する.....	85

撮影の便利な機能 86

連写で撮影する.....	86
セルフタイマーを使って撮影する.....	88
画像の明るさを調整する（露出補正）.....	90
内蔵フラッシュについて.....	91
アクションボタンで操作する（アクション操作）.....	95
撮影画面で撮影モードを変更する.....	95
再生画面で表示する画像を選ぶ.....	96
メニュー画面でアウトドア表示を切り換える.....	97
別売のワイヤレスモバイルアダプターを使用してスマートデバイスと連動する.....	98

高度計 / 水深計、方位、水準器、位置情報機能（GPS/GLONASS）、ログ取得について 100

高度 / 水深を画像に記録する.....	102
位置情報を記録する.....	103
位置情報機能の設定.....	106
位置情報 / 水深情報のログを保存する.....	109
保存したログデータを削除する.....	112
電子コンパスを補正する.....	113

画像情報を表示する	114
複数の画像を一覧表示する (サムネイル表示モード)	117
撮影した日付ごとに画像を表示する (カレンダー表示モード)	118
画像を拡大表示する	119
画像を削除する	120
再生中の画像を削除する	120
複数の画像をまとめて削除する	120
画像にレーティング (重要度) を設定する	121
スライドショーで再生する	122

パソコン、テレビ、プリンターとの接続

付属のソフトウェアをインストールする	125
付属のソフトウェアの動作環境	127
ViewNX 2 を使う	129
パソコンに画像を取り込む	129
ViewNX 2 を起動する	131
Short Movie Creator でショートムービーを作る	133
画像をテレビで見る	136
HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと 接続する	136
HDMI-CEC 対応テレビのリモコンでカメラを 操作する	138
画像をプリンターで印刷する	139
カメラとプリンターを接続する	139
1 コマだけプリントする	140
複数の画像をプリントする	141
プリントしたい画像を指定する (プリント指定)	145

再生メニュー

146

画像選択画面について	148
撮影直後の画像確認	149
縦位置自動回転	149
プロテクト設定	149
レーティング	150
D-ライティング	150
リサイズ	151
トリミング	152
拡大時顔優先	153
動画編集	153
テーマの変更	155

撮影メニュー

156

撮影メニューのリセット	159
露出モード	159
画質モード	160
画像サイズ	161
画像の保存枚数	162
動画の前後比率	163
ファイル形式	164
測光モード	164
自動ゆがみ補正	165
色空間	166
アクティブ D-ライティング	167
長秒時ノイズ低減	168
光学手ブレ補正	169
電子手ブレ補正	170
フォーカスモード	170
マニュアルフォーカスでピントを合わせる	173
AF エリアモード	175
ターゲット追尾で撮影する	176
フォーカスロック撮影する	177

顔認識.....	177
内蔵 AF 補助光の照射.....	178
フラッシュ発光.....	179
フラッシュ調光補正.....	180
水中フラッシュ.....	180

動画撮影メニュー **181**

動画撮影のリセット.....	182
撮影速度.....	182
動画の設定.....	183
動画音声の設定.....	184

絵づくりメニュー **185**

絵づくりのリセット.....	185
ホワイトバランス.....	186
ホワイトバランスを選ぶ.....	186
ホワイトバランスを微調整する.....	187
事前に取得したホワイトバランスを使う (プリセットマニュアル).....	189
ISO 感度設定.....	192
Picture Control (ピクチャーコントロール).....	193
ピクチャーコントロールを調整する.....	194
Custom Picture Control (カスタムピクチャーコントロール).....	197
カスタムピクチャーコントロールを登録する.....	197
SD カードを使ってピクチャーコントロールを 対応ソフトウェアと共用する.....	198
高感度ノイズ低減.....	200

セットアップメニュー **201**

セットアップのリセット.....	203
メモリーカードの初期化.....	204
カードなし時リリース.....	204

モニター表示	205
モニターの明るさ	205
ハイコントラスト表示	205
格子線の表示	205
音の設定	206
オートパワーオフ	206
半押し AE ロック	207
操作ボタンロック	207
高度 / 水深設定	208
フリッカー低減	209
連番リセット	209
地域と日時	210
言語 (Language)	211
縦横位置情報の記録	211
ピクセルマッピング	212
ファームウェアバージョン	212

資料

213

使用できるアクセサリ	213
非防水 1 NIKKOR レンズの取り付け方	216
推奨 SD カード	219
使用できる Eye-Fi カード	220
カメラとパワーコネクタ、AC アダプターの 接続方法	221
カメラのお手入れについて	222
水中で使用した後のお手入れについて	222
保管について	222
クリーニングについて	223
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	224
カメラの取り扱い上のご注意	224
バッテリーの取り扱い上のご注意	227
設定できる機能一覧	229
撮影に関する設定の初期設定一覧	233
1 枚の SD カードに記録できるコマ数 (静止画) と 時間 (動画)	234

故障かな?と思ったら	238
電源・表示関連	238
撮影関連 (全モード共通)	239
撮影関連 (撮影モード P、S、A、M)	241
動画撮影関連	241
再生関連	242
位置情報機能関連	243
その他	244
警告メッセージ	245
主な仕様	249
電池寿命について	265
索引	267
アフターサービスについて	274

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラとレンズについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



バッテリーを取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。
バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

専用防水レンズを装着していないときや、バッテリー / SDカードカバーおよび端子カバーが開いているときに水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしない
発火や感電などの事故や故障の原因になります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



使用禁止

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと
失明や視力障害の原因となります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害の原因になります。撮影時には、1m以上離れてください。特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。



警告

水中で使うときは陸上専用ストラップを取り外す
首に巻き付くと窒息の原因になります。

警告 (カメラとレンズについて)



警告

ストラップが首に巻き付かないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない。
首に巻き付くと窒息の原因になります。



使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



警告

指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること
指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

注意 (カメラとレンズについて)



感電注意

専用防水レンズを装着していないときや、バッテリー /SD
カードカバーおよび端子カバーが開いているときにぬれた
手でさわらない
感電の原因になることがあります。



使用注意

カメラの電源がONの状態、長時間直接触れないこと
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になる
ことがあります。



保管注意

製品は幼児の手の届くところに置かない
ケガの原因になることがあります。



使用注意

逆光撮影では、太陽を画角から十分にすらすこと
太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることが
あります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になる
ことがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光の
あたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶついたりして、ケガの原因となることがあり
ます。

注意 (カメラとレンズについて)



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする
また、搭乗前に位置情報機能もOFFにする
全てのログの取得を終了する

病院では、病院の指示に従う

カメラが出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響
を与えるおそれがあります。

無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。

長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)
を外すこと



バッテリーを取る

バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因
となることがあります。



プラグを抜く

ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、
その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因
となることがあります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に
温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。



禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす
ことがあります。

危険 (専用リチウムイオン充電池について)



禁止

バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

バッテリーを分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

危険 (専用リチウムイオン充電機について)



危険

専用の充電機を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒を持ち運んだり、保管しないこと
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20は、Nikon 1 AW1に対応しています。



危険

バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用リチウムイオン充電機について)



保管注意

バッテリーは幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときにはビニールテープなどで接点部を絶縁する
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告 (専用リチウムイオン充電池について)



バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意 (専用リチウムイオン充電池について)



充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと
充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

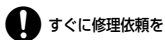
警告 (チャージャーについて)



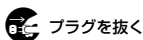
分解したり修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



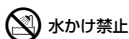
チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。

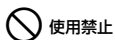


引火・爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。



電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると火災の原因となります。

警告 (チャージャーについて)



雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと
感電の原因になることがあります。



チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。

注意 (チャージャーについて)



ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



通電中のチャージャーに長時間直接接触れないこと
通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



製品は幼児の手の届くところに置かない
ケガの原因になることがあります。



布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

耐衝撃性能、防水/防じん性能について

耐衝撃性能

このカメラは、専用防水レンズを取り付けた状態でMIL-STD 810F Method 516.5-Shock※1に準拠した当社試験※2をクリアーしています。本製品の耐衝撃性能は当社試験方法によるもので、全ての条件で無破壊および無故障を保証するものではありません。

※1 米国防総省の試験方法の規格です。高さ122 cmから26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です（試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します）。

※2 MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準に、高さ200 cmから厚さ5 cmの合板上へ落下させる試験です。なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

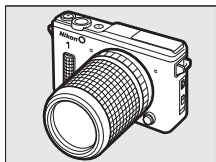
防水/防じん性能

このカメラは、専用防水レンズを取り付けた状態でJIS保護等級IP68に相当し、水深15 m以内で使用できます。水中に持ち込むことができる最長時間は60分間です※。全ての条件で無故障および防水/防じんを保証するものではありません。

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

<重要>専用防水レンズを取り付けて使用する場合のご注意

このカメラは、専用防水レンズを取り付けた状態で耐衝撃性能および防水/防じん性能を備えています。お使いになるときは、必ず次のご注意をお読みください。また、「安全上のご注意」(□xii~xviii)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□224~228)もお読みください。水中でお使いの場合は「カメラを水中で使う」(□48~63)もよくお読みの上、正しくお使いください。



- カメラに専用防水レンズを取り付けていないときは、耐衝撃性および防水/防じん性はありません。

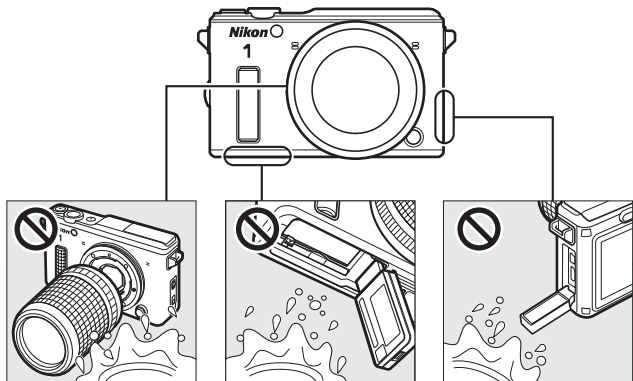
耐衝撃性能についてのご注意

- 内蔵フラッシュを上げている場合は耐衝撃性はありません。
- ぶついたり、落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えないでください。
- 水深15 mより深いところに持ち込まないでください。
- 急流、滝などの強い水圧がかかる場所に持ち込まないでください。
- バッグなどに入れるときは、上から重いものを載せたり、強く押ししたりして無理に詰め込まないでください。
- お客様の誤った取り扱いによる故障は保証の対象外です。



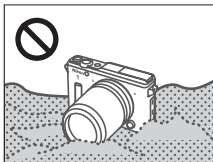
防水/防じん性能についてのご注意

- 専用防水レンズ単体では防水/防じん性はありません。
- 専用防水レンズ以外の付属品は防水/防じん仕様ではありません。
- 真水（プール、河川、湖など）と海水のみを防水の対象としています。
- 水深15 mより深いところに持ち込まないでください。
- 急流、滝などの強い水圧がかかるところに持ち込まないでください。
- 水道などからの水を勢よく当てないでください。強い水圧がかかり、浸水の原因となる場合があります。
- 水中に 60 分より長い時間連続して持ち込まないでください。
- 温泉には持ち込まないでください。
- カメラの内部は、防水/防じん性はありません。
- 水辺や水中にいるとき、手やカメラがぬれているときは、次のことにご注意ください。浸水や故障の原因となります。
 - レンズを取り外さないでください。
 - バッテリー /SDカードカバーおよび端子カバーを開けないでください。
 - バッテリー /SDカードカバーおよび端子カバーの開閉ノブやロックスイッチ、レンズ取り外しボタンを操作しないでください。
- ぬれたSDカードやバッテリーをカメラに入れしないでください。
- 水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でバッテリー /SDカードカバーや端子カバーの開閉、レンズの着脱を行わないでください。



- バッテリー /SDカードカバーまたは端子カバーの内側、レンズのOリング接触面に水滴などの液体が付着したときは、すぐに柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

- カメラの外側に異物が付着したときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- バッテリー /SDカードカバーまたは端子カバーの内側、レンズのOリング接触面に異物が付着したときは、すぐにブローアールなどで取り除いてください。防水パッキンの側面や四隅にも微小な砂粒などが付着することがありますのでご注意ください。
- 日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- 寒冷地での低温下または50℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化するおそれがあります。



- カメラやレンズに外部から力を加えると、変形して気密性が失われ、水漏れの原因となります。重いものを載せたり、落としたり強く押ししたりしないでください。
- ぶつかけたり落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能の保証対象外となります。カメラや専用防水レンズに衝撃が加わった場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談の上、防水性能の点検（有料）を依頼されることをおすすめします。
- 万一、水漏れが確認された場合はただちに使用を中止し、カメラとレンズの水分を十分に拭き取り、カメラとレンズをニコンサービス機関にお持ちください。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

使用環境についてのご注意

カメラと専用防水レンズは、 $-10^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ （陸上）、 $0^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ （水中）での動作確認をしています。

- 寒冷地では、バッテリーの性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が一時的に低下します。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して、暖めながら交互に使用してください。
- 寒冷地では、電源をONにした直後に液晶モニターが通常よりも暗くなったり、残像が発生したりするなど、性能が一時的に低下することがあります。
- 寒冷地でカメラの外側に雪や水滴などが付着したときは、すぐに取り除いてください。
 - ボタンやスイッチ類などが凍結すると、動きにくくなる場合があります。
 - マイクやスピーカーなどの穴が水滴などでふさがれると、音が小さくなったり、歪んだりする場合があります。
- 寒冷地でカメラの金属部に長時間直接接触すると、皮膚に傷害を与える原因となります。長時間ご使用の場合は手袋などをお使いください。
- 温度の変化が大きい環境や湿度が高い環境、および次のようなときは、レンズや液晶モニター、防水パッキンの内側がくもる（結露する）場合があります。カメラの故障や不具合ではありません。
 - 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - 寒冷地から屋内などの暖かい場所に持ち込む
 - 湿度が高い環境で、バッテリー/SDカードカバーの開閉や端子カバーの開閉、レンズの着脱を行う
- 専用防水レンズの取り付けまたは取り外しをするときは、乾燥した場所で行ってください。湿度が高い場所でレンズの取り付けまたは取り外しを行ったり、レンズの裏ぶたやカメラのボディーキャップを取り付けずに放置したり、バッテリー/SDカードカバーや端子カバーを開いたままにしたりすると、水中に持ち込んだときにレンズの内側がくもる（結露する）ことがあります。
- レンズや液晶モニターの内側に発生したくもりや結露をとるには、高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所にカメラを移動してください。カメラの電源をOFFにしてからバッテリー/SDカードカバーと端子カバーを開けてください。バッテリーとSDカードを取り出し、バッテリー/SDカードカバーと端子カバーを開けたままで乾燥させてください。周囲の温度になじませると、くもりが取れます。くもりが取れない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関にご相談ください。

<重要>位置情報機能（GPS/ GLONASS）についてのご注意

位置情報機能やログ取得機能を使うときは、次のことにご注意ください。

- セットアップメニュー [位置情報] (□103) の [位置情報記録] を [する] にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報機能やログ取得機能が作動します。航空機内や病院などの使用禁止・制限区域では、必ずログ取得を終了し、[位置情報記録] を [しない] にしてから、カメラの電源をOFFにしてください。カメラが出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定されるおそれがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルを、他人へ譲渡したりインターネットなど複数の人が閲覧できる環境に掲載したりする場合はご注意ください。「カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(□xxvi) も必ずお読みください。
- このカメラが計測する情報（方位、高度、水深など）は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください
- 中国および中国の周辺国の国境付近などでは、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2013年10月現在）。
- 位置情報機能付きカメラを外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。中国など、国によっては政府の許可なしに位置情報機能を使用できないことがあります。ログ取得を終了し、[位置情報記録] を [しない] にしてご使用ください。

ご確認ください

保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

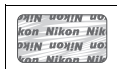
<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときの注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にセットアップメニューの「**位置情報記録**」(□103)を「**しない**」にしてから、SDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。SDカードに保存したログデータは、セットアップメニューの「**ログデータ削除**」で削除できます(□112)。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

カメラが熱くなったときは

- カメラボディ表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために警告メッセージが表示され、カメラの電源がOFFになります。電源をOFFにしたままカメラ内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - 静止画、動画撮影を長時間行った場合
 - 連写（連続撮影）を行った直後など

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください（□xxv）。

☑ カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械です。1年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

はじめに

お使いになる前に

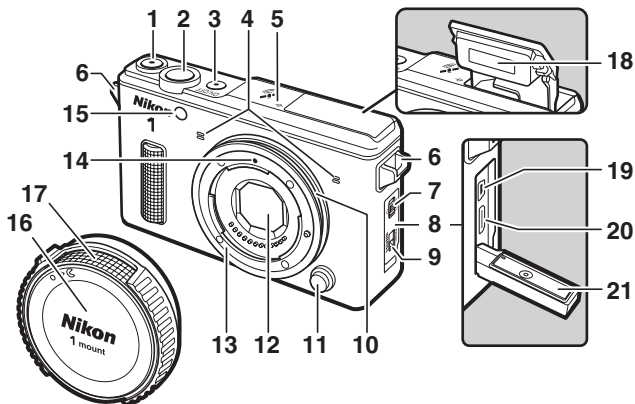


お使いになる前に、使用説明書を参照してカメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、不足のものがございましたら、ご購入店にご連絡ください。



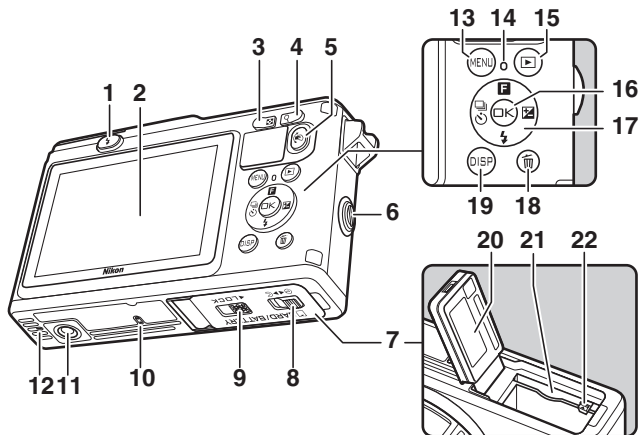
各部の名称

カメラ本体



1	動画撮影ボタン..... 64、65、71	10	Oリング..... 18、60
2	シャッターボタン26、30、66、76、78、83	11	レンズ取り外しボタン....20、218
3	電源スイッチ.....21 電源ランプ.....21	12	ダストシールド..... 223、225
4	マイク.....184	13	レンズマウント.....19、174
5	☉距離基準マーク.....174	14	レンズ着脱指標.....19
6	ストラップ取り付け部 (吊り金具).....14	15	AF補助光.....178 セルフタイマーランプ.....88 赤目軽減ランプ.....92
7	端子カバー開閉ノブ98、129、136、139	16	ボディーキャップ.....215
8	端子カバー98、129、136、139	17	Oリングプロテクター.....216
9	端子カバーロックスイッチ98、129、136、139	18	内蔵フラッシュ.....91
		19	USB端子.....98、129、139
		20	HDMIミニ端子.....136
		21	防水パッキン.....49





<p>1 フラッシュポップアップボタン 91</p> <p>2 液晶モニター 5、114、205</p> <p>3 縮小/サムネイルボタン 117</p> <p>4 拡大ボタン 119</p> <p>5 アクションボタン 95</p> <p>6 グリップ取り付けネジ</p> <p>7 バッテリー /SDカード カバー 15、16、221</p> <p>8 バッテリー /SDカードカバー 開閉ノブ 15、16、221</p> <p>9 バッテリー /SDカードカバーロッ クスイッチ 15、16、221</p> <p>10 スピーカー</p> <p>11 三脚ネジ穴*</p> <p>12 気圧調整穴</p>	<p>13 MENU メニューボタン 9</p> <p>14 SDカードアクセス ランプ 16、27</p> <p>15 再生ボタン 28、80、85</p> <p>16 OKボタン 8</p> <p>17 マルチセクター 8</p> <p>F (フィーチャー) 12</p> <p> (露出補正) 90</p> <p> (フラッシュモード) 91、92</p> <p> (連写/セルフタイマー) 86、88</p> <p>18 削除ボタン 29、120</p> <p>19 DISP 表示切り換えボタン 7</p> <p>20 防水パッキン 49</p> <p>21 SDカードスロット 15</p> <p>22 バッテリーロック レバー 15、16、221</p>
--	--

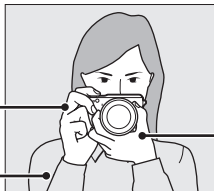
*このカメラでは三脚アダプター TA-N100は使用できません。

🔪 カメラの構え方

下図のようにしっかりと構えてください。

右手でカメラのボディを包むように持つ

脇は軽く締める

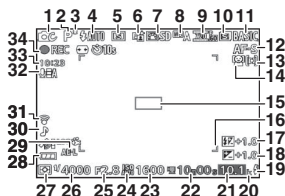


左手で下からレンズを支えるように持つ

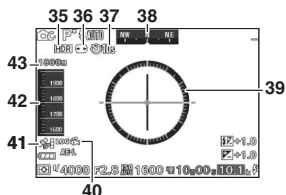


液晶モニター表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。



1	撮影モード	10	18	露出補正值	90
2	ライブコントロール	32	19	レディーライト	91
	クリエイティブモード	34	20	1000コマ以上補助表示	24
	ベストモーメントキャプチャー モード	74、77	21	記録可能コマ数	24
	アドバンスド動画モード	64、70		連続撮影可能コマ数	87
	露出モード	159		ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モード 表示	189
3	プログラムシフトマーク	37		カードなしマーク	204、245
4	フラッシュモード	91、92	22	録画可能残り時間	65、71
5	連写モード※ ¹	86	23	ISO感度	192
6	アクティブD-ライティング※ ¹	167	24	ISO感度マーク	192
				ISO-AUTOマーク	192
7	Picture Control※ ¹	193	25	絞り値	39、40
8	ホワイトバランス※ ¹	186	26	シャッタースピード	38、40
9	動画の設定 (HD動画)※ ¹	183	27	測光モード	164
	撮影速度 (スローモーション 動画)※ ¹	182	28	バッテリー残量表示※ ¹ 、 ²	24
10	画像サイズ※ ¹	161	29	AE-Lマーク	207
11	画質モード※ ¹	160	30	音の設定※ ¹	206
12	フォーカスモード※ ¹	170	31	Eye-Fi通信マーク※ ¹	220
13	AFエリアモード※ ¹	175	32	マイク感度※ ¹	184
14	顔認識※ ¹	31、177	33	録画中経過時間	65、71
15	AFエリア	26、175、176	34	録画中マーク	65、71
16	AFエリアフレーム※ ¹	171			
17	フラッシュ調光補正量	180			



35 HDR.....	44	40 ログ取得中マーク※1、2	110
36 自動ゆがみ補正.....	165	41 衛星受信状態表示※1、2	104
37 セルフタイマー.....	88	42 高度計/水深計※2	100
38 方位※2	101	43 高度/水深※2	100
39 水準器※2	101		

※1 DISPボタンを押して詳細表示にしたときに表示されます (□7)。

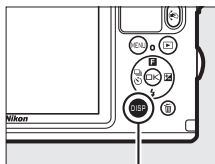
※2 DISPボタンを押して高度計/水深計、方位、水準器表示にしたときに表示されます (□7)。

関連ページ

液晶モニターの明るさを調整する → **Y** [モニター表示] の [モニターの明るさ]
(□205)

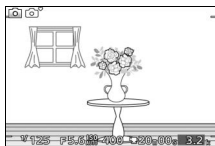
DISP (表示切り換え) ボタン

撮影時と再生時にDISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が切り替わります。

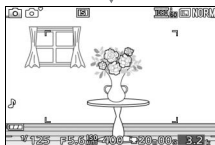


DISPボタン

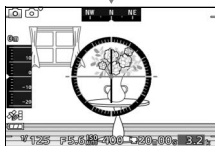
■ 撮影時 (5)



シンプル表示

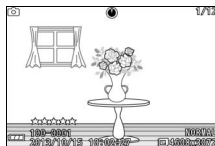


詳細表示

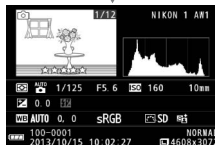


高度計/水深計、方位、水準器表示 (100)

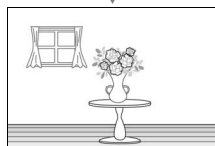
■ 再生時 (114)



情報表示あり



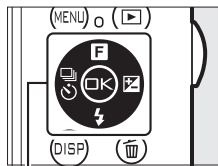
統合表示



画像のみ

マルチセクター

撮影時やメニュー画面表示中に設定を変えたいときは、マルチセクターとOKボタンを使います。



マルチセクター



撮影時 (F)

F (フィーチャー) の機能については、□12をご覧ください。

メニュー操作時 (▲)

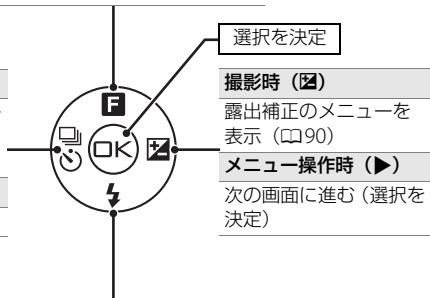
上の項目を選ぶ

撮影時 (📷)

連写とセルフタイマーのメニューを表示 (□86、88)

メニュー操作時 (◀)

前の画面に戻る



選択を決定

撮影時 (📷)

露出補正のメニューを表示 (□90)

メニュー操作時 (▶)

次の画面に進む (選択を決定)

撮影時 (⚡)

フラッシュモードのメニューを表示 (□91、92)

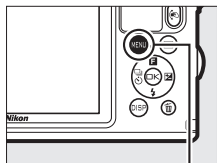
メニュー操作時 (▼)

下の項目を選ぶ

MENUメニューボタン

MENUボタンを押すと、次の画面が表示され、撮影モードの切り換えやメニュー項目の設定ができます。

- マルチセレクターの▲▼◀▶を押してアイコンを選び、OKボタンを押すと、各メニュー画面を表示します。



MENUボタン

再生メニュー (□146)

再生時の機能の設定ができます。

撮影モードメニュー

(□10)

撮影モードを選べます。

撮影メニュー (□156)

静止画撮影時の機能の設定ができます。



動画撮影メニュー

(□181)

動画撮影時の機能の設定ができます。

セットアップメニュー

(□201)

カメラの基本的な設定ができます。

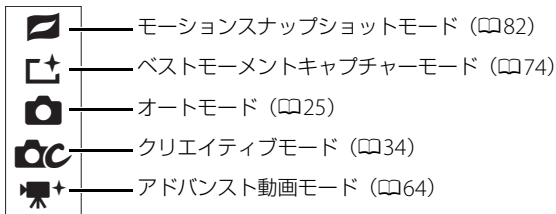
絵づくりメニュー (□185)

静止画、動画撮影時のホワイトバランスやISO感度、ピクチャーコントロールなどの設定ができます。

■ 撮影モードを選ぶ

MENU ボタンを押して [撮影モード] を選ぶと、撮影モードの選択画面が表示されます。

- マルチセクターの ▲▼ を押して撮影モードを選び、OK ボタンを押して決定します。



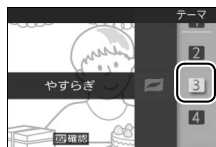
撮影モード選択中にマルチセクターの ▶ を押すと、各撮影モード特有の設定を変更できます。◀ を押すと、撮影モード選択画面に戻ります。



■ モーションスナップショットモード

「テーマ」を選択できます (84)。

- [きらめき] (1)
- [やすらぎ] (3)
- [ゆらめき] (2)
- [愛らしさ] (4)



■ アクション操作

撮影画面で (👁) ボタンを押したままカメラを左右に傾げると、撮影モードを選べます (95)。(👁) ボタンを放すと決定します。



📷ベストモーメントキャプチャーモード

ベストモーメントキャプチャーの機能を選択できます (□74)。

- [スロービュー] (📷)
- [スマートフォトセクター] (📷)



📷オートモード

「ライブコントロール」で、撮影する静止画の効果を液晶モニターで確認しながら調整します (□32)。

- [明暗差を調整する] (📷)
- [動きを表現する] (📷)
- [背景をぼかす] (📷)
- [明るさを変える] (📷)



📷クリエイティブモード

クリエイティブモードのシーンを選択できます (□34)。

- [プログラムオート] (P)
- [シャッター優先オート] (S)
- [絞り優先オート] (A)
- [マニュアル] (M)
- [水中] (📷)
- [夜景] (📷)
- [夜景ポートレート] (📷)
- [逆光] (📷)
- [かんたんパノラマ] (📷)
- [ソフト] (📷)
- [ミニチュア効果] (📷)
- [セレクトカラー] (📷)



🔊+アドバンスト動画モード

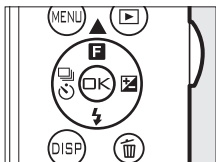
シャッタースピードや絞り値を自分で設定できるHD（High-Definition）動画と、スローモーション動画を選択できます（☞65、70）。

- [プログラムオート] (P)
- [マニュアル] (M)
- [シャッター優先オート] (S)
- [スローモーション] (🔊)
- [絞り優先オート] (A)



🔪 F (フィーチャー) について

- 各撮影モード特有の設定は、撮影画面でマルチセクターの**F** (フィーチャー) を押しても変更できません。

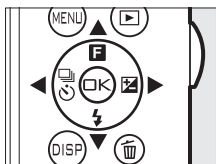


- 再生時に **F** (フィーチャー) を押すと、撮影した画像にレーティング (重要度) を設定できます（☞121）。



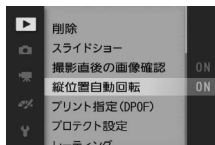
■ メニュー画面の操作方法

再生、撮影、動画撮影、絵づくり、セットアップの各メニュー画面は、マルチセレクター(□8)で操作します。



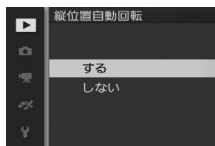
1 マルチセレクターの▲▼で設定したい項目を選び、▶を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。



2 ▲▼で設定したい項目を選び、○Kを押す

- 選んだ内容が決定されます。



📌 メニューについて

- 撮影モードやカメラの状態によって、表示されるメニュー項目は異なります(□229)。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません(□229)。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(□30)してください。

📌 メニューを切り換えるには

手順1の画面でマルチセレクターの◀を押すと、画面左端のアイコンが黄色く表示されます。▲▼でアイコンを選んで▶を押すと、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。

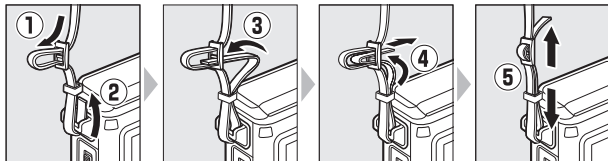




撮影前の準備

陸上専用ストラップを取り付ける

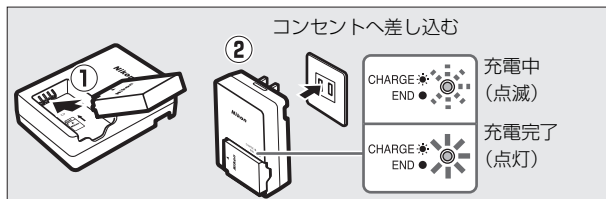
陸上専用のストラップAN-N1000を次のようにカメラに取り付けます(2カ所)。



- 水中でご使用になる場合は、陸上専用ストラップを取り外してください。カメラの落下防止のため、市販のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20は、お使いになる前に付属のチャージャーMH-27で次のようにフル充電してください。充電には約2時間かかります(残量の少ないバッテリーの場合)。

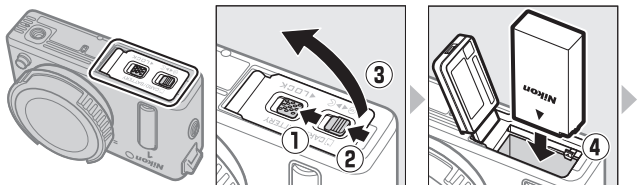


充電が完了したら、チャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。

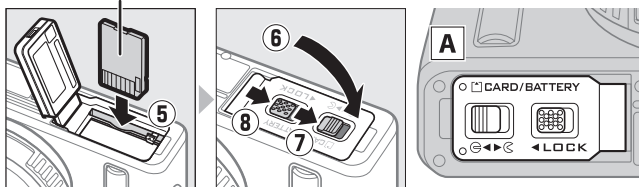


カメラにバッテリーとSDカードを入れる

バッテリーとSDカードを入れる向きに注意してください。



うら面



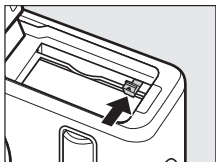
- ロックスイッチのロックを解除してから (①) 開閉ノブを操作し (②)、カバーをゆっくり持ち上げてください (③)。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーで固定されます (④)。
- SDカードはカチッと音がするまで挿入してください (⑤)。
- カバーを閉じてから (⑥) 開閉ノブを操作し (⑦)、ロックスイッチをロックしてください (⑧)。
- 開閉ノブおよびロックスイッチが図Aのようになっていることを確認してください。

▼ バッテリーやSDカードを出し入れするときは

バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

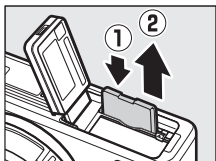
✎ バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



✎ SDカードを取り出すときは

電源をOFFにしてからSDカードアクセスランプ(□3)の消灯を確認し、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。SDカードを奥に押し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。



▼ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□xii～xviii)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□224～228)をお読みになり、記載事項をお守りください。
- チャージャーMH-27に対応していないバッテリーは、チャージャーMH-27で充電しないでください。
- チャージャーの「CHARGE」ランプが速く点滅する場合は、バッテリーの異常です。ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店または二コンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。

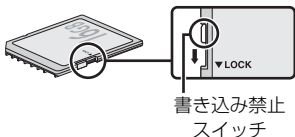


✔ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
 - SDカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

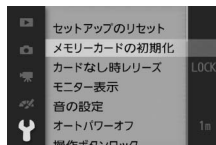
✔ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

- SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。
- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとしても、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。



✔ SDカードの初期化（フォーマット）

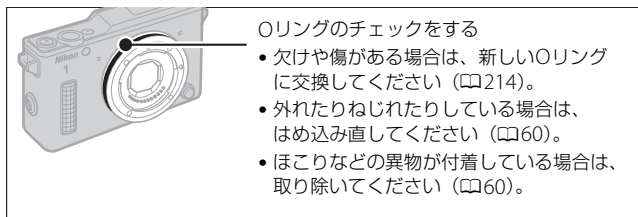
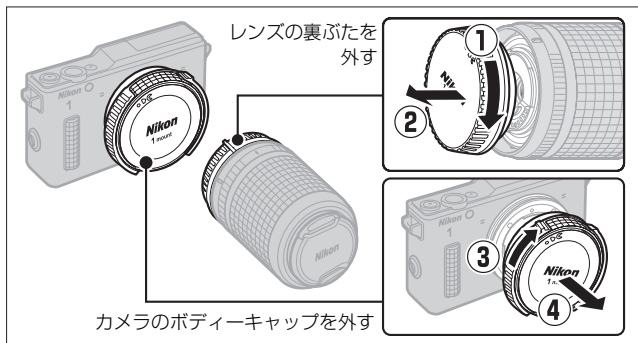
このカメラに初めて入れるSDカードや、他のカメラやパソコンで初期化されたSDカードは、セットアップメニュー [メモリーカードの初期化] で、画面の指示に従って初期化してください (□204)。SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください (□125、129)。

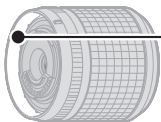


専用防水レンズを取り付ける

専用防水レンズを取り付けます。ほこりなどの異物がカメラ内部に入ったり、Oリングやその周辺に付着したりしないように注意してください。

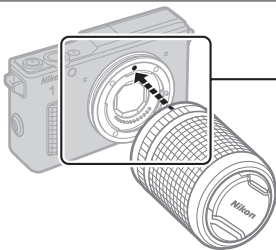
- この活用ガイドでは、主に1 NIKKOR AW 11-27.5mm f/3.5-5.6のレンズを使用して説明しています。
- 非防水1 NIKKORレンズの取り付け方については□216をご覧ください。





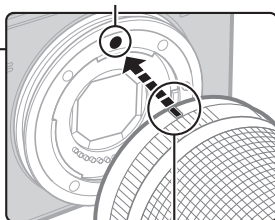
レンズのチェックをする

- レンズのOリング接触面にほこりなどの異物が付着している場合は、取り除いてください (□60)。

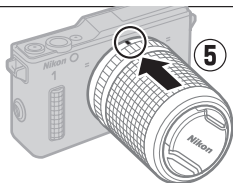


カメラの指標とレンズの指標
を合わせる

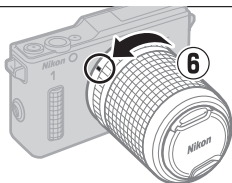
カメラの指標



レンズの指標



⑤ Oリングの上からレンズを被せるように合わせ、レンズを押し込む



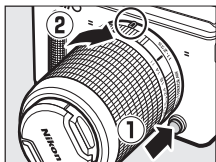
⑥ 確実に止まるまで、矢印の方向にレンズを回す

- レンズを押し込むときに、力を入れすぎてカメラやレンズを破損しないようにご注意ください。

❏ 防水レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら (①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し (②)、引き抜きます。

- レンズを取り外した後は、カメラのボディキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。

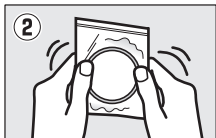


✔ 防水レンズ取り付け、取り外し時のご注意

- 防水レンズの取り付けまたは取り外しをするときは、カメラとレンズが完全に乾いていること、Oリングに欠けや傷がないこと、Oリング、およびレンズのOリング接触面 (□257) に、汚れや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒、液体などの異物が付着していないことを念入りにご確認ください。
- Oリングが外れたりねじれたりしていないかご確認ください。
- 水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でレンズの取り付けまたは取り外しを行わないでください。
- 海水など、塩分や水分の付いた手で、レンズの取り付けまたは取り外しを行わないでください。
- 水滴などがカメラまたはレンズの内部に落ちないように注意してください。

❏ 専用シリコングリスについて

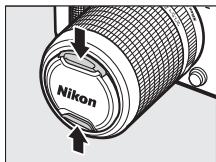
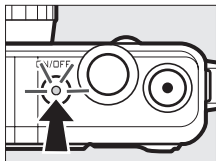
- 付属の専用シリコングリスをOリングに塗布すると、防水レンズの取り付けまたは取り外しが滑らかに行えるようになります (□214)。また、Oリングの摩耗も防げます。市販のビニール袋に米粒大のシリコングリスを入れ、ビニール袋全体になじませた後 (①)、Oリングを入れます。シリコングリスがOリング全体になじむようにもんで塗布してください (②)。
- 別売の専用シリコングリスWP-G1000も使用できます。
- Oリングが膨張したり変形したりする場合があります。専用シリコングリス以外は使用しないでください。



カメラの電源をONにする

電源スイッチを押すと、電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。

- もう一度電源スイッチを押すと、電源がOFFになります。電源がOFFになると、液晶モニターが消灯します。
- 撮影する前に、レンズキャップを外してください。



☑ 節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が約1分間続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 待機状態（電源ランプが点滅）を解除するには、シャッターボタンなどを操作してください。
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー [オートパワーオフ] (□206) で変更できます。

☑ レンズの取り付け、取り外しをするときは

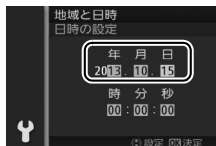
レンズの取り付け、取り外しをするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。電源をOFFにすると、撮像素子を保護するために絞りが遮光状態になります。

日付と時刻を合わせる

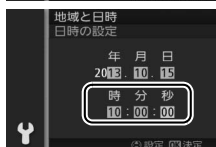
ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶を押して項目を選び、▲▼で数値を変えてください。



- 日付を設定します。日付を設定した後、▶を押して時刻の設定に移動します。



- 時刻を設定した後、OKボタンを押すと設定が完了し、防水についての警告画面(□23)が表示されます。



✎ セットアップメニュー [地域と日時]

設定した日付と時刻は、セットアップメニュー [地域と日時] (□210) の [日時の設定] で変更できます。[地域と日時] では、[日時の設定] の他に、[現在地の設定] (現在地のタイムゾーン)、[日付の表示順]、[夏時間の設定] を設定できます。

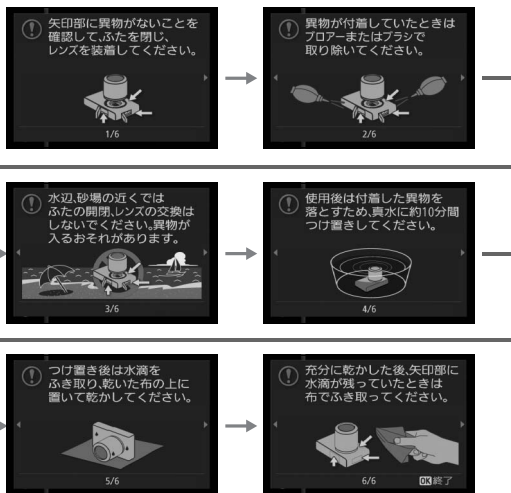
✎ カメラの内蔵時計について

- カメラの内蔵時計は、一般的な時計 (腕時計など) ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。
- カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れるか、別売のパワーコネクターEP-5CとACアダプターEH-5bを接続すると (□221)、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに [時計がリセットされました。] と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

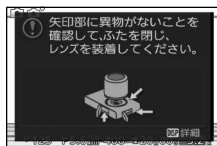


防水についての警告画面を確認する

ご購入後、初めて電源をONにしたときは、日付と時刻の設定の後に防水についての警告画面が表示されます。メッセージの内容をよくお読みください。マルチセクターの◀▶を押すと、前後のページを表示します。最後のページでOKボタンを押すと、終了して撮影画面を表示します。

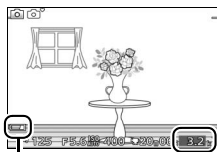


- バッテリーを交換した後などにも、防水についての警告画面が数秒間表示される場合があります。警告画面の表示中にDISPボタンを押すと、◀▶で前後のページを表示できるようになります。OKボタンを押すと、終了して撮影画面を表示します。



バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数を確認する

液晶モニターでバッテリーの残量と、SDカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）を確認します。






バッテリー
残量

記録可能
コマ数



■■ バッテリー残量

液晶モニター表示	意味
表示なし	残量は充分に残っています。詳細表示 (□7) の場合は、残量に応じて  または  が表示されます。
	残量は残りわずかです。予備のバッテリーを準備するか、バッテリーを充電してください。
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	バッテリーが消耗して撮影できません。バッテリーを交換するか、バッテリーを充電してください。

■■ 記録可能コマ数

SDカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。

- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは「k」マークが点灯します。「k」は1000を意味しており、たとえば1260コマ撮影できるときは、「1.2k」と表示されます。
- メモリーカードの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除するか (□120)、別のSDカードに交換してください。

静止画を撮影する/再生する

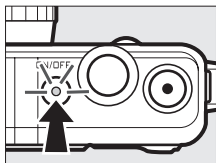
カメラまかせで撮影する（オートモード）

まずは、カメラまかせで静止画（写真）を撮影してみましょう。オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。






1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを押して、カメラの電源をONにします。



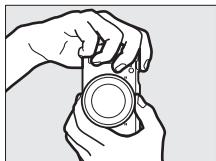
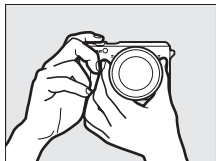
2 撮影モードを選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード]で（オートモード）を選び、ボタンを押します（10）。



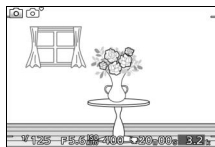
3 カメラを両手でしっかりと構える

- レンズやAF補助光、マイクなどに、指や髪、ストラップなどがかからないようご注意ください。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。

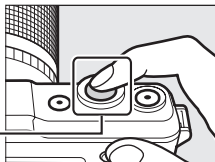


4 構図を決める

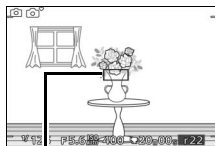
- 被写体を画面の中央付近に配置します。



5 シャッターボタンを軽く押し して（半押しして）、被写 体にピントを合わせる



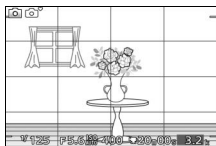
- ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、AFエリアが緑色に点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。
- AFエリアが赤く表示されたときは、オートフォーカスでのピント合わせができません（□172）。
- 暗い場所などでは、AF補助光（□178）が光ることがあります。



AFエリア

☑ 格子線の表示

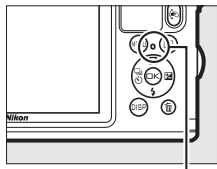
セットアップメニュー [モニター表示] の [格子線の表示] を [する] にすると、撮影時に構図用格子線を表示できます（□205）。



6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）、撮影する

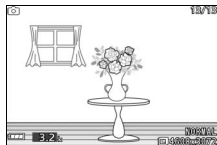


- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。



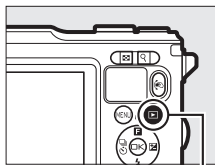
SDカード
アクセスランプ

- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- 画像の表示中でもシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

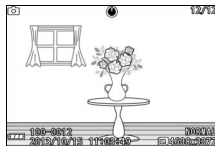


撮影した静止画を再生する

▶ ボタンを押して、画像を再生すると、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます（1コマ表示モード）。



▶ ボタン



- マルチセレクターの◀▶を押すと、前後の画像を表示できます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



📌 アクション操作

再生画面で👁️ ボタンを押したままカメラを左右に傾けると、表示する画像を選べます (📄96)。👁️ ボタンを放すと決定し、選んだ画像が1コマ表示されます。

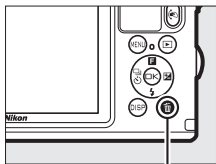


画像を削除する

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

1 削除したい画像を表示して、 ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます。

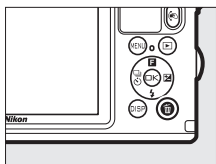


ゴミボタン



2 もう一度 ボタンを押して、表示中の画像を削除する

- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。そのまま深く押し込む（これを「シャッターボタンを全押しする」といいます）と、シャッターがきれます。



画像を連続して撮影するには

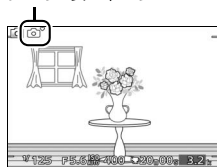
再生メニューの【撮影直後の画像確認】（□149）を【しない】に設定し、全押しした後に半押しした状態まで戻して再度シャッターボタンを全押しすると、連続して撮影できます。

シーンの自動判別について

オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだシーンのアイコンが表示されます。

シーンのアイコン

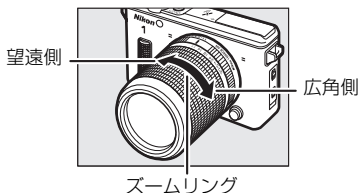


	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景	夕景や夜景を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合



🔪 ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。



🔪 人物を撮影する場合のピント合わせ（顔認識）

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、AFエリアが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合（最大5人まで）は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。

- シャッターボタンを半押しすると、二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。
- 途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。



🔪 設定できる機能について

オートモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□229）を参照してください。

🔪 再生メニュー【削除】

再生メニューの【削除】（□120）では次の方法で、複数の画像を一度に削除できます。

- 複数の画像を選んで削除する：選択画像削除
- 全画像を一括で削除する：全画像削除

🔪 関連ページ

- 撮影時の電子音が鳴らないように設定する → 🗣️ [音の設定]（□206）
- 撮影時や再生時に液晶モニターに表示される情報を切り換える → 「DISP（表示切り換え）ボタン」（□7）
- 「複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）」（□117）
- 「画像を拡大表示する」（□119）
- 撮影した画像をスライドショーで自動的に再生する → ▶️ [スライドショー]（□122）

ライブコントロールで静止画を撮影する

オートモードでマルチセレクターの **F**（フィーチャー）を押すと、[ライブコントロール] メニューが表示されます。ライブコントロールを使用すると、効果を確認しながら静止画を撮影できます。

- マルチセレクターで項目を選び、**OK** ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- 設定画面では、マルチセレクターの **▲▼** を押して、効果の度合いを調整できます。**OK** ボタンを押すと、効果の度合いを決定して撮影画面に戻ります。
- 撮影画面で **F** を押すと、ライブコントロールを解除します。



[明暗差を調整する]：

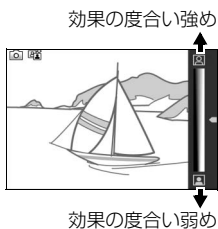
ハイライト部の白とびを抑え、シャドウ一部の黒つぶれを軽減してコントラストを調整します。



効果の度合い強め



効果の度合い弱め



☑️ ライブコントロール設定時のご注意

- [連写とセルフタイマー] (86) で [5fps]、[15fps]、[30fps]、[60fps] に設定していても連続撮影できません。
- 内蔵フラッシュは発光しません。
- 動画撮影ボタンを押すと、ライブコントロールを解除します。

[背景をぼかす]：

被写体周辺部のぼかしの度合いを調整します。メインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影したり、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影したりできます。

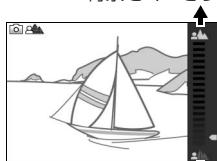


背景をくっきり



背景をぼかす

背景をくっきり



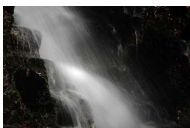
背景をぼかす

[動きを表現する]：

被写体の動きを強調する度合いを調整します。動きの速い被写体を止まっているように撮影したり、被写体の動きを強調して撮影したりできます。



動きを止める



動きを強調する

動きを止める



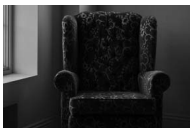
動きを強調する

[明るさを変える]：

画像全体の明るさを調整します。

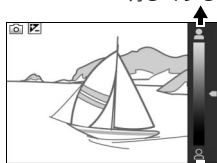


明るくする



暗くする

明るくする





暗くする

シーンや効果を選んで撮影する (クリエイティブモード)

シーンに合わせて撮影したり、特殊な効果をつけて撮影したりすることができます。シャッタースピードや絞り値を自分で決めて撮影することもできます。

1 撮影モード を選ぶ


- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード] で [] (クリエイティブモード) を選び、 ボタンを押します (□10)。

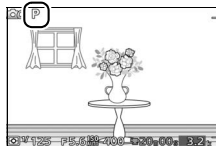


2 シーンを選ぶ





- マルチセレクターの **F** (フィーチャー) を押すと [クリエイティブ] メニューが表示されます。使用したいシーン (□35) をマルチセレクターで選びます。



-  ボタンを押すと、撮影画面に選んだシーンのアイコンが表示されます。



クリエイティブモードで選べるシーンと効果

シーン	内容
プログラムオート (P)	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します (□37)。
シャッター優先オート (S)	シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します (□38)。
絞り優先オート (A)	絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します (□39)。
マニュアル (M)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します (□40)。長時間露出で撮影することもできます (□42)。
水中 ( (∞) 	水中での撮影に使います (□52、53)。
夜景 ()	<p>夜の雰囲気表現して撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを全押しすると、連続で撮影して合成します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。 正しく合成されない場合、警告メッセージを表示して、連写した1枚目を保存します。 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
夜景ポートレート ()	<p>夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを全押しすると、フラッシュ発光した画像と発光しない画像を連続で撮影して合成します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。 正しく合成されない場合、警告メッセージを表示して、フラッシュ発光して撮影した画像を保存します。 内蔵フラッシュを上げてください。内蔵フラッシュを上げないと、撮影ができません。 撮影した画像の周辺部は切り取られます。

シーン	内容
逆光 (☀)	逆光状態での撮影に使用します (☐44)。
かんたんパノラマ (📷)	カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます。パノラマ写真の撮影と再生の方法は☐45を参照してください。
ソフト (☾)	<p>柔らかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影画面で OK ボタンを押すと、マルチセクターで効果の度合いを選べます。 OK ボタンを押して決定します。
ミニチュア効果 (🏠)	撮影した画像の上下部分をぼかすことにより、ミニチュア（模型）を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影すると効果的です。
セレクトカラー (🖌)	<p>画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> OK ボタンを押すと、撮影画面でマルチセクターを使用して、残したい色を選べます。 OK ボタンを押して決定します。



🔧 設定できる機能について

クリエイティブモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」(☐229)を参照してください。

P、S、A、Mモードで撮影する

P、S、A、Mモードでは、撮影の意図に応じて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

■ プログラムオート (P)

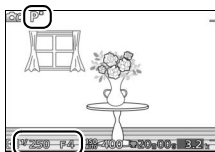
シャッターチャンス逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。



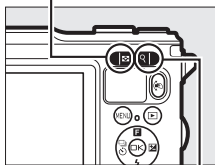
■ プログラムシフト

[プログラムオート] (P) では、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めますが、次の方法で「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。プログラムシフト中は液晶モニターに*マークが点灯します。

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）場合や動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードにする）場合にはQボタンを押します。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮りたい（絞り値を大きくする）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードにする）場合には*ボタンを押します。
- プログラムシフトを解除するには、液晶モニターの*マークが消灯するまで、Qボタンまたは*ボタンを押してください。電源をOFFにしたときやカメラが待機状態になったときも、プログラムシフトは解除されます。



*ボタン



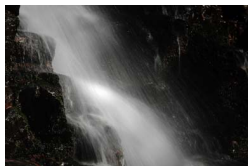
Qボタン

■■ シャッター優先オート (S)

シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。




速いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1/1600秒



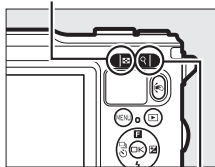
遅いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1秒



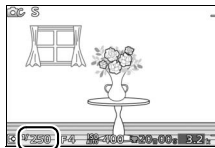
シャッタースピードを設定する

- Q ボタンを押すとシャッタースピードが速くなり、 ボタンを押すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/16000秒～30秒の範囲で設定できます。

 ボタン



Qボタン



連写時のシャッタースピードについて

[連写とセルフタイマー] (□86) が [15fps]、[30fps]、[60fps] のいずれかの場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

■ 絞り優先オート (A)

絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを開く（絞り値を小さくする）と、背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影できます（例：ポートレート写真）。絞りを絞り込む（絞り値を大きくする）と、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影できます（例：風景写真）。



絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
絞り値：F5.6

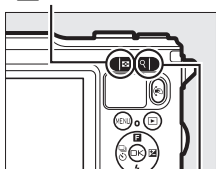


絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいたとき）
絞り値：F16

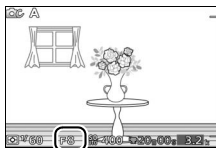
絞り値を設定する

- ☒ ボタンを押すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、Qボタンを押すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなります）。

☒ ボタン



Qボタン



■ マニュアル (M)

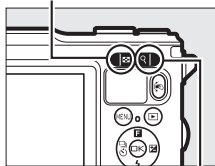
シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出 (バルブ) 撮影 (□42) する場合にもこのモードを使います。

露出インジケータ (□41) を確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する

シャッタースピードと絞り値は、マルチセクターの▶を押して切り換え、Qボタンまたは▶ボタンを押して値を設定します。



▶ ボタン

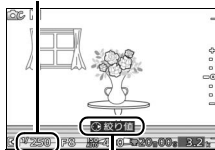


Qボタン

シャッタースピードの設定：

- Q ボタンを押すとシャッタースピードが速くなり、▶ ボタンを押すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/16000秒～30秒またはBulb (□42) の範囲で設定できます。


シャッタースピード

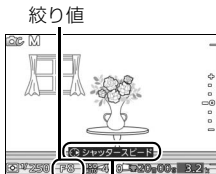


▶ を押すと絞り値を変更できるようになります。



絞り値の設定：

- Q ボタンを押すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）、 ボタンを押すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）ます。



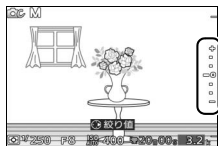
- ▶ を押すとシャッター速度を変更できるようになります。

連写時のシャッタースピードについて

[連写とセルフタイマー] (□86) が [15fps]、[30fps]、[60fps] のいずれかの場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

露出インジケータについて

設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値との差が、液晶モニターに表示されます。この「露出インジケータ」の見方は次の通りです。



適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー
+	+	+
.	.	.
.	.	.
-0	=0	0
.	.	.
.	.	.
-	-	-

- 長時間露出 (バルブ) 撮影時 (□42) は、露出インジケータは表示されません。



■■ 長時間露出で撮影する（マニュアル（M）のみ）

シャッタースピードをBulbに設定してシャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を放すまでシャッターが開いたままになる長時間露出（バルブ）撮影ができます。

- 花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。長時間露出撮影には、手ブレを抑えるために三脚が必要です。



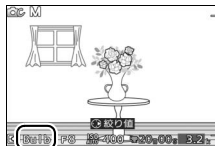
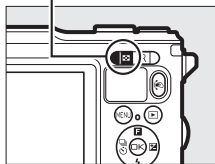
1 三脚などを使ってカメラを固定する

2 シャッタースピードをBulbに設定する

- マルチセレクターの **▶** を押してシャッタースピードを選び、**☒** ボタンを押してシャッタースピードをBulbに設定します。



☒ ボタン



3 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。

4 長時間露出撮影を終了する

- シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。




長時間露出について

- バルブ撮影時、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
- 遅いシャッタースピードで撮影する場合は、画像を記録するまでの時間が長くなる場合があります。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生することがあります。このノイズは、あらかじめ [長秒時ノイズ低減] (📖 168) を [する] にしておくことで低減できます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリー EN-EL20、または別売のパワーコネクター EP-5C と AC アダプター EH-5b を組み合わせてお使いになることをおすすめします。

[逆光] で撮影する

[逆光] で撮影する場合、撮影メニュー (□156) の [HDR] の設定によって、撮影方法が次のように異なります。

する	<p>1回の撮影で露出が異なる画像を連続で撮影して合成する、HDR (ハイダイナミックレンジ) 合成を行います。白とびや黒つぶれの少ない、シャドウ部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。明暗差の大きい風景撮影に適しています。</p> <div data-bbox="215 365 926 500"></div> <p>露出暗めで撮影した画像 + 露出明るめで撮影した画像 → HDRで合成された画像</p> <ul style="list-style-type: none">• 撮影画面にHDRアイコンが表示されます。• シャッターボタンを全押しすると、高速で連写します。合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。• 合成処理が終了すると、合成後の画像が再生されます。
しない	<p>HDR合成は行いません。人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 内蔵フラッシュを上げてください。内蔵フラッシュを上げないと、撮影ができません。

☑ [HDR] を [する] にした場合のご注意

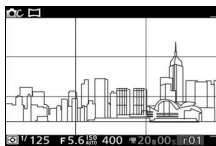
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が多い場合は、正しく合成されないことがあります。
- 正しく合成されない場合、適正露出で撮影され、[アクティブD-ライティング] (□167) の [する] が適用された画像が保存されます。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

[かんたんパノラマ] で撮影する

■■ パノラマ画像を撮影する

1 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 画面に格子のガイドが表示されます。



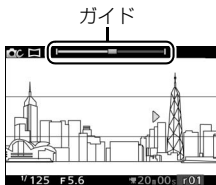
2 シャッターボタンを全押ししてから指を放す

- カメラを動かす方向を示す△▽◀▶マークが表示されます。

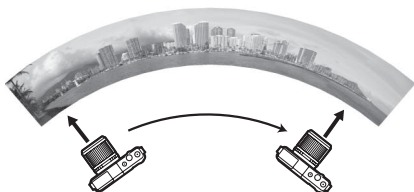


3 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。



カメラの動かし方の例




- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。



☑ **かんたんパノラマ撮影時のご注意**

- AF エリアモード (□175) は [オートエリア] になります。顔認識 (□177) は行いません。
- 露出補正 (□90) が設定できます。
- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影メニュー (□156) の [画像サイズ] (□161) が [標準パノラマ標準] のときは約15秒以内、[標準パノラマワイド] のときは約30秒以内を目安に、範囲の端から端まで動かしてください。
- カメラを動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいきなど警告メッセージが表示されます。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。
- ゆがみの大きい広角レンズを使用している場合、正しく合成できない場合があります。

■■ パノラマ画像を再生する

撮影したパノラマ画像は、1コマ表示モード (□28) で  ボタンを押して再生します。画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を撮影したときと同じ方向に自動で移動 (スクロール) します。



ナビゲーション 操作ガイド
ウィンドウ

- パノラマ再生時には次の操作を行えます。

一時停止する		マルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中に  ボタンを押すと、パノラマ再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送ります。
コマ戻しする/ コマ送りする		<ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送ります。 ● ◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送ります。
再生を終了する		▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

カメラを水中で使う

このカメラは、専用防水レンズを取り付けることで、水深15 m以内で使用できます。水中に持ち込むことができる最長時間は60分間です。水中でお使いになる前に、必ずこの章の内容をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくご使用ください。

- 水中で使うときは、陸上専用のストラップを取り外してください。
- カメラの落下防止のため、市販のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

<重要>水中で使用するときのご注意

このカメラを水中でお使いになるときは、浸水や故障などを防ぐために次のことにご注意ください。

- 必ず専用防水レンズを取り付けてください。専用防水レンズを取り付けていない場合は防水性はありません。また、専用防水レンズ単体では防水性はありません。カメラおよびレンズを単体で水にぬらさないでください。
- 水中に入れる前に、砂浜や直射日光があたる場所など温度の高い場所に放置しないでください。急激な温度変化によってカメラやレンズの内部に水滴が発生し、故障の原因となる場合があります。
- 水中ではレンズを取り外さないでください。
- 水中ではバッテリー/SDカードカバーおよび端子カバーを開けないでください。
- 水中ではバッテリー/SDカードカバーおよび端子カバーの開閉ノブやロックスイッチ、レンズ取り外しボタンを操作しないでください。
- 水深15 mより深いところに持ち込まないでください。
- 急流、滝などの強い水圧がかかるところに持ち込まないでください。
- 水道などからの水を勢いよく当てないでください。強い水圧がかかり、浸水の原因となる場合があります。
- 水中に60分より長い時間連続して持ち込まないでください。
- 水温0℃から40℃の範囲内でお使いください。



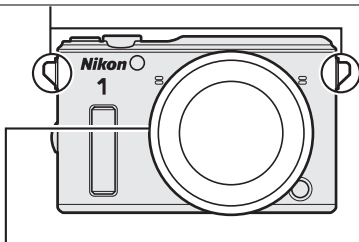
- 温泉には持ち込まないでください。
- カメラに衝撃を与えないでください。
- カメラを持って水中に飛び込んだりしないでください。
- カメラに外部から力を加えると、変形して気密性が失われ、浸水の原因となります。重いものを載せたり、落としたり強く押ししたりしないでください。
- 誤った使い方をしたりチェックをおこたると、浸水によりカメラが破損し、修理不能となる場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラとレンズの水分を拭き取り、ニコンサービス機関にご相談ください。
- カメラは水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。
- 温度の変化が大きい環境や湿度が高い環境、および次のようなときは、レンズや液晶モニターの内側がくもる（結露する）場合があります。カメラの故障や不具合ではありません。
 - 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - 寒冷地から屋内などの暖かい場所に持ち込む
 - 湿度が高い環境で、バッテリー / SDカードカバーの開閉や端子カバーの開閉、レンズの着脱を行う



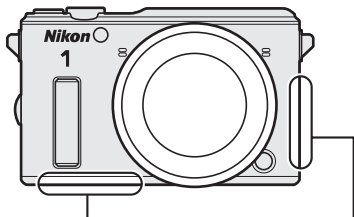
水中で使用する前のチェックをする

陸上専用ストラップを取り外していますか？

水中で使うときは、市販のハンドストラップに付け換えることをおすすめします。



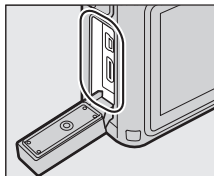
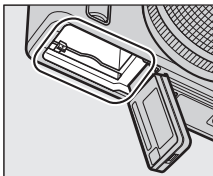
専用の防水レンズを取り付けていますか？ (☞18)



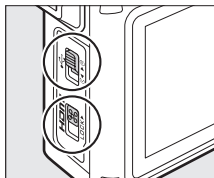
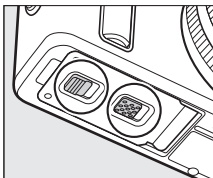
バッテリーとSDカードを入れていますか？ (☐15)

浸水や故障などを防ぐために、次のことを確認してください。

- バッテリー /SD カードカバーと端子カバーの内側に砂、ほこり、毛髪などの異物が付着している場合は取り除いてください。
- カメラの内部に砂、ほこり、毛髪などの異物が付着している場合は、ブローアーで吹き払うか、綿棒で丁寧に取り除いてください。綿棒の繊維が残らないようにご注意ください。

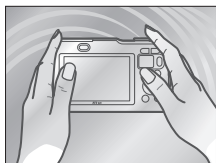


- 防水パッキンにひび割れや変形がある場合はニコンサービス機関にご相談ください。
- バッテリー /SD カードカバーと端子カバーは確実に閉じてください。開閉ノブおよびロックスイッチが図のようになっていることを確認してください。また、ハンドストラップのひもを挟み込まないようにご注意ください。



最終チェックをする

□49のチェックを行った後、容器にためた真水の中にカメラを入れてください。電源をONにして、各ボタンやズームリングなどを数回操作し、正常に作動することや浸水しないことを確認してください。



- 浸水や故障などを防ぐために、バッテリー / SDカードカバーおよび端子カバーの開閉ノブやロックスイッチ、レンズ取り外しボタンを操作しないでください。
- カメラとレンズの隙間や、バッテリー / SDカードカバー、端子カバーから気泡が発生した場合は、浸水しているおそれがあります。ただちに水の中から引き上げてください。気圧調整穴、マイクやスピーカーの水抜き穴から発生する気泡は異常ではありません。
- 万一浸水が確認された場合は、ただちに水の中から引き上げ、カメラとレンズに付いた水分をよく拭き取ってから、Oリングやバッテリー / SDカードカバー、端子カバーなどの密閉状態を再度確認してください。正常な取り扱いで浸水が確認された場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。

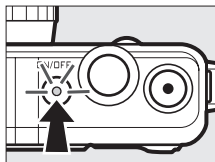


水中で撮影する

ここではクリエイティブモードの[水中]を使った撮影について説明します。

1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを押して、カメラの電源をONにします。



2 撮影モード **cc** を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード]で[**cc**] (クリエイティブモード)を選び、**OK**ボタンを押します (□10)。



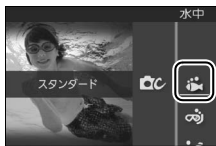
3 [水中] を選ぶ

- マルチセレクターの**F** (フィーチャー)を押すと[クリエイティブ]メニューが表示されます。マルチセレクターで[水中]を選びます。
- OK**ボタンを押すと、水中モードの選択画面が表示されます。



4 水中モードを選ぶ

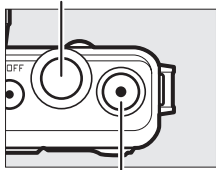
- マルチセレクターの▲▼を押して、水中モードを選びます。
 - スタンダード**：水辺やシュノーケリングなどの浅い水深での撮影に適しています。バランスの取れた標準的な画像になります。
 - ダイビング**：スキューバダイビングなど、比較的深い水深での撮影に適しています。鮮やかな色合いの画像になります。
 - クローズアップ**：近接位置の被写体を撮影するときに適しています。メリハリのある画像になります。
- OKボタンを押すと、モードを決定して撮影画面に戻ります。



5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する

- ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。
- 動画を撮影する場合は、動画撮影ボタンを押してください。

シャッターボタン



動画撮影ボタン

クリエイティブモード [水中] について

- 水中で撮影した画像は、青みが強調されます。クリエイティブモードの [水中] では、カメラが自動で画像の青みを補正して撮影します。液晶モニターで色味を確認しながら青と緑の色味のバランスを手動で補正することもできます。
- 撮影画面でOKボタンを押すと、色味の補正画面に切り替わります。マルチセレクターの▲▼を押して、色味のバランスを補正します。OKボタンを押して決定します。
- 動画撮影のときも色味が補正されます。

青の色味を強調する



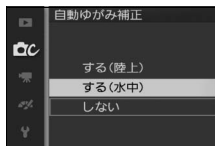
緑の色味を強調する

水中で撮影するときの便利な機能

自動ゆがみ補正で画像のゆがみを補正する

撮影メニューの[自動ゆがみ補正] (☐165) で[する(水中)]を選ぶと、水中撮影時に発生する画像のゆがみを自動で補正します。

- [する(水中)] は、専用防水レンズを取り付けている場合のみメニューに表示されます。




水中で内蔵フラッシュを使う

このカメラは、水中でもフラッシュポップアップボタンを押すと内蔵フラッシュが上がり、フラッシュ撮影ができます (☐91)。

- 水中でフラッシュを発光するときは、クリエイティブモード [水中] の手で調整した色味 (☐53) は補正されません。
- 水流のある所では、フラッシュが傾いて画像にケラレ (☐94) が発生することがあります。



関連ページ

水中撮影時の画像の青みを補正する →  [ホワイトバランス] の [水中] (☐186)

水深計を使う

このカメラは、撮影画面に水深計を表示できます。水深計を使用するときは、水中に入る前に、必ず水深計の数値を0 mに補正してください(□57)。

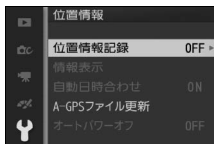
- 水深情報は撮影した画像に記録されます。



■ 水深計を表示する

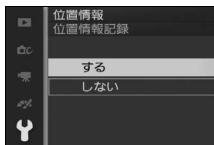
1 セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、項目の選択画面が表示されます。



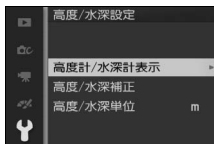
2 [する] を選ぶ

- OKボタンを押すと、設定が変更されます。



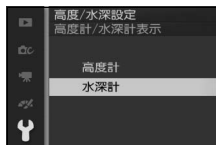
3 セットアップメニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] を選ぶ

- ▶を押すと、項目の選択画面が表示されます。



4 [水深計] を選ぶ

- (OK) ボタンを押すと、設定が変更されます。



5 撮影画面に戻る

- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。



6 水深計を表示する

- 水深計が表示されるまでDISPボタンを押します (□7)。



水深計について

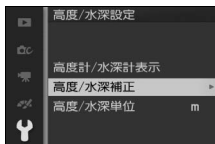
- このカメラの水深計をダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 水深計および水深表示の表示範囲は0 m～20 mです。
- 水深計の水深15 mを超える部分は赤色で表示されます。



■ 水深計の数値を0 mに補正する

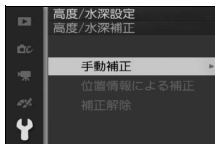
1 セットアップメニュー [高度/水深設定] の [高度/水深補正] を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、項目の選択画面が表示されます。



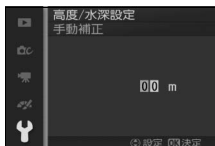
2 [手動補正] を選ぶ

- ▶を押すと、補正値の設定画面が表示されます。



3 補正値を [0] に設定する

- ◀▶で桁を選び、▲▼で数値を変更します。
- OKボタンを押すと、補正値が設定されます。



🔗 関連ページ

高度計/水深計の機能を設定する → 🗑️ [高度/水深設定] (📖208)

水中で使用した後のお手入れをする

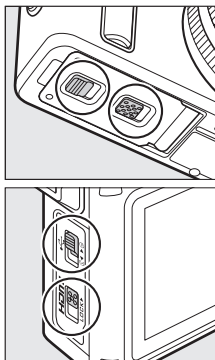
水中で使った後は、必ず60分以内に真水につけ置きしてください。異物や塩分が付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。

☑ お手入れの前に

- 手や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分などをよく取り除いてください。
- お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内で行ってください。
- お手入れの前にレンズキャップを取り外してください。
- 水洗いで異物を取り除き、水分を拭き取るまでは、バッテリー/SDカードカバーと端子カバーを開けないでください。

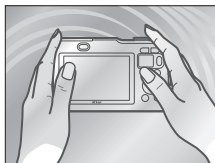
1 防水レンズが装着されていることとバッテリー /SDカードカバーと端子カバーが確実に閉じられていることを確認する

- バッテリー /SDカードカバーと端子カバーの開閉ノブおよびロックスイッチが、図のようになっていることを確認してください。



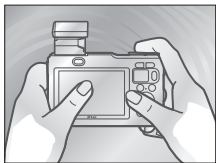
2 防水レンズを取り付けた状態のまま、容器にためた真水の中につけ置きする

- 約10分間つけ置きしてください。



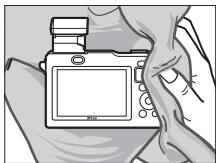
3 水の中でカメラを軽く揺すってから、各ボタンやレンズのズームリングなどを数回操作し、各部に付着した塩分やゴミなどの異物を落とす

- フラッシュポップアップボタンを押して、内蔵フラッシュを上げてください。
- バッテリー /SDカードカバーと端子カバーは開けないでください。
- 浸水や故障などを防ぐために、バッテリー /SDカードカバーおよび端子カバーの開閉ノブやロックスイッチ、レンズ取り外しボタンは操作しないでください。



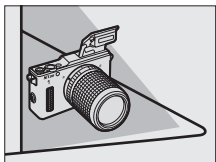
4 水滴をよく拭き取る

- 乾いた柔らかい布を使用してください。
- レンズ面の水滴は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れや指紋が付着した場合はすぐに拭き取ってください。強く拭かないようにご注意ください。

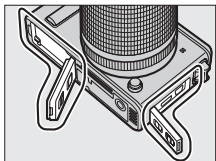


5 レンズをカメラに取り付けたまま、風通しのよい日陰で乾燥させる

- 乾いた布などの上に図のように置いて乾かしてください。気圧調節穴、マイクやスピーカーの水抜き穴、ズームリングの間隙から水が外に出ます。

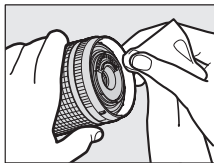
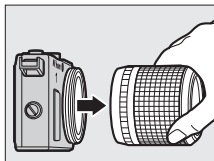


6 水滴などの付着がないことを確認してから、バッテリー /SDカードカバーと端子カバーを下向きにしてゆっくり開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布で拭き取る



7 乾いていることを確認してから、 レンズを取り外す

- カメラとレンズの間に水が残っている場合があります。ダストシールドおよびレンズに水滴が落ちないようにカメラを水平に持ち、ゆっくりとレンズを取り外してください。
- レンズのOリング接触面にゴミや異物が付着している場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

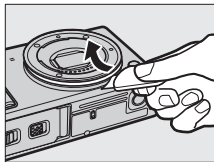
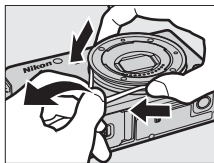


Oリングのお手入れについて

このカメラは、Oリングによって防水性を保っています。Oリングのお手入れが充分でない場合、水漏れの原因になります。水中でカメラを使用した後、およびレンズを取り外したときにOリングに異物が付着していた場合は、必ずOリングのお手入れを行ってください。

1 Oリングを両側から指でしごき、 たるみをつけてから取り外す

- 強く引っ張らないでください。
- とがったものや金属を使用したり、つめを立てたりしないでください。
- 別売のOリングリムーバーも使用できます(□214)。

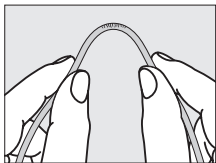


2 真水でよく洗う

- Oリングを真水で洗った後は、よく乾かしてください。

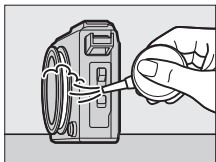
3 Oリングを点検する

- Oリングの表面にヒビや傷がないか、またゴミや異物が残っていないか確認してください。Oリング上のヒビは、Oリングをやさしく折り曲げてみるとよくわかります。
- Oリングに異物が付着している場合は、柔らかい乾いた布で取り除いてください。Oリングに糸くずや繊維が残らないようにご注意ください。



4 Oリング溝を点検する

- Oリングを取り外したOリング溝の異物を、ブロアーで吹き払うか、綿棒でていねいに取り除いてください。綿棒の繊維が残らないようにご注意ください。



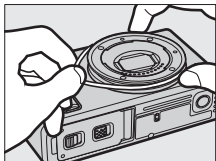
5 Oリングに専用シリコングリスを塗る

- 市販のビニール袋に米粒大のシリコングリスを入れ、ビニール袋全体になじませた後 (①)、Oリングを入れます。シリコングリスがOリング全体になじむようにもんで塗布してください (②)。



6 OリングをカメラのOリング溝にはめ込む

- 異物が付着しないようご注意ください。
- ねじれたり高さが違ったりしないよう、無理に引っ張らず、均一にはめ込んでください。
- 強く引っ張らないでください。
- OリングがOリング溝からはみだしていないか、ご確認ください。



▼ Oリングについて

- Oリングのお手入れには、ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。損傷や劣化の原因となります。
- Oリングは消耗品です。劣化したOリングは使用しないでください。Oリングにヒビや傷が入っている場合や、変形したり弾力がなくなったりしている場合は、新しいOリングに交換してください。使用頻度にかかわらず、少なくとも1年に1度は新品に交換してください。指定以外のOリングは使用しないでください。
- Oリングの表面が乾いたように見えるときは、専用シリコングリスを塗布してください。Oリングが乾いたまま使用すると、ヒビが入ったり傷が付いたりして水漏れの原因となります。
- 新しいOリングを初めて使用するときは、カメラに装着する前に専用シリコングリスを塗布してください。

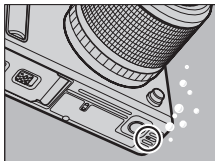
🔪 専用シリコングリスについて

- 付属の専用シリコングリスをOリングに塗布すると、防水レンズの取り付けまたは取り外しが滑らかに行えるようになります。また、Oリングの摩耗も防げます。
- 布や紙で塗布しないでください。Oリングに繊維が付着すると、水漏れの原因となります。
- シリコングリスを塗りすぎないようにご注意ください。ほこりなどの異物が付着しやすくなり、水漏れの原因となります。
- 別売の専用シリコングリスWP-G1000も使用できます（□214）。
- Oリングが膨張したり変形したりする場合があるため、専用シリコングリス以外は使用しないでください。



✔ お手入れをするときのご注意

- 水中ではレンズを取り外さないでください。
- 水につけると、気圧調整穴、マイクやスピーカーの水抜き穴から気泡が出ることがありますが、異常ではありません。
- カメラとレンズを乾かすときは、ヘヤードライヤーなどを使用したり、直射日光に当てたりしないでください。カメラやレンズ、Oリングなどが劣化し、水漏れの原因となります。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。
- 水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でバッテリー/SDカードカバーや端子カバーの開閉、レンズの着脱を行わないでください。
- バッテリー/SDカードカバーや端子カバーを開けると、水滴がSDカードやバッテリーに付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に付着することがあります。柔らかい乾いた布で必ず拭き取ってください。
- バッテリー/SDカードカバーや端子カバーは、内側がぬれたまま閉じないでください。結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの穴を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。
 - 柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
 - マイクの穴やスピーカーの穴などを、とがったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化することがあります。1年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールをニコンサービス機関に依頼されることをおすすめします（有料）。



🔍 カメラやレンズに異物が付着したときは

- バッテリー/SDカードカバーまたは端子カバーの内側、レンズのOリング接触面に水滴などの液体が付着したときは、すぐに柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- カメラの外側に異物が付着したときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- バッテリー/SDカードカバーまたは端子カバーの内側、レンズのOリング接触面に異物が付着したときは、すぐにプロアーなどで取り除いてください。防水パッキンの側面や四隅にも微小な砂粒などが付着することがありますのでご注意ください。



動画を撮影する/再生する

このカメラでは、アスペクト比（横：縦）が16：9のHD（High-Definition）動画と、アスペクト比（横：縦）が8：3のスローモーション動画を撮影できます。動画が撮影できる撮影モードは次の通りです。

撮影モード※		動画の種類	内容
📷オートモード (□25)		HD動画 (16：9)	カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で動画撮影します。
📷📷クリエイティブモード (□34)			設定しているシーンにかかわらず、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動制御します。
📷+アドバンスト動画モード (□65、70)	プログラムオート (P)		シャッタースピードと絞り値をカメラが自動制御します。
	シャッター優先オート (S)		シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します (□38)。
	絞り優先オート (A)		絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します (□39)。
	マニュアル (M)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します (□40)。	
	スローモーション (📷)	スローモーション動画 (8：3)	音声なしのスローモーション動画を撮影できます (□70)。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。

※ベストモメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画を撮影できません。

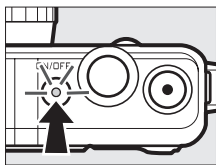


HD動画を撮影する

アスペクト比（横：縦）が16：9の音声付きの動画を撮影できます。

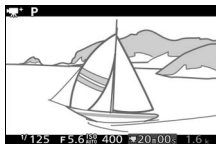
1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを押して、カメラの電源をONにします。



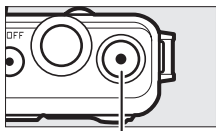
2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



3 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 音声も同時に記録します。
- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- HD動画は最大約20分間撮影できます（初期設定）。
- HD動画の撮影中は、被写体にピントを合わせ続けます。ピントを合わせる動作音が気になる場合は、フォーカスモードを「AF-S」にして撮影してください（□170）。



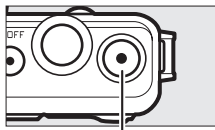
動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間



残り時間

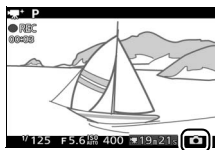
4 もう一度動画撮影ボタンを押して、 撮影を終了する



動画撮影ボタン

HD動画の撮影中に静止画を撮影する

シャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します（アスペクト比（横：縦）は3：2）。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。



設定できる機能について

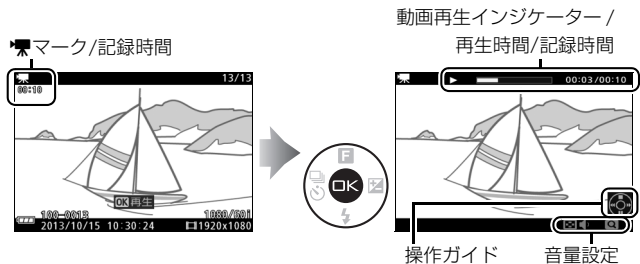
アドバンスド動画モードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」（□229）を参照してください。

動画撮影中にフォーカスを固定するには

撮影モードが **+**（アドバンスド動画モード）の場合、シャッターボタンを半押ししている間フォーカスを固定（ロック）できます（フォーカスロック □177）。フォーカスロックを使うには、動画撮影メニューの【フォーカスモード】を【AF-S】にして撮影してください（□170）。

撮影した動画を再生する

撮影した動画は、1コマ表示モード (□28) で **OK** ボタンを押して再生します (マーカーが表示されている画像が動画です)。





- 動画再生時には次の操作を行います。

一時停止する		マルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中に OK ボタンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
コマ戻しする/ コマ送りする		<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。

音量を調節する	Q / 	Q ボタンを押すと音量が大きくなり、  ボタンを押すと音量が小さくなります。
再生を終了する	 / 	▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。





アクション操作

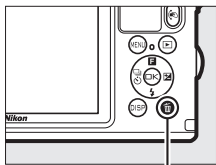
- 動画再生中に  ボタンを押したままカメラを左右に傾けると、早送りまたは巻き戻しできます (□96)。
- 動画を一時停止しているときは、コマ送りまたはコマ戻しできます。 ボタンを放すと、表示中のフレームで一時停止します。



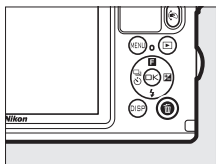
動画を削除する

動画の表示中に  ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度  ボタンを押すと、動画を削除します。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。


- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



 ボタン



関連ページ

動画の必要な部分だけを残す →  [\[動画編集\]](#) (153)

スローモーション動画を撮影する

アドバンスト動画モードでは、マルチセレクターの **■**（フィーチャー）で [スローモーション] に切り換えられます。

[スローモーション] では、アスペクト比（横：縦）が8：3の音声なしのスローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。

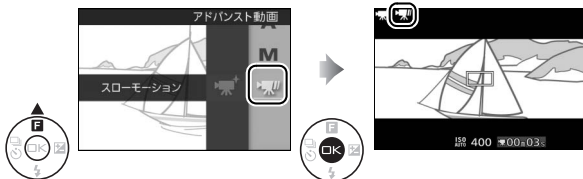
1 撮影モード **●+** を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード] で [**●+**]（アドバンスト動画モード）を選び、**OK** ボタンを押します（**□**10）。



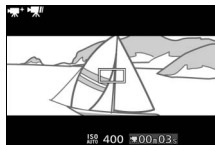
2 [スローモーション] を選ぶ

- マルチセレクターの **■**（フィーチャー）を押して [スローモーション] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

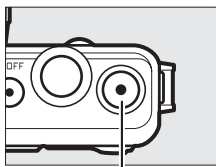


4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる



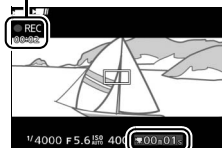
5 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。
- スローモーション動画は最大約3秒間撮影できます。



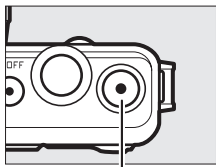
動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間



残り時間

6 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する



動画撮影ボタン

▼ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合 (□183)
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - レンズを取り外した場合
 - カメラが熱くなった場合 (□xxvii)
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク (□2) を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- カメラの動作音や操作音が録音されることがあります。特に水中では、陸上より録音される音量が大きくなる場合があります。

✍ 動画撮影中の静止画撮影について

- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大20コマです。
- スローモーション動画撮影中は、静止画撮影できません。

✍ フリッカー低減について

- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの「フリッカー低減」を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、[50Hz] または [60Hz] に設定してください。詳しくは、□209をご覧ください。
- セットアップメニューの「フリッカー低減」の設定によって、シャッタースピードの低速側の制限が異なります。[50Hz] の場合は1/100秒、[60Hz] の場合は1/60秒より速いシャッタースピードになります。
- スローモーション動画撮影中は、フリッカー低減効果は得られません。

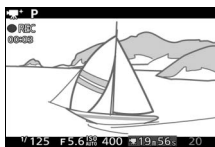


📝 動画撮影について

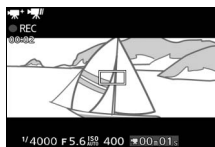
- スローモーション動画の場合、画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。顔認識 (□31) は行いません。
- スローモーション動画の撮影中は、露出やピントを変更できません。
- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります (□219)。
- 🚫 (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

📝 動画の撮影範囲

記録される動画と液晶モニターのアスペクト比 (横 : 縦) は異なります。記録されない部分は、図のように表示されます。



HD動画 (16 : 9)



スローモーション (8 : 3)

📝 関連ページ

- スローモーション動画のフレームレートを変える → 📌 [撮影速度] (□182)
- HD動画の解像度とフレームレートを選ぶ → 📌 [動画の設定] (□183)
- 内蔵マイクの感度の程度を設定する → 📌 [動画音声の設定] の [録音設定] (□184)
- 動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定する → 📌 [動画音声の設定] の [風切り音低減] (□184)
- 蛍光灯や水銀灯などの光源下で発生する、画面のちらつきや横縞を低減する → 📌 [フリッカー低減] (□209)

さらに撮影を楽しむ (その他の撮影モード)

このカメラでは、通常の静止画、動画撮影の他に、シャッターチャンスが難しいシーンの撮影に適した「**+** ベストモーメントキャプチャーモード」、静止画と動画を一緒に残せる「**+** モーションスナップショットモード」(□82) という独自の撮影モードが楽しめます。

+ ベストショットを撮影する (ベストモーメントキャプチャー)

シャッターチャンスをじっくり選ぶ (スロービュー)

+ ベストモーメントキャプチャーモードのスロービューを使うと、動きのあるシーンでも液晶モニター上でゆっくりと表示されるため、決定的な瞬間を逃さずに撮影できます。

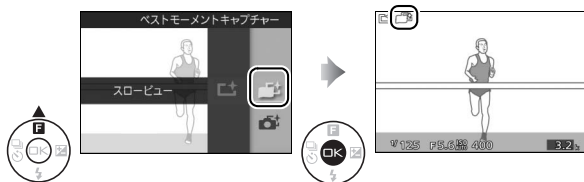
1 撮影モード**+**を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード] で [**+**] (ベストモーメントキャプチャーモード) を選び、**OK**ボタンを押します (□10)。



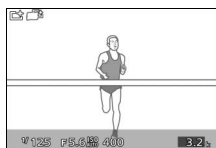
2 [スロービュー] を選ぶ

- マルチセレクターの **F** (フィーチャー) を押して [スロービュー] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

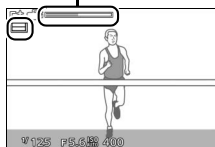


4 撮影する

- シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。ピントが合うと、約1.3秒間、20コマの静止画を一時的に記録し、半押ししている間、ゆっくりと繰り返し連続表示します（液晶モニターにアイコンが表示されます）。



スロービュー
プログレスバー



- 保存したい静止画のところでシャッターボタンを全押しすると、全押ししたときの静止画だけが記録されます。一時記録されていた静止画は削除されます。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- シャッターボタンを全押しせず指を放すと、静止画を記録せずに撮影画面に戻ります。一時記録されていた静止画も削除されます。



設定できる機能について

ベストモーメントキャプチャーモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」(□229)を参照してください。

ベストモーメントキャプチャーモードについて

- 常にカメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別して最適な設定で撮影します。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

スロービューで撮影した静止画の確認と削除について

スロービューで撮影した静止画の確認方法については、□28をご覧ください。削除方法については、□29をご覧ください。



ベストショットをカメラが選んで撮る (スマートフォトセレクト)

☑ ベストモーメントキャプチャーモードのスマートフォトセレクトを使うと、振り向きざまの笑顔やパーティーでの集合写真など、ベストショットの静止画をカメラまかせで気軽に撮影できます。

- シャッターをきくと、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選びます。初期設定では、ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。



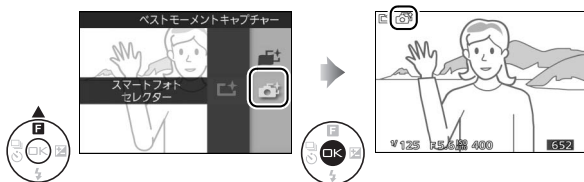
1 撮影モード☑を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード] で [☑] (ベストモーメントキャプチャーモード) を選び、OKボタンを押します (☐10)。



2 [スマートフォトセレクト] を選ぶ

- マルチセレクトの **F** (フィーチャー) を押して [スマートフォトセレクト] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンス待つ

- 被写体に自動的にピントが合います (□26)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。
- シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。



5 シャッターチャンスが来たら、 シャッターボタンを全押しして撮影 する

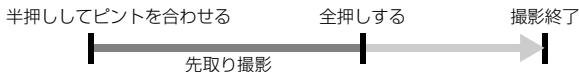


- シャッターがきれ、シャッターボタン全押しの前後に撮影したベストショットと候補の静止画をカメラが選んで、合計5コマ記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、ベストショットの1コマが液晶モニターに数秒間表示されます。



先取り撮影について


シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います(最大約90秒間)。



スマートフォトセレクター画像の管理ファイルについて

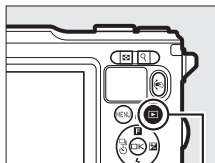
SDカード内の「NCFL」フォルダーにある「NCSPSLST.LST」ファイルを削除したり、スマートフォトセレクター画像として記録されている静止画のファイル名を変更したりしないでください。カメラで画像を再生した場合にスマートフォトセレクター画像と認識されず、通常の静止画として5枚全てが表示されます。

関連ページ

スマートフォトセレクターで記録する枚数を変更する →  [画像の保存枚数]
(□162)

■ 撮影したスマートフォトセクター画像を確認する

▶ ボタンを押して1コマ表示モード (☐28) で画像を再生し、マルチセクターでスマートフォトセクター画像を選びます (📷マークが表示されている画像です)。撮影した5コマの画像のうち、ベストショットのみが表示されます。



▶ ボタン

- ベストショット候補の画像は表示されません。そのため、画像を切り換えるときに、コマ番号が抜けているように見えます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



ベストショットを自分で選ぶ

スマートフォトセクター画像を表示して、マルチセクターのⓄボタンを押すと、ベストショットの切り換え画面が表示されます。

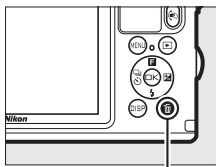
- ◀▶ を押すと、ベストショット候補の画像を表示できます。
- 画像を選んで Ⓞ ボタンを押すと、選んだ画像がベストショットとして表示されます。
- ベストショットの切り換えをやめるには ▶ ボタンを押します。



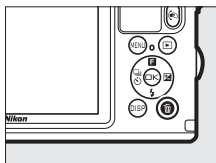
■ スマートフォトセレクト画面を削除する

スマートフォトセレクト画面を表示して、**削除** ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度 **削除** ボタンを押すと、スマートフォトセレクト画面を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないで
ご注意ください。

- ベストショットとベストショット候補の画像が削除されます。
- 削除をやめるには、**キャンセル** ボタンを押します。



削除ボタン



■ ベストショット以外の画像の削除について

ベストショットの切り換え画面 (□80) で **削除** ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。次のいずれかを選んで **OK** ボタンを押します。

- **[この画像]** : 表示中の画像が削除されます (ベストショットが表示されている場合は削除できません)。
- **[ベストショット以外]** : ベストショット候補の画像が削除されます。

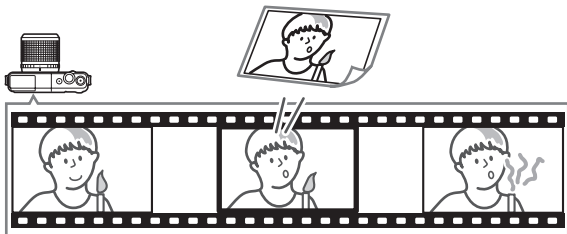
確認画面で **はい** を選んで **OK** ボタンを押すと、選んだ画像を削除して再生画面に戻ります。



📷 静止画と短い動画を一緒に撮影する (モーションスナップショット)

📷 モーションスナップショットモードは、静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときに適しています。

- シャッターをきくと、静止画と約 1.6 秒間の動画を撮影します。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。



1 撮影モード📷を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影モード] で [📷] (モーションスナップショットモード) を選び、OKボタンを押します (🗨10)。



🔧 設定できる機能について

モーションスナップショットモードで設定できる機能については、「設定できる機能一覧」(🗨229)を参照してください。

2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



3 シャッターボタンを半押しする

- 被写体に自動的にピントが合います (□26)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。



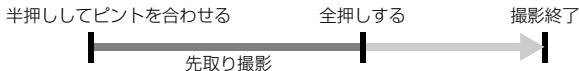
4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 静止画と同時に、シャッターボタン全押しの前後約1.6秒間の動画を記録します。
- 全ての画像を記録し終えるまで、時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。



先取り撮影について

シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでの間、先取り撮影を行います (最大約90秒間)。

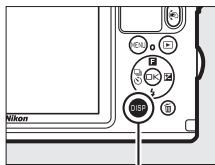


■「テーマ」を選ぶ

モーションスナップショットモードでマルチセクターの**F**（フィーチャー）を押すと、[テーマ]メニューが表示されます。マルチセクターで項目を選び、**OK**ボタンを押して決定します。[きらめき]、[ゆらめき]、[やすらぎ]、[愛らしさ]からお好みの「テーマ」を選ぶと、撮影時に設定した「テーマ」に合ったBGMが、モーションスナップショット画像の再生時に流れます。



- 「テーマ」選択画面で**DISP**ボタンを押すと、BGMを確認できます。
- BGM再生中に**Q**ボタンを押すと音量が大きくなり、**☒**ボタンを押すと音量が小さくなります。



DISPボタン

📌 モーションスナップショットモードについて

- 音声は記録されません。
- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- 内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。

📌 関連ページ

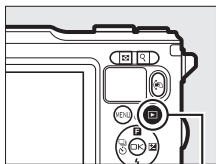
- 動画の最後の場面を静止画として記録する → 📷 [動画の前後比率] (☐163)
- 一般的な動画再生ソフトで再生できるファイル形式で保存する → 📷 [ファイル形式] (☐164)

撮影したモーションスナップショット画像を確認する

▶ ボタンを押して1コマ表示モード (□28) で画像を再生し、マルチセレクターでモーションスナップショット画像を選びます (▶マークが表示されている画像です)。

- OK ボタンを押すと、動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、BGMが約10秒間流れます。
- 再生メニューの [テーマの変更] (□155) で「テーマ」を変更できます。
- マルチセレクターの ▼ を押すと、モーションスナップショットで撮影した動画をスライドショーで連続再生します (□122)。

● 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



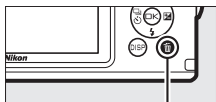
▶ ボタン



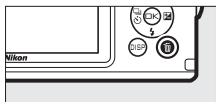
モーションスナップショット画像を削除する

モーションスナップショット画像を表示して、⌂ ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度 ⌂ ボタンを押すと、モーションスナップショット画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

- 静止画と動画の両方が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ ボタンを押します。



⌂ ボタン



撮影の便利な機能

連写で撮影する

シャッターボタンを深く押し込んで（全押しして）そのまま押し続けている間、連写（連続撮影）で撮影できます。

1 マルチセレクターの （連写/セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターに「連写とセルフタイマー」のメニューが表示されます。



2 マルチセレクターで連続撮影速度を選び、 ボタンを押す

- [5fps]（約5コマ/秒）、[15fps]（約15コマ/秒）、[30fps]（約30コマ/秒）、[60fps]（約60コマ/秒）から連続撮影速度を選べます。



3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを深く押し込んで（全押しして）そのまま押し続けている間、連続撮影します。



連続撮影可能コマ数について

連続撮影可能コマ数は、「連写とセルフタイマー」で選んだ連写の設定によって異なります。[30fps]、[60fps] の場合は20コマに固定されます。

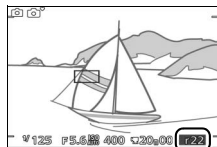


▼ 連写（連続撮影）についてのご注意

- [5fps] の場合、内蔵フラッシュを上げているときは[S]（単写）として動作します。
- [15fps]、[30fps] または [60fps] の場合、内蔵フラッシュを上げていても、フラッシュは発光しません。
- 次の場合は連写を選ばません。
 - P、S、A、M、[水中] 以外のクリエイティブモード、ベストモーメントキャプチャーモード、アドバンスド動画モードまたはモーションスナップショットモードの場合
 - オートモードでライブコントロール機能（□32）を設定している場合
- 連続撮影が終了しても、SDカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、SDカードアクセスランプが点灯し続けます（□27）。
- 連続撮影中にバッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがSDカードに記録されます。

▼ 連続撮影可能コマ数の表示

- シャッターボタンを半押しすると、rと連続撮影可能コマ数（連続撮影速度を維持したまま続けて撮影できるコマ数）が、液晶モニターに表示されます。右図の場合、連続撮影速度を維持したまま、あと最低22コマ続けて撮影できることを示しています。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。



▼ [S] 1コマ撮影

[連写とセルフタイマー] の初期設定の [S]（1コマ撮影）では、シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影できます。

▼ 関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□234）

セルフタイマーを使って撮影する

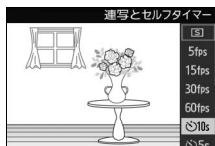
シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

1 マルチセレクターの (連写/セルフタイマー) を押す

- 液晶モニターに [連写とセルフタイマー] のメニューが表示されます。



2 マルチセレクターで [10s]、[5s]、[2s] のいずれかを選び、 ボタンを押す



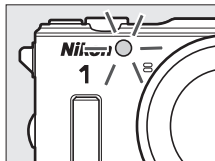
3 構図を決める

- 撮影を始める前に、三脚などで固定してください。



4 撮影を始める

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。タイマーが作動し、電子音が鳴り始め、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短くなります。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではタイマーは作動しません。



5 シャッターがきれる

- シャッターボタンを全押ししてから、選んだセルフタイマーの時間が過ぎると、シャッターがきれます。



動画のセルフタイマー撮影について

動画をセルフタイマー撮影をするときは、シャッターボタンの代わりに動画撮影ボタンを使って動画の撮影を開始します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画の撮影を終了します。


セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

フラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前にフラッシュポップアップボタンを押して内蔵フラッシュを上げてください。セルフタイマーの作動中にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。

セルフタイマーの解除について

電源をOFFにすると、セルフタイマーは解除されます。

関連ページ

セルフタイマー撮影時の電子音を消す →  [音の設定] (□□206)

画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。



−1段補正



露出補正なし



+1段補正

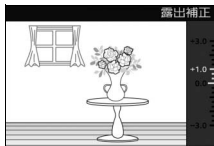
1 マルチセレクターの （露出補正）を押す

- 液晶モニターに「露出補正」のメニューが表示されます。



2 マルチセレクターで露出補正值を選ぶ

- 1/3段刻みで±3段の範囲で設定できます。
- 画像全体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは−側に補正します。
- 露出補正を解除するには、補正值を0.0にしてください。クリエイティブモードのP、S、A、[水中]では、カメラの電源をOFFにしても、補正值の設定は解除されません。



露出補正の設定について

露出補正を行うときは、撮影メニューの「測光モード」(□164)を「中央部重点測光」または「スポット測光」にすると効果的です。

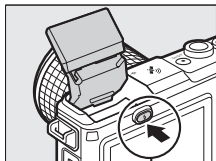
内蔵フラッシュ使用時の露出補正

内蔵フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方に補正が行われます。

内蔵フラッシュについて

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむことができます。

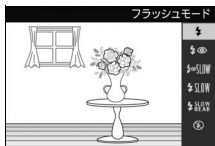
1 フラッシュポップアップボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる



フラッシュポップアップボタン

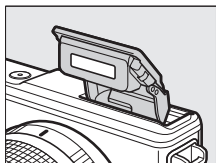
2 フラッシュモードを設定する

- マルチセレクターの⚡（フラッシュモード）を押してから、マルチセレクターでフラッシュモードを選び、OKボタンを押します。


















3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する

- 内蔵フラッシュが上がると、フラッシュの充電が始まります。フラッシュの充電が完了している場合にシャッターボタンを半押しすると、液晶モニターにレディーライト（⚡）が点灯します。



■ 設定できるフラッシュモード

設定できるフラッシュモードは次の通りです。[ⓧ]（発光禁止）以外のフラッシュモードでは、撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。

フラッシュモード	撮影モード
⚡ 通常発光 ：撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。	P、S、A、M、   (Ⓜ、Ⓜ)、   、  、  、 
⚡👁️ 赤目軽減発光 ：フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。人物撮影に適しています。	P、S、A、M、   、  、  、  、 
⚡👁️ SLOW 赤目軽減発光+スロー ：赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。	P、A
⚡ SLOW 通常発光+スロー ：通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	P、A、  (Ⓜ、Ⓜ)
⚡ SLOW REAR 後幕発光+スロー ：後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	P、A、  (Ⓜ、Ⓜ)
⚡ REAR 後幕発光 ：通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。	S、M














先幕発光



後幕発光

ⓧ 発光禁止：内蔵フラッシュは発光しません。このフラッシュモードは、内蔵フラッシュが上がっている場合のみ表示されます。

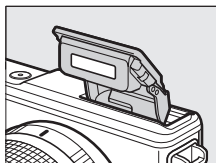
P、S、A、M、
 (Ⓜ、Ⓜ)、
、

 (Ⓜ、Ⓜ) = 水中、 = 夜景ポートレート、 = 逆光、 = ソフト、 = ミニチュア効果、 = セレクトカラー



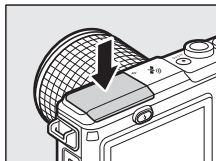
☑ 内蔵フラッシュのポップアップ

内蔵フラッシュを上げるときは、フラッシュが図のように上がっていることを確認してください。フラッシュを使用して撮影する場合は、フラッシュに触れないようにご注意ください。



✍ 内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。



✍ 内蔵フラッシュを発光させないようにするには

- フラッシュモードを [④] (発光禁止) に設定してください。ただし、[夜景ポートレート]、[逆光] ([HDR] が [しない]、□44) の場合は、[⑤] は選べません。
- フラッシュを収納してください。

✍ 内蔵フラッシュの制限について

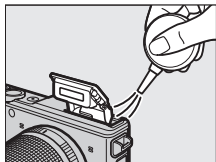
次の場合、内蔵フラッシュは発光しません。

- オートモードでライブコントロール機能 (□32) を設定している場合
- [連写とセルフタイマー] (□86) が [15fps]、[30fps] または [60fps] の場合
- 撮影メニューの [HDR] (□44) を [する] に設定している場合

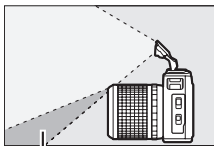


✓ 内蔵フラッシュについてのご注意

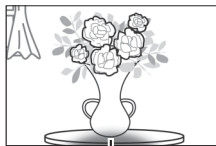
- 内蔵フラッシュがポップアップしているときは、耐衝撃性能（□ix）の保証対象外となります。
- 内蔵フラッシュは無理に押し下げないでください。故障の原因となります。
- 砂やほこりの多い場所で使用した後は、内蔵フラッシュの収納部に入った異物をブローなどで吹き払ってください。異物が取れない場合は、□58の手順でカメラのお手入れを行ってください。異物が入ったまま内蔵フラッシュを収納すると、故障の原因となります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- 高いISO感度で近くの被写体を撮影する場合は、白とびが発生することがあります。
- 赤目軽減発光モードに設定している場合、レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に十分な赤目軽減効果が得られないことがあります。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。



ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。



ケラレ



ケラレ

✍ 関連ページ

内蔵フラッシュの発光量を調整する → 📷 [フラッシュ調光補正] (□180)

✍ 内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります（標準ズームレンズ使用時、開放絞り、ISO160～6400設定時）。

- 約0.6～7.0 m（広角側）
- 約0.6～4.2 m（望遠側）



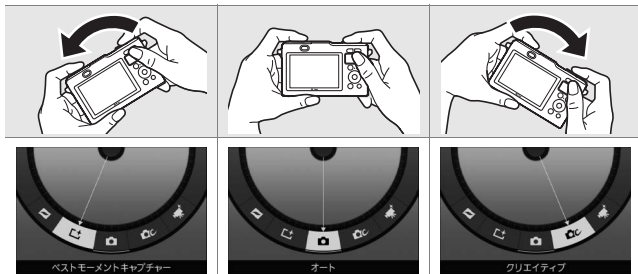
アクションボタンで操作する (アクション操作)

📷 ボタンを押したままカメラを左右に傾げるだけでカメラを操作できます。





撮影画面で撮影モードを変更する

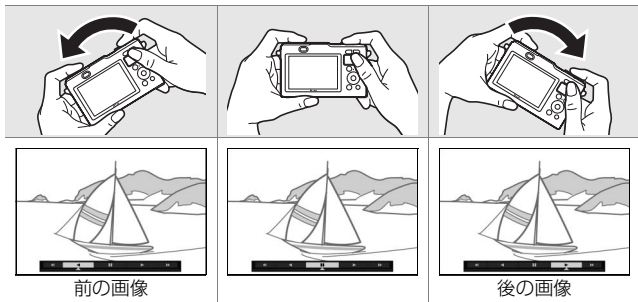
撮影画面で📷 ボタンを押したままカメラを左右に傾げると、撮影モード (📷 10) を選べます。📷 ボタンを放すと決定します。




- 決定せずに戻るには、カメラを前後に傾けて、項目が選択されていない状態で📷 ボタンを放してください。

再生画面で表示する画像を選ぶ

再生画面で  ボタンを押したままカメラを左右に傾けると、表示する画像を選べます。 ボタンを放すと決定し、選んだ画像が1コマ表示されます。

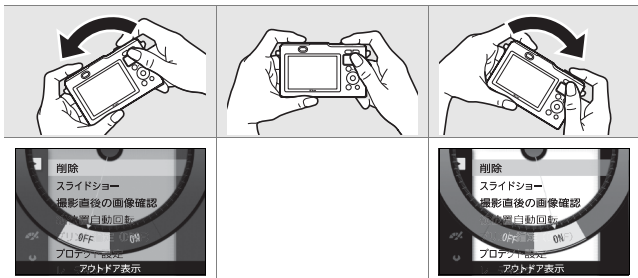


- カメラを大きく傾けると、10コマ前または10コマ後の画像を表示します。
- サムネイル表示時 (□117) は、1コマ表示に切り替わり、表示する画像を選べます。
- 動画の再生中 (□67) は、早送りまたは巻き戻しできます。カメラの傾き度合いによって早送りまたは巻き戻しの速度が変わります。
- 動画を一時停止しているときは、コマ送りまたはコマ戻しできます。 ボタンを放すと、表示中のフレームで一時停止します。



メニュー画面でアウトドア表示を切り換える

メニュー画面で \odot ボタンを押したままカメラを左右に傾けると、アウトドア表示と通常表示を切り換えられます。 \odot ボタンを放すと決定します。アウトドア表示にすると、晴れた屋外などの明るい場所で画面を見やすくできます。



- 決定せずに戻るには、カメラを前後に傾けて、項目が選択されていない状態で \odot ボタンを放してください。
- アウトドア表示にすると、[モニター表示] (□205) の [モニターの明るさ] が [Hi] (高輝度) に、[ハイコントラスト表示] が [する] に設定されます。
- アウトドア表示中は、バッテリーの消耗が早くなります。

✓ アクション操作についてのご注意

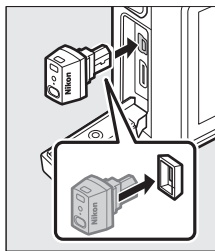
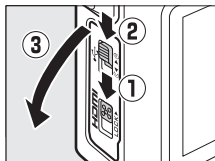
- アクション操作をするときは、カメラをしっかりと持ってください。
- アクション操作中は、 \odot ボタン、シャッターボタンおよび電源スイッチのみ使用できます。
- 次の場合はアクション操作は使用できません。
 - 拡大表示時
 - カレンダー表示時
 - パノラマ再生時
 - スマートフォトセレクターの画像確認時
 - NMS形式のモーションスナップショットの再生時

別売のワイヤレスモバイルアダプターを使用してスマートデバイスと連動する

USB端子にワイヤレスモバイルアダプター WU-1b (□215) を装着して、Wireless Mobile Utilityがインストールされたスマートデバイスと無線LAN接続をすると、カメラのSDカードに記録した画像をスマートデバイスに取り込んだり、スマートデバイスからカメラを操作して静止画を撮影したりできます。

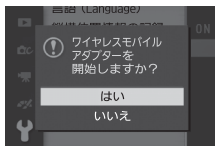
1 USB端子にWU-1bを取り付ける

- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 端子カバーロックスイッチのロックを解除してから (①) 開閉ノブを操作し (②)、カバーを開けてください (③)。
- WU-1bのUSB端子に装着されているゴムを外してからカメラに取り付けてください。



2 セットアップメニューの「ワイヤレスモバイルアダプター」を選び、確認画面で「はい」を選ぶ

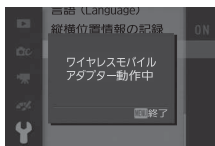
- スマートデバイスと無線LAN接続ができるようになります。
- 「いいえ」を選べると、WU-1bを接続していても無線LAN接続を行いません。



3 スマートデバイスでWireless Mobile Utilityを起動する

4 スマートデバイス側を操作して撮影する

- スマートデバイスと無線LAN接続すると、スマートデバイス側のモニターに被写体が表示されます。カメラの液晶モニターには、無線LAN接続中のメッセージが表示されます。



✔ 初めてWU-1bと接続する場合

WU-1bと接続するには、カメラにWU-1bを取り付けた後にスマートデバイスと接続の設定をする必要があります。接続設定はWU-1b付属の使用説明書を参照してください。

✔ 無線LAN接続時のご注意

- 無線LAN接続中は、カメラの設定を変更できません。
- 無線LANの接続を解除するには、MENUボタンを押してください。

🔗 WU-1bおよびWireless Mobile Utilityについて

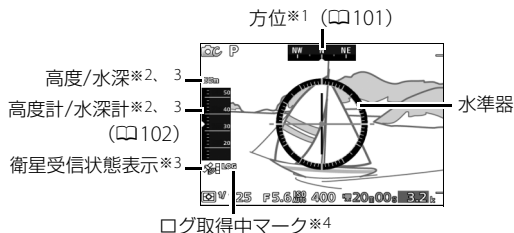
- Wireless Mobile Utilityの動作環境やインストール方法、およびスマートデバイスとカメラを無線で接続する方法は、次のWebサイトよりWireless Mobile Utilityの使用説明書 (PDF) をダウンロードしてご確認ください。

<http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- Wireless Mobile UtilityはGoogle PlayまたはApp Storeからダウンロードできません。
- Wireless Mobile Utilityの詳しい使用方法は、Wireless Mobile Utilityの使用説明書 (PDF) を参照してください。

高度計/水深計、方位、 水準器、位置情報機能 (GPS/GLONASS)、 ログ取得について

撮影画面の表示が詳細表示 (□7) のときにDISPボタンを押すと、高度計/水深計や方位、水準器などの情報を表示します。



- ※1 カメラのレンズが下を向いているときは、電子コンパスの表示が円形 (方位磁石型) に切り替わります。
- ※2 セットアップメニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] (□208) の設定によって、高度計または水深計のいずれかが表示されます。
- ※3 セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] が [する] のときに表示されます (□103)。
- ※4 ログ取得しているときに表示されます (□109)。



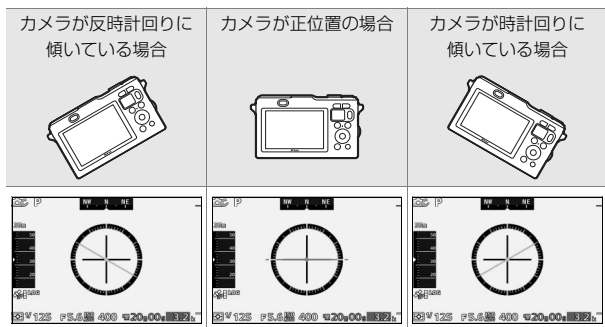
方位について

- 内蔵の電子コンパスで取得した方位が表示されます。方位の情報は常に画像に記録されます。ただし、カメラのレンズが上を向いているときは方位を取得できないため、画面に方位は表示されず、記録もされません。
- 電子コンパス非対応のレンズを取り付けた場合は、方位は正しく表示されません。また、方位の情報も記録されません。電子コンパス対応のレンズは1 NIKKOR AW 11-27.5mm f/3.5-5.6、1 NIKKOR AW 10mm f/2.8、1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMです。それ以外のレンズについてはレンズの使用説明書をご覧ください。
- 方位が正しく表示されないときは、電子コンパスを補正してください(□113)。
- このカメラの電子コンパスを登山などの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 次のようなものの近くでは、方位を正確に計測できないことがあります。
磁石、金属、電動機、家庭電化製品、送電線など
- 次のような場所では、方位を正確に計測できないことがあります。
自動車、電車、船舶、航空機、建物や地下街などの中

水準器について

カメラに内蔵している加速度センサーを使って、ローリング方向の傾きを表示します。

- カメラを正位置（傾きのない状態）にすると、水準器表示の基準線が緑色に変わります。
- 水準器の1目盛は、 5° を表します。

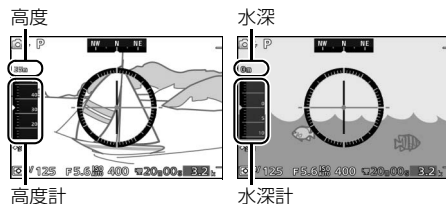


- カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。

高度/水深を画像に記録する

このカメラは、高度または水深のいずれかを表示して、撮影した画像に記録できます。

- 高度または水深は、セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] が [する] のときに表示されます (□103)。
- セットアップメニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] で高度計または水深計を切り換えられます (□208)。



- 高度計、高度表示の表示範囲は-500 m~+4500 mです。
- 水深計、水深表示の表示範囲は0 m~20 mです。



☑ 高度計/水深計についてのご注意

- このカメラの高度計 / 水深計を登山やダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 高度は気圧計を使って測定しているため、気象条件によっては正しく表示されないことがあります。
- 水深計の水深15 mを超える部分は赤色で表示されます。

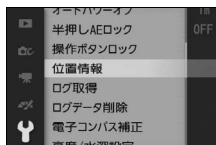


位置情報を記録する

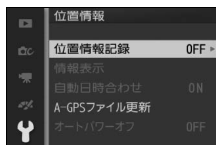
カメラの位置情報機能（GPS/GLONASS）を使って、現在の位置情報（緯度、経度）と時刻（UTC（協定世界時））を取得します。取得した位置情報は、撮影する画像に記録できます。位置情報を取得するときは、空のひらけた屋外で操作してください。

- 高度計/水深計で取得した高度/水深の情報も記録されます。
- 位置情報の記録を開始する前に、セットアップメニューの [地域と日時]（□210）を正しく設定してください。

1 セットアップメニューの [位置情報] を選び、マルチセレクターの▶を押す

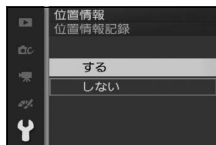


2 [位置情報記録] を選んで▶を押す



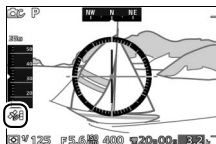
3 [する] を選ぶ

- **OK** ボタンを押すと、位置情報機能が有効になり、衛星から電波を受信して測位が始まります。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。



4 衛星の受信状態を確認する

- 3つ以上の衛星から受信して測位していないと、画像に位置情報は記録されません。



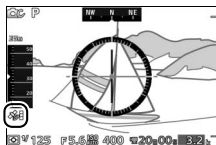
5 撮影する

- 衛星から受信した位置情報が画像に記録されます。
- 画像に記録した位置情報の表示方法については、「画像情報を表示する」(□114) をご覧ください。



🔍 衛星受信状態表示について

- 📶: 4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
- 📶: 3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
- 📶: 1つまたは2つの衛星から受信していますが、測位できません。
- 📶: 衛星から受信できません。



❑ 位置情報機能についてのご注意


- 位置情報機能をお使いの前に、「位置情報機能 (GPS/GLONASS) についてのご注意」(□xxiv) をお読みください。
- 初めて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、最後に位置情報を取得した場所から大きく距離が移動したとき、バッテリーを交換したときは、測位情報を取得するまで時間がかかります。
- 航法衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- 次のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なる場合があります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 水中
 - 入れ物の中 (金属製のカバンなど)
- 携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものや、磁気を発生するものがある場合は、測位できないことがあります。
- 航法衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じる場合があります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連続撮影した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

❑ 位置情報記録時の電源とバッテリーの消耗について

- [位置情報記録] が [する] のときは、カメラの電源を OFF にした後も、位置情報機能が一定の間隔で作動します。
- [位置情報記録] が [する] のときは、バッテリーの消耗が早くなります。操作中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。



位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時にが表示されます (□114)。
- 位置情報を記録した画像は、パソコンに転送後、付属のViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます (□132)。
- 画像ファイルに記録されている位置情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

位置情報機能の設定

セットアップメニューの [位置情報] を選ぶと、位置情報機能について設定できます。

- [位置情報記録] が [する] の場合、位置情報測位により取得した位置情報と、高度計/水深計により取得した高度/水深を画像に記録します (□103)。
- [情報表示] では、位置情報測位により取得した緯度および経度、高度計により取得した高度、UTC (協定世界時)、アシストGPS (A-GPS) ファイルの有効期限、電子コンパスで取得した方位の情報を表示します。UTCは、位置情報測位により取得された世界標準時で、カメラで設定されている時刻とは別に記録されます。
- [自動日時合わせ] が [する] の場合、位置情報測位により取得された日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。位置情報を使用して日時を合わせないときは、[しない] を選んでください。
- [A-GPS ファイル更新] では、SD カードを使って A-GPS (アシストGPS) ファイルを更新できます (□107)。
- [オートパワーオフ] では、[位置情報記録] が [する] のときにオートパワーオフ (□21) を有効にするか無効にするかを設定できます。

有効	カメラを操作していないときは、セットアップメニュー [オートパワーオフ] (□206) で設定された時間で液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になります。 <ul style="list-style-type: none">• カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。
無効	[位置情報記録] が [する] のときは、オートパワーオフしません。



■ A-GPSファイルの更新方法

最新のA-GPS（アシストGPS）ファイルを使うと、カメラの位置情報機能で位置情報を測位する時間を短縮できます。

1 下記のホームページから最新のA-GPSファイルをパソコンにダウンロードする

<http://nikonimglib.com/agps3/>

2 パソコンに装備されているカードスロットまたは市販のカードリーダーなどを使って、ダウンロードしたファイルをSDカードの「NCFL」フォルダーにコピーする

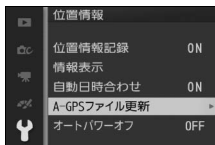
- 「NCFL」フォルダーはSDカードのルートディレクトリー（一番上の階層）にあります。SDカード内に「NCFL」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してください。

3 A-GPSファイルを保存したSDカードをカメラに入れる

4 カメラの電源を入れる

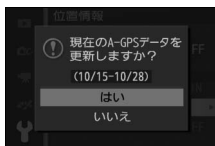
5 セットアップメニュー【位置情報】の【A-GPSファイル更新】を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、更新の確認画面が表示されます。



6 A-GPSファイルを更新する

- [はい] を選んでⓀボタンを押すと、A-GPSファイルを更新します。
- ファイルの更新終了まで、約2分かかります。



▼ A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPSファイルの有効期限は約2週間です。有効期限よりも古いA-GPSファイルをSDカードに入れてA-GPSファイルを更新しようとすると、警告メッセージが表示されます。
- A-GPSファイルの有効期限は、**【位置情報】**の**【情報表示】**(□□106)で確認できます。
- A-GPSファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は短縮されません。A-GPSファイルは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。
- GLONASSの衛星を使用して位置情報を測定する場合は、位置情報の測位は短縮されません。



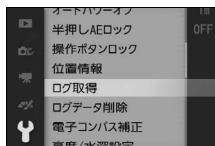
位置情報/水深情報のログを保存する

移動中の位置情報または水深情報のログを保存できます。

- ログ取得を開始する前に、セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] を [する] に設定してください (□103)。
- 位置情報ログを取得するときは、ログ取得を開始する前に高度計/水深計の表示を高度計に切り換えてください (□208)。
- 水深ログを取得するときは、ログ取得を開始する前に高度計/水深計の表示を水深計に切り換えてください (□55)。

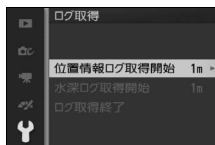
1 セットアップメニューの [ログ取得] を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、取得するログの選択画面が表示されます。



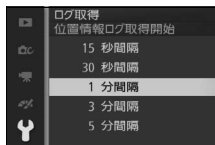
2 取得開始するログを選ぶ

- [位置情報ログ取得開始]：位置情報のログを取得します。
- [水深ログ取得開始]：水深情報のログを取得します。
- [OK] ボタンを押すと、ログ取得間隔の設定画面が表示されます。



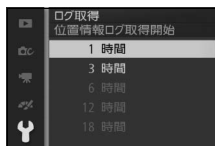
3 ログ取得する間隔を選ぶ

- [OK] ボタンを押すと、ログ取得時間の設定画面が表示されます。



4 ログ取得する時間を選ぶ

- 位置情報ログと水深ログで設定できる時間は異なります。
- **OK** ボタンを押すと、ログの取得が始まります。
- ログ取得中は、画面に **LOG (LOG)** が表示されます。
- カメラの電源をOFFにしてもログを取得し続けます。

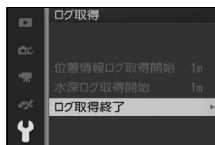


5 ログ取得をする

- 設定した取得時間が経過すると、ログ取得を終了します。
- 設定した取得時間が経過する前にログ取得を終了したいときは、手順6へお進みください。

6 セットアップメニューの [ログ取得] で [ログ取得終了] を選ぶ

- **▶** を押すと、ログ保存の確認画面が表示されます。



7 [ログ保存] を選ぶ

- **OK** ボタンを押すと、SDカードにログデータを保存します。
- **[ログ消去]** を選ぶと、ログデータを保存せずにログ取得を終了します。
- 記録したログは、画像とは別のファイルとして記録されます。



✔ ログ取得についてのご注意

- 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- ログ取得中のバッテリー切れを防ぐため、十分に残量のあるバッテリーをお使いください。位置情報ログまたは水深ログ取得中は、バッテリーを特に早く消耗しますので、残量にご注意ください。
- ログ取得時間内でも、次の場合はログ取得が終了します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - バッテリーを取り外したとき
 - ログ取得中にセットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] を [しない] に設定したとき
- 位置情報の測位ができずにログの取得が途絶えている間は、位置情報ログは記録されません。
- カメラの電源をOFFにしても、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間が過ぎるまでログ取得をします。
- ログデータは一時的にカメラに記録されます。カメラにログデータが残っていると、新しくログ取得ができません。ログ取得後は、SDカードにログデータを保存してください。

📄 ログデータのパソコンへの転送について

ログはSDカードの「NCF」フォルダーに保存され、Nyymmddx.logまたはNyymmddx.lgbという名前が付けられます。yyにはログを取得した年の西暦下2桁が入り、mmには月が、ddには日が、xには0~9、A~Zの識別番号が入ります。ファイルの拡張子は、位置情報ログが「.log」、水深ログが「.lgb」になります（たとえば、2013年10月15日に最初に取得した位置情報ログのファイル名は「N1310150.log」になります）。パソコンに装備されているカードスロットまたは市販のカードリーダーにログデータの入ったSDカードを差し込み、Nikon Transfer 2でパソコンに転送してください。

📄 ログデータについて

- 付属のViewNX 2の [地図] 機能 (☐132) を使うと、画像に記録した位置情報を地図上に表示したり、カメラで取得したログを使って地図上に移動ルートを表示できます。
- 位置情報ログデータはNMEAフォーマットに準拠しています。ただし、全てのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。
- 位置情報ログには高度の情報は記録されません。
- 水深情報ログには、位置情報（緯度と経度）および時刻（UTC（協定世界時））は記録されません。

📄 関連ページ

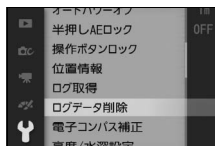
SDカードに保存されたログデータを削除する → 📄 [ログデータ削除] (☐112)

保存したログデータを削除する

SDカードに保存されたログデータを削除できます。

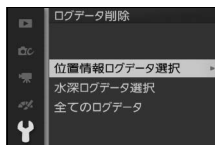
1 セットアップメニューの [ログデータ削除] を選ぶ

- マルチセクターの▶を押すと、削除方法の選択画面が表示されます。



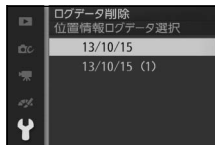
2 削除の方法を選ぶ

- 次の項目から削除の方法を選び、OKボタンを押します。
 - [位置情報ログデータ選択]：位置情報ログを選んで削除します。
 - [水深ログデータ選択]：水深情報ログを選んで削除します。
 - [全てのログデータ]：全ての位置情報ログと水深情報ログを削除します。手順4へお進みください。

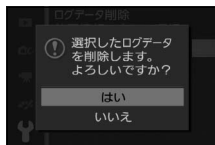


3 削除するログを選ぶ

- ▲▼を押して削除するログを選び、OKボタンを押します。



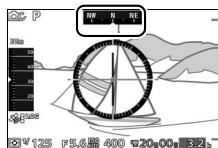
4 確認画面で [はい] を選び、OKボタンを押す



電子コンパスを補正する

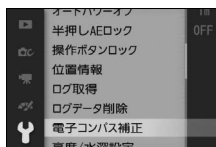
方位が正しく表示されないときは、電子コンパスを補正してください。

- 電子コンパスの補正は、レンズを装着したまま行ってください。

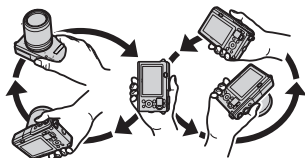


1 セットアップメニューの【電子コンパス補正】を選ぶ

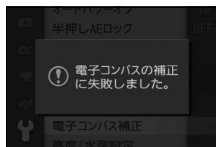
- マルチセレクターの▶を押すと、補正画面が表示されます。



2 カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振る



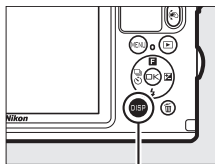
- 補正が終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。
- 補正に失敗した場合は右のようなメッセージが表示されます。屋外でもう一度補正を行ってください。



いろいろな再生機能

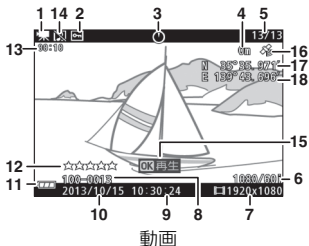
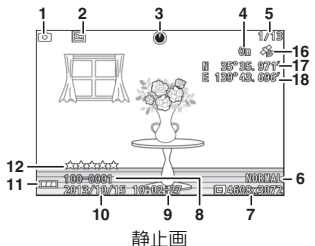
画像情報を表示する

1コマ表示モード (□28) でDISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が「情報表示あり」、「統合表示」、「画像のみ（情報表示なし）」の順に切り替わります。



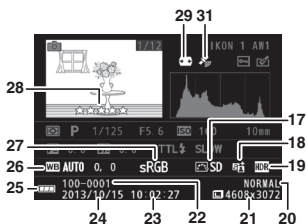
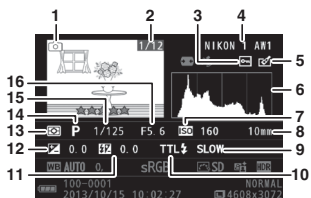
DISPボタン

■■ 情報表示あり

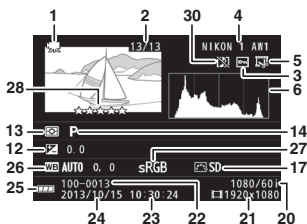


- | | |
|---|--|
| <p>1 撮影モード</p> <p>2 プロテクト設定の有無 149</p> <p>3 方位 100、101</p> <p>4 高度 102、208
水深 55、102、208</p> <p>5 コマ番号/全画像数</p> <p>6 画質モード 160
撮影速度
(フレームレート) ... 182、183</p> <p>7 画像サイズ 161
動画解像度 182、183</p> | <p>8 フォルダー番号-ファイル番号
..... 116</p> <p>9 撮影時刻 22、210</p> <p>10 撮影日付 22、210</p> <p>11 バッテリー残量表示 24</p> <p>12 レーティング設定 121</p> <p>13 動画記録時間 67</p> <p>14 音声録音の有無 184</p> <p>15 操作ガイド 67</p> <p>16 位置情報取得マーク 103</p> <p>17 緯度 103</p> <p>18 経度 103</p> |
|---|--|

■ 統合表示



静止画



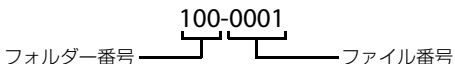
動画

- | | | | | | |
|----|------------------|-------------|----------------|-----------------|---------|
| 1 | 撮影モード | 13 | 測光モード | 164 | |
| 2 | コマ番号/全画像数 | 14 | クリエイティブモード | 34 | |
| 3 | プロテクト設定の有無 | 149 | ベストモーメントキャプチャー | | |
| 4 | カメラ名 | | モード | 74、77 | |
| 5 | 画像編集の有無 | 150、151、152 | アドバンスト動画モード | | |
| 6 | 画像のヒストグラム (□116) | | | 64、70 | |
| 7 | ISO感度 | 192 | 露出モード | 159 | |
| 8 | 焦点距離 | 255 | 15 | シャッタースピード | 38、40 |
| 9 | フラッシュモード | 91、92 | 16 | 絞り値 | 39、40 |
| 10 | フラッシュ発光方式 | 179 | 17 | Picture Control | 193 |
| 11 | フラッシュ調光補正量 | 180 | 18 | アクティブD-ライティングの | |
| 12 | 露出補正值 | 90 | 設定の有無 | 167 | |
| | | | 19 | HDR | 44 |
| | | | 20 | 画質モード | 160 |
| | | | | 撮影速度 | |
| | | | | (フレームレート) ... | 182、183 |

21 画像サイズ	161	27 色空間	166
動画解像度	182、183	28 レーティング設定	121
22 フォルダ番号-ファイル番号		29 自動ゆがみ補正	165
23 撮影時刻	22、210	30 音声録音の有無	184
24 撮影日付	22、210	31 位置情報データの有無	103
25 バッテリー残量表示	24		
26 ホワイトバランス	186		
ホワイトバランス微調整	187		

📎 フォルダ番号とファイル番号について

このカメラで撮影した画像には、撮影順に0001～9999の番号が付けられ、フォルダごとに999枚ずつ保存されます。フォルダ内に999個のファイルが記録されたとき、またはファイル番号が9999に達したときは、新しいフォルダが自動的に作成されます。



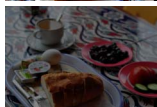
📎 ヒストグラムについて

●ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

●いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの山が全体的に分布したヒストグラムになります。



●暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。



●明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。
















●露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

●ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。














複数の画像を一覧表示する (サムネイル表示モード)

1コマ表示モードで  ボタンを押すと、複数の縮小画像（サムネイル画像）を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

表示コマ数を増やす		<p> ボタンを押すたびに、表示コマ数（4コマ/9コマ/72コマ）が切り替わります。</p> 
表示コマ数を減らす		<p>Q ボタンを押すたびに、表示コマ数が、72コマ表示のときは9コマ表示に、9コマ表示のときは4コマ表示に、4コマ表示のときは1コマ表示（28）に切り替わります。</p> 
画像を選ぶ		<p>マルチセレクターの▲▼◀▶を押すと、黄色の枠（カーソル）が動いて、拡大表示（119）や削除（120）の対象となる画像を選べます。</p>
1コマ表示する		<p>サムネイル表示モードを終了して、1コマ表示モードに戻ります。</p>
画像を削除する		<p>選んだ画像を削除します（120）。</p>

撮影した日付ごとに画像を表示する (カレンダー表示モード)








72コマ表示時 (□117) に  ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。カレンダー表示モードは、選択している画像の撮影日付を表示します。

カレンダー表示 モードに 切り換える		72コマ表示時 (□117) に  ボタンを押すと、「カレンダー表示モード」に切り替わります。  → 
72コマ表示に 切り換える		カレンダー表示モードでQボタンを押すと、72コマ表示に戻ります。  → 
日付を選ぶ		カレンダー表示モードでマルチセレクターの ▲▼◀▶ を押すと、黄色の枠 (カーソル) が動いて撮影した日付を選べます。
1コマ表示する		選択した日付の最初の画像を1コマ表示します。
画像を削除する		選んだ日付の画像を全て削除します。




画像を拡大表示する

1コマ表示モードでQボタンを押すと、拡大表示できます。拡大表示中に人物の顔を認識した場合、最大5人までの顔を白枠で囲んで表示します。動画やモーションスナップショット画像は、拡大表示できません。拡大表示中は次の操作を行えます。

拡大率を上げる		Qボタンを押すたびに、拡大率が上がります。	 <p>拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下にナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。数秒すると消えます。</p>
拡大率を下げる		☒ボタンを押すたびに、拡大率が下がります。	
画面をスクロール（移動）させる		画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。	 <p>拡大表示中に人物の顔を認識すると、画面右下のナビゲーションウィンドウに白枠が表示されます。</p>
表示する人物の顔を切り換える		顔認識を使用して撮影時に顔を認識した場合、マルチセクターの◀▶を押すと、認識した顔に順次移動します。	
1コマ表示する		拡大表示を終了して、1コマ表示モードに戻ります。	

関連ページ

拡大表示中の画像に顔認識した顔があるときもマルチセクターの▲▼◀▶で画面をスクロールできるようにする →  [拡大時顔優先] (□153)

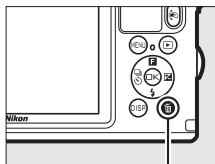
画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せない
のでご注意ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。

再生中の画像を削除する

1コマ表示モードまたはサムネイル表示モードで \square ボタンを押すと、削除確認の画面が表示されます。もう一度 \square ボタンを押して画像を削除します。

- 削除をやめるには、 \square ボタンを押します。



再生ボタン

複数の画像をまとめて削除する

MENUボタンを押して、再生メニューの [削除] を選ぶと、複数の画像を一括して削除できます。

- 次の項目から削除の方法を選び、 \odot ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、選んだ画像を削除します。
- たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

選択画像削除	画像選択画面 (□148) で画像を選び、マルチセクターの▲▼を押してON/OFFを切り換えます。
全画像削除	SDカード内の全ての画像を削除します。



画像にレーティング（重要度）を設定する

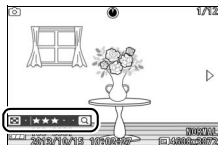
画像にレーティング（重要度）を設定できます。

1 レーティングを設定する画像を選ぶ

- 1コマ表示モードでレーティング設定する画像を表示します。

2 レーティングを設定する

- マルチセクターの**F**（フィーチャー）を押すと、レーティングの設定画面が表示されます。
- **Q**ボタンまたは**☒**ボタンを押して
★★★★★～★、星なし、**✖**（削除候補）から選びます。

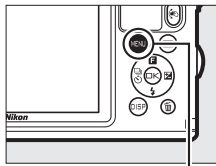


🔒 レーティング設定できない画像について

プロテクト設定された画像には、レーティング設定できません。

スライドショーで再生する

MENUボタンを押して、再生メニューの[スライドショー]を選べると、撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生できます。



MENUボタン

1 スライドショーで再生する画像の種類を選ぶ


- 次の項目から、再生する画像の種類を選び、**OK**ボタンを押します。

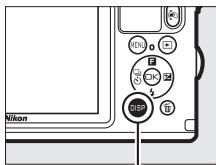
全画像	SDカード内の全ての画像を再生します。
静止画	静止画のみを再生します。[かたんぱノラマ]で撮影した画像の場合、パノラマ再生(□47)を行います。
動画	動画のみを再生します。モーションスナップショットで撮影した動画で、撮影メニューの[ファイル形式](□164)が[MOV形式]の動画も再生します。
モーションスナップショット	モーションスナップショットで撮影した動画のみを再生します(同時に撮影した静止画は再生しません)。撮影メニューの[ファイル形式](□164)を[NMS形式]に設定して撮影した動画のみ再生します。
日付選択	右のようなカレンダーが表示されます。マルチセレクターで日付を選べると、選択した日付に撮影した画像のみを再生できます。
シーン選択	シーン選択画面が表示され、[AUTO オート撮影]、[ポートレート]、[風景]、[水中]、[夜景]、[夜景ポートレート]、[逆光]、[クローズアップ]、[かたんぱノラマ]、[ソフト]、[ミニチュア効果]、[セレクトカラー]から選べます。ここで選んだシーンで撮影した画像のみを再生します。
顔認識画像	カメラが人物の顔を認識した画像のみを再生します(□31)。



2 スライドショーの表示時間、音声再生の有無、BGMを設定する

- 各画像の表示時間、音声再生の有無、BGMを設定します。

インターバル設定	各画像を表示する時間を設定できます。
動画再生時間の設定	動画の再生時間を設定できます。[インターバル設定の時間]を選ぶと、[インターバル設定]で設定した時間で再生します。[制限なし]を選ぶと、それぞれの動画を、記録した時間分再生します。
音の設定	<p>スライドショー再生中の音声やBGMを設定できます。[動画音声あり]を選ぶと、動画に記録された音声のみを再生し、静止画やモーションスナップショットの動画の再生時には、音声を再生しません。</p> <ul style="list-style-type: none">BGM選択時にDISPボタンを押すと、BGMを再生します。もう一度DISPボタンを押すと、再生を終了します。Qボタンを押すと音量が大きくなり、ボタンを押すと音量が小さくなります。

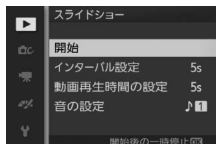


DISPボタン



3 [開始] を選ぶ

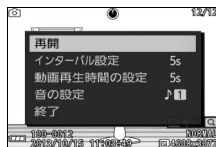
- [開始] を選んで **OK** ボタンを押すと、スライドショーが始まります。



- スライドショー再生時には次の操作を行えます。

1コマ進む/戻る		マルチセレクターの◀を押すと、前の画像が表示されます。▶を押すと、次の画像が表示されます。
一時停止/再開		スライドショーが一時停止します。[再開]を選んで OK ボタンを押すと再開します。
音量を調整する		Qボタンを押すと音量が大きくなり、ボタンを押すと音量が小さくなります。
通常再生に戻る		スライドショーを中止して、1コマ表示モード(□28)、サムネイル表示モード(□117)またはカレンダー表示モード(□118)に戻ります。

- 再生が終わると、右のような画面が表示されます。[再開] を選んで **OK** ボタンを押すと、スライドショーが再開します。[終了] を選んで **OK** ボタンを押すと、スライドショーが終了します。



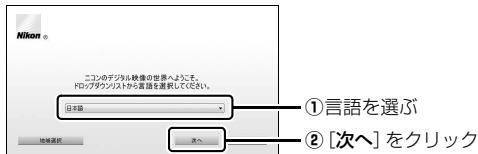
パソコン、テレビ、 プリンターとの接続

付属のソフトウェアをインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、このカメラで撮影した画像の表示、編集やショートムービー作成ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が□127の動作環境に合っているか確認してください。

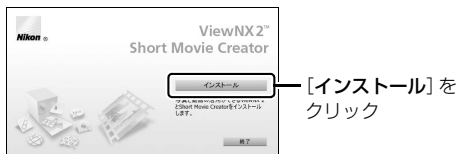
1 パソコンを起動し、ViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、インストーラーを起動する

- 次の画面で言語を選びます。



2 インストールを開始する

- 画面の指示に従ってインストールしてください。



3 インストールを終了する

Windows



[はい] をクリック

Mac OS



[OK] をクリック

- 次のソフトウェアがインストールされます。
 - ViewNX 2
 - Short Movie Creator

4 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

付属のソフトウェアについて

必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター 2 (Nikon Message Center 2) が自動的に更新情報をチェックします。



付属のソフトウェアの動作環境

- ViewNX 2の動作環境は次の通りです。

Windows	
プロセッサ (CPU)	<ul style="list-style-type: none">• 静止画：Intel Celeron/Pentium 4/Coreシリーズ1.6GHz以上• 動画：<ul style="list-style-type: none">- 再生時：Pentium D 3.0GHz以上- 編集時：Intel Core i5以上• 1280 × 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 × 1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5 以上を推奨
OS	<p>Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP</p> <ul style="list-style-type: none">• 全てプリインストールされているモデルに対応• 64ビット版 Windows XP 上では動作しません。
実装メモリー (RAM)	<ul style="list-style-type: none">• 32ビット版 Windows 8、Windows 7、Windows Vista：1 GB 以上 (2 GB 以上推奨)• 64ビット版 Windows 8、Windows 7、Windows Vista：2 GB 以上 (4 GB 以上推奨)• Windows XP：512MB以上 (2GB以上推奨)
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1GB以上 (3GB以上推奨)
モニター	解像度：1024×768ピクセル (XGA) 以上 (1280×1024ピクセル以上推奨)、表示色数：24ビットカラー以上

Mac OS	
プロセッサ (CPU)	<ul style="list-style-type: none">• 静止画：Intel Core シリーズ/Xeon シリーズ• 動画：<ul style="list-style-type: none">- 再生時：Core Duo 2GHz以上- 編集時：Intel Core i5以上• 1280 × 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 × 1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5 以上を推奨
OS	<ul style="list-style-type: none">• OS X 10.8、10.7• Mac OS X 10.6
実装メモリー (RAM)	<ul style="list-style-type: none">• OS X 10.8、10.7：2 GB 以上 (4 GB 以上推奨)• Mac OS X 10.6：1 GB 以上 (4 GB 以上推奨)
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1GB以上 (3GB以上推奨)
モニター	解像度：1024×768ピクセル (XGA) 以上 (1280×1024ピクセル以上推奨)、表示色数：1670万色以上



- Short Movie Creatorの動作環境は次の通りです。

Windows	
プロセッサ (CPU)	Intel Core 2 Duo 2GHz以上
OS	Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP <ul style="list-style-type: none"> • 全てプリインストールされているモデルに対応 • 64ビット版 Windows XP 上では動作しません。
実装メモリー (RAM)	<ul style="list-style-type: none"> • 1.5GB 以上 (HD動画作成には 2GB 以上推奨) • VRAM 128MB 以上 (HD動画作成には 256MB 以上推奨)
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上 (1GB以上推奨)
モニター	解像度：1024×768ピクセル (XGA) 以上、表示色数：32ビットカラー以上
その他	DirectX 9以降、OpenGL 1.4以上が必要です。

Mac OS	
プロセッサ (CPU)	Intel Core 2 Duo 2GHz以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> • OS X 10.8、10.7 • Mac OS X 10.6
実装メモリー (RAM)	1GB以上
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が500MB以上 (1GB以上推奨)
モニター	解像度：1024×768ピクセル (XGA) 以上、表示色数：1670万色以上

- 上記の動作環境に合わない場合は、ViewNX 2だけがインストールされます (□127)。



🔍 モーションスナップショット画像の再生について

撮影メニューの [ファイル形式] (□164) を [NMS形式] に設定して撮影したモーションスナップショット画像をパソコンで再生するには、ViewNX 2が必要です。

🔍 対応OSについて

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報 (□xxv) でご確認ください。

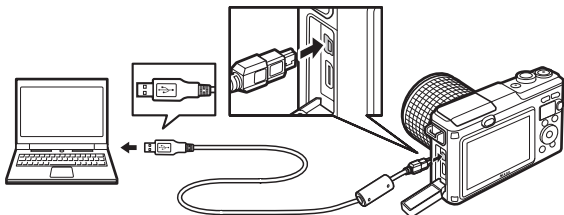
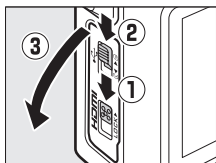
ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

- SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。
 - SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする※

※ 端子カバーロックスイッチのロックを解除してから (①) 開閉ノブを操作し (②)、カバーを開けてください (③)。USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



- パソコンに装備されているカードスロットに直接SDカードを差し込む
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする

2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ばず画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

Windows 7をお使いの場合

下の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 [画像とビデオのインポート] で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
 - [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックします。
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする

3 画像をパソコンに取り込む

- [転送開始] をクリックすると、記録されている全ての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。



[転送開始] を
クリック

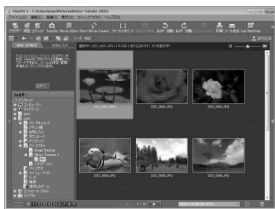


4 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

ViewNX 2を起動する

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。



■ ViewNX 2を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックする
- Mac OS : Dockの [ViewNX 2] アイコンをクリックする

■ 静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで [エディット] をクリックします。



階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。

■■ ショートムービーを作成する



Short Movie Creatorでは、カメラで撮影した画像をパソコンで自由に組み合わせて、BGM付きのショートムービーを作成できます。Short Movie Creatorの使い方については、□133をご覧ください。

■■ 画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで [印刷] をクリックします。



ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。

■■ 取得した位置情報をパソコンで表示する

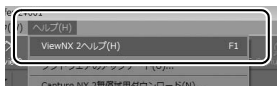
ViewNX 2のツールバーで [地図] をクリックします。



画像に記録した位置情報 (□103) を地図上に表示したり、カメラで取得したログ (□109) を使って地図上に移動ルートを表示できます。

🔍 ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。



Short Movie Creatorでショートムービーを作る

付属のソフトウェアをパソコンにインストールすると、カメラで撮影した静止画、動画、モーションスナップショット画像をパソコンで自由に組み合わせて、BGM付きのショートムービーを簡単に作成できます。

1 パソコンに画像を取り込む

- Nikon Transfer 2を使って、撮影した画像を自動的にパソコンに取り込む方法については、□129の「パソコンに画像を取り込む」をご覧ください。

2 組み合わせたい画像を選ぶ

- ViewNX 2 (□131) で、ショートムービーに使いたい画像を選びます。

3 Short Movie Creatorを起動する

- ViewNX 2のツールバーで **[Short Movie Creator]** をクリックします。
- Short Movie Creator画面が表示されます。



[素材] エリア


4 組み合わせたい素材を決める

- 手順2で選んだ画像が、Short Movie Creatorの**【素材】** エリアに表示されます。スマートフォトセクター画像の場合は、ベストショットのみが**【素材】** エリアに表示されます。モーションスナップショット画像の場合は、同時に撮影した静止画と動画が別ファイルで表示されます。
- ViewNX 2から**【素材】** エリアに画像をドラッグ&ドロップすることもできます。
- **【素材】** エリア上の画像は、マウスでドラッグして順番を変えられます。

5 スタイルとBGMを選ぶ

- **【スタイル】** エリアから、ショートムービーに合ったスタイルを選びます。
- **【音楽】** エリアから、ショートムービーに合ったBGMを選びます。

6 ショートムービーをプレビューする

-  をクリックすると、ショートムービーをプレビューできます。



Short Movie Creatorの詳しい使い方は

Short Movie Creatorのヘルプを参照してください。



7 ショートムービーを生成する

• [ムービー生成] をクリックすると、右の画面が表示されます。次のいずれかを選んで [生成] を押すと、設定した内容でショートムービーを生成して保存します。

- [ファイル保存]：パソコン上のフォルダーを指定して、ショートムービーを保存します。パソコン上でショートムービーを楽しむ場合に適しています。
- [カメラ（メモリーカード）へ書き戻し]：パソコンに装備されているカードスロットや市販のカードリーダーに装着したSDカードにショートムービーを保存します（あらかじめカメラで初期化（□204）したSDカードをカードスロットまたはカードリーダーに装着する必要があります）。ショートムービーをカメラで再生する場合は、この方法を選んでください。



ViewNX 2を起動させずにShort Movie Creatorを使いたい場合

デスクトップの [Short Movie Creator] のショートカットアイコンをダブルクリックしたり（Windowsの場合）、Dockの [Short Movie Creator] アイコンをクリックしても（Mac OSの場合）、Short Movie Creatorを起動できます。



Windows



Mac OS

Short Movie Creatorで作成したショートムービーをカメラやテレビで再生する

手順7の [カメラ（メモリーカード）へ書き戻し] でショートムービーを保存したSDカードをカメラに入れて、生成したショートムービーをカメラで再生することができます。さらに、カメラをテレビに接続すると（□136）、ショートムービーをテレビ画面に表示できます。

- [ファイル保存] でパソコンに保存したショートムービーや他のアプリケーションで編集した動画は、このカメラで再生できません。

画像をテレビで見る

カメラをテレビなどに接続して、撮影した画像をテレビ画面に表示できます。たとえば、付属のソフトウェア Short Movie Creator (□133) で作成したショートムービーをカメラで再生し、テレビに表示できます。

HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する

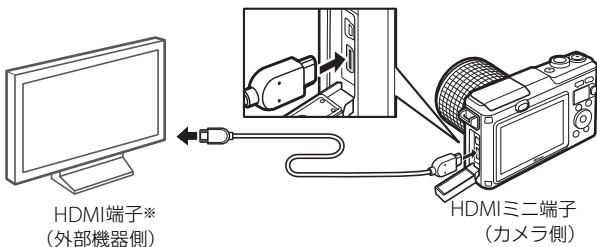
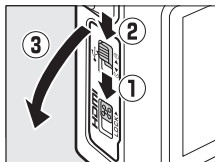
カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。

- 接続には市販のHDMIミニ端子用ケーブル (Type C) が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する

- 端子カバーロックスイッチのロックを解除してから (①) 開閉ノブを操作し (②)、カバーを開けてください (③)。



※使用する外部機器の端子に合わせたケーブルをお使いください。



3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源をONにして、▶ボタンを押す

- 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。カメラをテレビに接続している間、液晶モニターは消灯します。

ケーブルを抜き差しするときは

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

テレビでの画像の再生について

- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラれて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクター EP-5C と AC アダプター EH-5b を組み合わせてお使いになることをおすすめします。

動画の音声について

テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

HDMI-CEC対応テレビのリモコンでカメラを操作する

HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、1コマ表示やスライドショー再生、メニュー操作などのカメラ操作を行えます。HDMI-CEC対応テレビの操作については、テレビの使用説明書などをご覧ください。

1 カメラとHDMI-CEC対応テレビを接続する

2 HDMI-CEC対応テレビとカメラの電源をONにする

- セットアップメニューの [HDMIの機器制御] が [する] の場合、HDMI-CEC対応テレビにリモコン操作ガイドが表示され、HDMI-CEC対応テレビのリモコンのボタンを使って、カメラを操作できます。

リモコンのボタン	カメラの操作
上、下、左、右、中央ボタン	マルチセレクターの▲、▼、◀、▶、Ⓚ ボタンを押したときと同じ動作になります。
青色ボタン	▶ ボタンを押したときと同じ動作になります。
赤色ボタン	MENU ボタンを押したときと同じ動作になります。
緑色ボタン	再生メニューの [スライドショー] 画面を表示します (□122)。
黄色ボタン	リモコン操作ガイドの表示/非表示を切り換えます。

HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。



画像をプリンターで印刷する

PictBridge (ピクトブリッジ ㊦264) 対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してSDカード内の画像をプリントできます(ダイレクトプリント)。

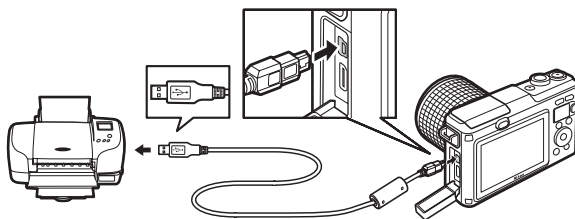
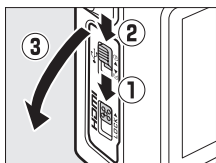
カメラとプリンターを接続する

付属のUSBケーブルを使ってカメラとプリンターを接続します。

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

- 端子カバーロックスイッチのロックを解除してから (①) 開閉ノブを操作し (②)、カバーを開けてください (③)。
- USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



☑️ **ダイレクトプリントの前に**

ダイレクトプリント時は、十分に充電されたバッテリーEN-EL20、または別売のパワーコネクターEP-5CとACアダプターEH-5bを組み合わせてお使いになることをおすすめします。

☑️ **USBハブについて**




USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

3 カメラの電源をONにする



- 正しく接続されると、液晶モニターにPictBridgeのロゴが表示された後、撮影した画像が表示されます。

1コマだけプリントする

1 プリントしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターの◀▶を押してプリントしたい画像を選びます。
-  ボタンを押すと、9コマ表示に切り替わります。マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画像を選びます。Qボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- 1コマ表示中にQボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示します (□119)。 ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
-  ボタンを押すと、プリント設定画面が表示されます。

2 プリントを開始する

- [プリント実行] を選んで、 ボタンを押すとプリントが始まります。
- プリント前に設定できる項目については、□143をご覧ください。
- プリントを中断したいときは、もう一度 ボタンを押してください。



複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを付属のUSBケーブルで接続してから(□139)、次の手順でプリントしてください。


1 「カメラとプリンターを接続する」の手順3 (□140) で、撮影した画像が表示されたら、MENUボタンを押す

2 プリント方法を選んでマルチセレクターの▶を押す


プリント 画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。
DPOF プリント	再生メニューの [プリント指定 (DPOF)] (□145) で、事前に設定した画像をプリントします。プリント指定した画像と枚数は、手順3の画面に反映されます。
INDEX プリント	SDカードの中のJPEG画像 (□160) を一覧できる「インデックス」をプリントします。

3 プリントする画像と枚数を設定する

[プリント画像選択] または [DPOFプリント] の場合：



- マルチセレクターの◀▶を押してプリントする画像を選び、▲▼を押してプリント枚数（99枚まで）を設定します。
- 画像と枚数を設定したら、 ボタンを押します。

[INDEXプリント] の場合：

- [INDEXプリント] 画面が表示されたら、 ボタンを押します。



4 プリントを開始する

- [プリント実行] を選んで  ボタンを押すと、プリントが始まります。プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリント前に設定できる項目については、[□143](#)をご覧ください。
- プリントを中断したいときは、もう一度  ボタンを押してください。



インデックスプリントについてのご注意


- インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります（確認画面が表示されます）。
- [INDEX プリント] の場合、用紙サイズによっては、プリントできない場合があります（警告メッセージが表示されます）。

関連ページ

プリント時のエラーについては、「警告メッセージ」（[□248](#)）をご覧ください。

■ プリント設定項目について

ダイレクトプリントのプリント設定画面で、**[プリント実行]** を選択する前に、次のプリントに関する設定を行えます。マルチセクターで設定したい項目を選んで、▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

用紙設定	マルチセクターでプリントする用紙のサイズまたは [プリンターの設定] （プリンターの設定を優先）を選んでⓄボタンを押します。 プリンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数設定※	▼▲を押して、プリントする枚数（1～99枚）を設定してⓄボタンを押します。
フチ設定	マルチセクターで [プリンターの設定] （プリンターの設定を優先）、 [あり] （フチありプリント）または [なし] （フチなしプリント）を選んでⓄボタンを押します。
日付 プリント	マルチセクターで [プリンターの設定] （プリンターの設定を優先）、 [あり] （日付を印刷する）または [なし] （日付を印刷しない）を選んでⓄボタンを押します。
範囲指定※	[する] を選んで、▶を押すと、範囲指定画面が表示されます。 黄色の枠は、プリントされる範囲を示します。 <ul style="list-style-type: none">•  ボタンを押すと枠が小さく（プリント範囲が狭く）なり、Qボタンを押すと枠が大きく（プリント範囲が広く）なります。• ▲▼◀▶を押すと、プリント範囲が移動します。• Ⓞボタンを押すと、プリント範囲が決定します。

※「1コマだけプリントする」（□140）の場合のみ設定できます。



プリンターの設定を優先してプリントしたいときは

[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント] の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に [プリンターの設定] を選んでください。

ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像（□160）や動画はダイレクトプリントできません。モーションスナップショット画像の場合は静止画のみが、スマートフォトセクター画像の場合はベストショットのみが、プリントの対象になります。
- [フチ設定] と [範囲指定] は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応していない場合は選べません。なお、[範囲指定] で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

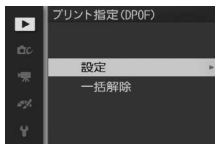
パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などをご確認ください。






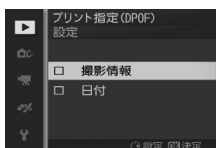
プリントしたい画像を指定する (プリント指定)



MENU ボタンを押して、再生メニューの [プリント指定 (DPOF)] を選ぶと、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます (プリンターやプリントサービス店が DPOF 規格に対応している必要があります)。SD カードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメラとプリンターを付属の USB ケーブルで直接接続してダイレクトプリントするとき (□139) に便利です。



設定

画像選択画面 (□148) で画像を選び、マルチセクターの▲▼を押して、プリント枚数 (99枚まで) を設定します (プリントされる画像には、 アイコンとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、 アイコンが消え、その画像はプリントされません)。 ボタンを押すと、右の画面が表示されます。



- 指定した画像全てに撮影情報や日付をプリントしたい場合は、[撮影情報] または [日付] を選んでマルチセクターの  を押して に を入れます。
-  ボタンを押すと、プリント指定を終了します。

一括解除

[プリント指定 (DPOF)] で設定した内容を全て解除します。

✔ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、[プリント指定 (DPOF)] の [撮影情報]、[日付] の設定は無効になります。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの [日付プリント] (□143) を [あり] にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW画像 (□160) や動画は、プリント指定ができません。モーションスナップショット画像の場合は静止画のみが、スマートフォトセクター画像の場合はベストショットのみが、プリント指定の対象になります。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、このカメラ以外で削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

再生メニュー

MENU ボタンを押してメニュー画面を表示し、[再生] を選ぶと、再生メニューが表示されます。



メニュー項目	内容	初期設定	
削除	複数の画像を一括して削除します。	—	120
スライドショー	画像や動画を連続再生します。	表示設定：全画像 シーン選択：オート撮影 インターバル設定：5秒 動画再生時間の設定： インターバル設定の時間 音の設定：BGM1	122
撮影直後の 画像確認	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。	する	149
縦位置自動 回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。	する	149
プリント指定 (DPOF)	プリントする画像とプリント枚数をあらかじめ指定できます。	—	145
プロテクト 設定	大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設定できます。	—	149
レーティング	撮影した画像にレーティング(重要度)を設定できます。	—	150
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正できます。*	—	150

メニュー項目	内容	初期設定	📖
リサイズ	サイズの小さい画像を作成します。※	画像サイズの設定： 1280×856; 1.1M	151
トリミング	画像の一部を切り抜きます。※	アスペクト比：3:2	152
拡大時顔優先	拡大表示中（□119）の画像に顔認識した顔があるときの、マルチセレクターの▲▼◀▶の機能を設定します。	する	153
動画編集	動画の必要な部分を残します。※	—	153
テーマの変更	モーションスナップショット画像に設定した「テーマ」を変更できます。	—	155

※編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSDカードに記録されます。



画像選択画面について

再生メニューで次のメニュー項目を選べると、右のような画像選択画面が表示されます。

- [削除] の [選択画像削除] (☐120)
- [プリント指定 (DPOF)] (☐145)
- [プロテクト設定] (☐149)
- [レーティング] (☐150)
- [D-ライティング] (☐150)
- [リサイズ] の [画像選択] (☐151)
- [トリミング] の [画像選択] (☐152)
- [動画編集] (☐153)
- [テーマの変更] (☐155)



画像選択画面では、マルチセクターの◀▶を押して、処理を行いたい画像を選びます（処理の対象外の画像は選べません）。

- Qボタンを押している間、選択中の画像が拡大表示されます（[プリント指定 (DPOF)]、[レーティング]、[テーマの変更] を除く）。
- 各項目の画像選択画面での操作方法については、各項目の説明ページをご覧ください。



再生メニュー項目について

- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- [D-ライティング] (☐150)、[リサイズ] (☐151)、[トリミング] (☐152) では、元画像と同じ画質モードで記録します。ただし、元画像が [RAW] または [RAW+FINE] で撮影された場合、画質モード (☐160) が [FINE] のJPEG 画像を作成します。



撮影直後の画像確認

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。[しない]を選択した場合に撮影画像を表示確認するには、▶ボタンを押してください。

縦位置自動回転

縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。

☑ 縦位置自動回転についてのご注意

- [縦位置自動回転] を [する] に設定しても、セットアップメニューの [縦横位置情報の記録] (□211) を [しない] にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、[縦位置自動回転] を [する] に設定しても、撮影直後の画像確認時には自動回転しません。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、SDカードを初期化（フォーマット □204）すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。



設定	選んだ画像にプロテクトを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• 画像選択画面 (□148) で画像を選び、マルチセクターの ▲▼ を押して ON/OFF を切り換え、Ⓜ ボタンを押します。
一括解除	全ての画像のプロテクト設定を解除します。

レーティング

選んだ画像にレーティング（重要度）（□121）を設定できます。

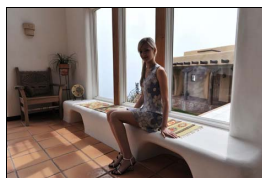
- 画像選択画面（□148）で画像を選び、マルチセクターの▲▼を押してレーティングを設定してからⓀボタンを押します。

D-ライティング

選んだ画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。



D-ライティング前



D-ライティング後

画像選択画面（□148）でD-ライティングを行う画像を選んでからⓀボタンを押すと、編集画面に切り替わります。編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- マルチセクターで効果の度合いを[強め]、[標準]、[弱め]の3段階から選びます。効果の度合いは、編集画面のプレビュー画像で確認できます。
- Ⓚボタンを押すと、編集した画像が記録されます。


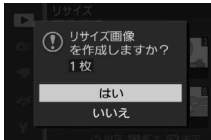


D-ライティングについてのご注意

- D-ライティングで補正した画像では、撮影時の状況（シーン）によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- [D-ライティング] では、元画像と同じ画像サイズで記録します。ただし、元画像が [RAW] または [RAW+FINE] で撮影された場合、画像サイズが [4608×3072; 14.2 M] のJPEG画像を作成します。

リサイズ

サイズの小さい画像を作成します。

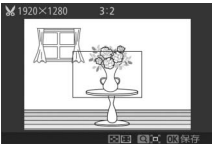
画像選択	画像選択画面 (☐148) で画像を選び、マルチセクターの▲▼を押してON/OFFを切り換え、  ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと、選んだ画像を [画像サイズの設定] で選んだ画像サイズにリサイズして別画像として保存します。	
画像サイズの設定	リサイズで作成する画像のサイズを [1280×856; 1.1M] (1280×856ピクセル)、[960×640; 0.6M] (960×640ピクセル)、[640×424; 0.3M] (640×424ピクセル) から選べます。	

リサイズ画像についてのご注意





リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。

トリミング

選んだ画像の必要な部分だけを切り抜きます。

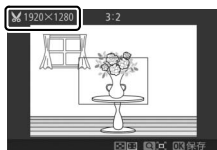
画像選択	画像選択画面 (□148) でトリミングする画像を選んでから OK ボタンを押すと、トリミングの編集画面に切り替わります。	
アスペクト比	画像アスペクト比 (横：縦) を3：2、4：3、1：1、16：9 に変更できます。	

編集画面では、[アスペクト比] で選んだアスペクト比 (横：縦) で、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、下記の操作ができます。

切り抜く範囲を狭くする		✘ ボタンを押すと、トリミングで切り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を広くする		Q ボタンを押すと、トリミングで切り抜かれる範囲が広がります。
切り抜く範囲を移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して画像を保存する		トリミングした画像が記録されます。



- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミング時の拡大率とアスペクト比 (横：縦) により変わります。



☑ トリミング画像についてのご注意

トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。

拡大時顔優先

拡大表示中 (□119) の画像に顔認識した顔があるときの、マルチセクターの▲▼◀▶の機能を設定します。

- 顔認識した顔がない場合は、[する] が選ばれていても [しない] を選んだときと同じ動作になります。

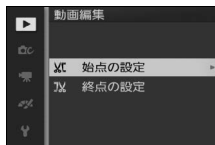
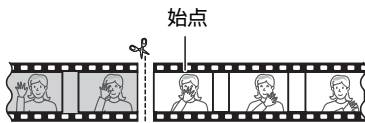
する	◀▶を押すと、顔認識した顔に移動します。
しない	▲▼◀▶を押すと、画面をスクロールします。

動画編集

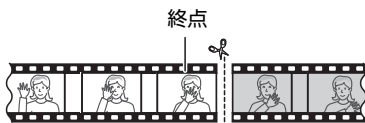
動画の必要な部分を残します。

1 [始点の設定] または [終点の設定] を選ぶ

- [始点の設定] を選んで▶を押すと、選んだ始点より後ろの部分が残ります。



- [終点の設定] を選んで▶を押すと、選んだ終点より前の部分が残ります。



2 編集したい動画を選ぶ

- 画像選択画面 (☐148) で編集したい動画を選んでOKボタンを押すと、動画編集画面が表示されます。

3 編集したい部分で動画を一時停止する

- OKボタンを押すと、動画が再生されます (☐67)。
- 再生中に▼を押すと、一時停止します。先頭フレームには▶アイコンが、最終フレームには◀アイコンが、動画再生インジケーターに表示されます。
- 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。



4 始点または終点を決める

- ▲を押して、始点または終点を決定します。



5 動画を作成する

- [はい] を選んでOKボタンを押すと、編集前の動画とは別に、編集した新しい動画として保存されます。



☑ 動画編集時のご注意

- SDカードに十分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- 2秒未満の動画は編集できません。手順4で始点または終点を決めるときに、動画ファイルを作成できない位置では、再生時間の表示が赤色に変わって警告します。
- 動画の前後両方を削除するには、まず動画編集で前の部分を削除します。次に、前の部分を削除した動画の後ろの部分を削除してください。




🔪 動画編集を開始する前に

動画を編集するときは、バッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。



テーマの変更

モーションスナップショット画像に設定した「テーマ」を変更できません。「テーマ」は [きらめき]、[ゆらめき]、[やすらぎ]、[愛らしさ] から選べます。[なし] に設定すると、BGMは流れません。

- 画像選択画面 (□148) でテーマを変更したいモーションスナップショット画像を選んでから  ボタンを押すと、編集画面に切り替わります。
- 編集画面で **DISP** ボタンを押すと、BGMを確認できます。BGM再生中に、**Q** ボタンを押すと音量が大きくなり、 ボタンを押すと音量が小さくなります。
- テーマを選んで  ボタンを押すと、確認画面が表示され、[はい] を選ぶとテーマが変更されます。
- 撮影メニューの [ファイル形式] (□164) を [MOV形式] に設定して撮影したモーションスナップショット画像の場合は、テーマを変更できません。



撮影メニュー

MENU ボタンを押してメニュー画面を表示し、[撮影] を選ぶと、撮影メニューが表示されます。



メニュー項目	内容	初期設定	📖
撮影メニューのリセット	撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します。	—	159
露出モード	モーションスナップショットモード (📷82) で露出を決めるときのモードを選べます。	おまかせシーン	159
画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。	NORMAL	160
画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。	4608×3072; 14.2 M*1	161
画像の保存枚数	スマートフォトセクター (📷77) 撮影時に、一度の撮影で保存する静止画の枚数を設定できます。	5枚	162
動画の前後比率	モーションスナップショットモード (📷82) でシャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前のみを動画で撮影するかを設定できます。	1.0秒：0.6秒	163
ファイル形式	モーションスナップショット画像 (📷82) の記録形式を設定できます。	NMS形式	164



メニュー項目	内容	初期設定	📖
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。	マルチパターン測光	164
自動ゆがみ補正	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。専用防水レンズを装着している場合は、水中で撮影するときの糸巻き型のゆがみも補正できます（☐54）。	しない	165
色空間	記録する静止画の色空間を指定できます。	sRGB	166
アクティブD-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。	する	167
HDR	クリエイティブモードが「逆光」のときに、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。	する	44
長秒時ノイズ低減	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズを低減できます。	しない	168
光学手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。	ACTIVE/ON*2	169
電子手ブレ補正	モーションスナップショットモード（☐82）での撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。	する	170
フォーカスモード	撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。	📖171をご覧ください。	170
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。	オートエリア	175
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をどうかどうかを設定できます。	する	177



メニュー項目	内容	初期設定	□
内蔵AF補助光の照射	暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。	する	178
フラッシュ発光	内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。	フラッシュ 発光モード種別： TTLモード マニュアル 発光モード：Full	179
フラッシュ調光補正	内蔵フラッシュの調光補正量を設定できます。	0.0	180
水中フラッシュ	水中用の外付けスピードライト接続時に、[使用する] に設定します。	使用しない	180

※1 クリエイティブモードの [かんたんパノラマ] の場合は [パノラマ標準] になります。

※2 装着しているレンズによって異なります (□169)。




撮影メニューのリセット

撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します (□156、233)。

露出モード

モーションスナップショットモード (□82) で露出を決めるときのモードを選べます。撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。

 おまかせシーン	カメラが撮影シーンや被写体に合わせて、最適な設定で撮影します (シーンの自動判別、□30)。
P プログラムオート (□37)	シャッターチャンス逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S シャッター優先オート (□38)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート (□39)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M マニュアル (□40)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。



露出モードがP、S、A、Mの場合のISO感度について

[ISO感度設定] (□192) を [オート160-6400]、[オート160-3200] または [オート160-800] に設定すると、シャッタースピードと絞り値で適正露出が得られない場合には、設定した範囲内でカメラが自動的にISO感度を選びます。

画質モード

静止画を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。

画質モード	ファイル形式	説明
RAW	NEF	撮像素子の生データ(12ビット圧縮RAW形式)を記録します。撮影時に設定したホワイトバランスやコントラストなどを、パソコン上で変更できます。
FINE	JPEG	画像データは約1/4に圧縮されます。
NORMAL		画像データは約1/8に圧縮されます。
BASIC		画像データは約1/16に圧縮されます。
RAW+FINE	NEF+JPEG	RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。

☑ 「RAW」 についてのご注意

- 現像には付属のソフトウェアViewNX 2や別売のCapture NX 2 (□215) を使います。ViewNX 2は付属のViewNX 2/Short Movie Creator CD-ROMを使ってインストールできます。
- 画質モードが「RAW」のときは、「画像サイズ」を変更できません。

📄 RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像をカメラ上で削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されます。



📁 ファイル名について

- このカメラで撮影したモーションスナップショット画像には、NMS_nnnn.xxx、その他の静止画や動画には、DSC_nnnn.xxxという名前が付けられます。nnnnには撮影順に0001～9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、次の拡張子が入ります。
 - NEF : RAWの場合
 - JPG : FINE/NORMAL/BASICの場合
 - MOV : 動画の場合
- 撮影メニューの [ファイル形式] (□164) を [MOV形式] に設定したモーションスナップショット画像の場合、DSC_nnnn.movという名前が付けられます。
- [RAW + FINE] で撮影した場合、ファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれ NEF (RAW画像) と JPG (FINE画像) になります。
- 再生メニューの [動画編集] (□153) で作成した動画のファイル名は「DSC_nnnn.mov」になります。
- 再生メニューの [D-ライティング]、[リサイズ] または [トリミング] で作成した静止画のファイル名は「CSC_nnnn.jpg」になります。
- 撮影メニューの [色空間] (□166) を [Adobe RGB] にした場合は、ファイル名が「_DSCnnnn.xxx」(または「_CSCnnnn.xxx」) となります。

画像サイズ

静止画を記録するときの画像サイズを設定できます。

■ [かんたんパノラマ] 以外

画像サイズ		画像の大きさ	プリント時の大きさ※ (出力解像度300dpi の場合)
 4608×3072; 14.2 M	大 ▲ サイズ ▼ 小	4608×3072 ピクセル	約39×26 cm
 3456×2304; 8.0 M		3456×2304 ピクセル	約29.3×19.5 cm
 2304×1536; 3.5 M		2304×1536 ピクセル	約19.5×13 cm

※ピクセル数÷出力解像度 (dpi) ×2.54 cmで計算しています。

■■ [かんたんパノラマ]

画像サイズ	画像の大きさ※1	プリント時の大きさ※2 (出力解像度300dpi の場合)
STD パノラマ 標準	水平移動時：4800×920ピクセル	約40.6×7.8 cm
	垂直移動時：1536×4800ピクセル	約13×40.6 cm
WIDE パノラマ ワイド	水平移動時：9600×920ピクセル	約81.3×7.8 cm
	垂直移動時：1536×9600ピクセル	約13×81.3 cm

※1 カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向と縦と横の組み合わせが入れ替わります。

※2 ピクセル数÷出力解像度 (dpi) × 2.54 cmで計算しています。

関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」(□234)

画像の保存枚数

スマートフォトセレクトター (□77) 撮影時に、一度の撮影で保存する静止画の枚数を設定できます。

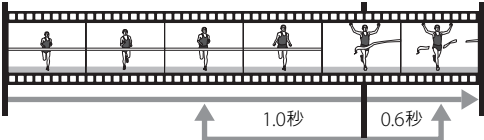
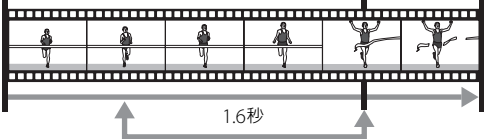
1枚	ベストショット1コマのみの静止画が記録されます。撮影後にベストショットを自分で選ぶこと (□80) はできません。
5枚	ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。



動画の前後比率

モーションスナップショットモード（☐82）で、シャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前のみを動画で撮影するかを設定できます。

- 動画の最後の場面を静止画として記録するには、[1.6秒：0秒]を選びます。

<p>1.0秒：0.6秒</p>	<p>シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前後約1.6秒を動画として記録します。</p> <p>半押しする 全押しして静止画を撮影</p>  <p>動画として記録</p>
<p>1.6秒：0秒</p>	<p>シャッターボタンを全押ししたときの静止画と、その前のみ約1.6秒を動画として記録します。</p> <p>半押しする 全押しして静止画を撮影</p>  <p>動画として記録</p>






ファイル形式

モーションスナップショットモードの記録形式を設定できます。

NMS形式	4秒のMOV動画と、1枚のJPEG画像を記録します。パソコンで再生するには、ViewNX 2が必要です。
MOV形式	約10秒間のMOV動画を記録します。一般的な動画再生ソフトで再生できます。カメラでの再生方法については、「動画を再生する」(□67)を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">• 撮影直後の画像確認 (□83、149) は行いません。

測光モード

適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法(測光モード)を設定できます。

 マルチパターン測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度(明るさ)分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
 中央部重点測光	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 <ul style="list-style-type: none">• 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。
 スポット測光	選んだAFエリアに重なる部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 <ul style="list-style-type: none">• 測光エリアは、AFエリアに連動します。ただし、[AFエリアモード](□175)が[オートエリア]のときは、中央のAFエリアに相当する部分を測光します。また、顔認識で人物を撮影するとき(□31)は、認識した顔の中心のAFエリアに相当する部分を測光します。



自動ゆがみ補正

レンズのゆがみを自動で補正するかどうかを設定できます。

- 専用防水レンズを装着した場合は、次の項目から選べます。

する (陸上)	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。
する (水中)	水中で撮影するときの糸巻き型のゆがみを補正して撮影します(□54)。
しない	ゆがみ補正を行いません。

- 専用防水レンズ以外の1 NIKKORレンズを装着した場合は、次の項目から選べます。

する	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。
しない	ゆがみ補正を行いません。

自動ゆがみ補正についてのご注意

- [自動ゆがみ補正] は、1 NIKKORレンズを装着した場合のみ機能します。マウントアダプターFT1 (□213、260) を使用してNIKKORレンズやその他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合には、動作を保証しません。
- 自動ゆがみ補正を行う場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかることがあります。
- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。



色空間

記録する画像の色空間を指定します（色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです）。[sRGB] 色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。[Adobe RGB] 色空間は [sRGB] 色空間に比べて色域が広いいため、商業印刷などの業務用途に適しています。

Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

色空間についてのご注意

付属のソフトウェアViewNX 2または別売のCapture NX 2をお使いになると、正しい色空間での処理が自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、正しく色が表示されないことがあります。



アクティブD-ライティング

撮影前にあらかじめ [アクティブD-ライティング] を [する] に設定しておく、被写体に応じてカメラが自動でハイライト部の白とびを抑え、シャド一部の黒つぶれを軽減するため、見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の大きい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードを [マルチパターン測光] に設定して撮影することをおすすめします (□164)。



アクティブD-ライティング
[しない]



アクティブD-ライティング
[暗する]

✓ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影するとき、撮影シーンによっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

✍ [アクティブD-ライティング] と再生メニュー [D-ライティング] の違い

[アクティブD-ライティング] を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて露出や階調を制御し、ハイライト部やシャド一部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、[D-ライティング] は、撮影済みの画像に対して、階調を再調整してシャド一部を明るく補正します。



長秒時ノイズ低減

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ（ざらつき、むら、輝点）を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約1.5～2倍になります。
しない	遅いシャッタースピードで撮影する場合のみ、長秒時ノイズの低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は、[する]に設定したときよりも弱めになり、画像を記録するまでの時間が長秒時ノイズ低減を行わない場合に比べて多少長くなります。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで、撮影はできません。

長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。



光学手ブレ補正

手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。

- 次の項目が表示された場合は、状況に応じてNORMALモードとACTIVEモードの2種類の手ブレ補正機能を設定できます。

NORMAL	静止して撮影するときなど、比較的揺れの少ない場合の手ブレを補正します。
ACTIVE	乗り物に乗っている場合や歩きながら撮影する場合など、揺れの激しい条件でのブレから通常の手ブレまで補正します。
OFF	手ブレ補正を行いません。

- 次の項目が表示された場合は、手ブレ補正機能のON/OFFを切り換えられます。

ON	常に手ブレ補正を行います。
OFF	手ブレ補正を行いません。

光学手ブレ補正使用時のご注意

- パンニング（流し撮り）でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。たとえば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りができます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターをきくと構図がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。



電子手ブレ補正

装着した1 NIKKORレンズの手ブレ補正機能の有無にかかわらず、モーションスナップショットモード（□82）での撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

する	電子手ブレ補正を行います。
しない	電子手ブレ補正を行いません。

電子手ブレ補正についてのご注意

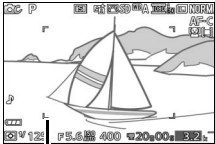
- [する] の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかる場合があります。
- [する] の場合、画像周辺部は切り取られます。

フォーカスモード

撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。

AF-A AF自動切り換え	被写体が静止しているときは [AF-S]、動いているときは [AF-C] に自動的に切り替わります。
AF-S シングルAF	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはシャッターはきれません。



AF-C コンティニユアス AF	<p>動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてAFエリアフレーム内でピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> AFエリアフレームは詳細表示 (□7) の場合のみ表示されます。 	 <p>AFエリアフレーム</p>
AF-F 常時AF	<p>動いている被写体の撮影に適しています。カメラは常に被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。</p>	
MF マニュアルフォーカス	<p>ピントを自分で合わせたいときに選びます (□173)。ピントの状態に関係なく、シャッターがきれます。</p>	

設定できるフォーカスモード

[フォーカスモード] は、撮影メニュー (□156) でも、動画撮影メニュー (□181) でも選べますが、設定できる内容は次のように異なります。

メニューの種類		フォーカスモード
撮影メニュー		AF-A (初期設定)、AF-S、AF-C、MF
動画撮影メニュー	プログラムオート (P)、シャッター優先オート (S)、絞り優先オート (A)、マニュアル (M)	AF-F (初期設定)、AF-S、MF
	スローモーション (●)	AF-S (初期設定)、MF

関連ページ

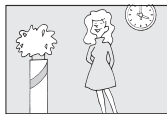
撮影時の電子音を鳴らないように設定する → **Y [音の設定]** (□206)

❏ オートフォーカスの苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合っていないでも電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス（□173）でピントを合わせるか、フォーカスロック（□177）を利用してください。

被写体の明暗差がはっきりしない

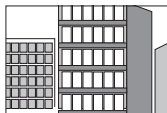
場合（白壁や背景と同色の服をきている人物など）



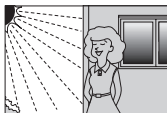
遠くのものと同近のものが重なっている被写体（オリの中の動物など）



連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）



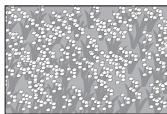
被写体の明暗差が極端に異なる場合（太陽を背景にした日陰の人物や、イルミネーションのある夜景など）



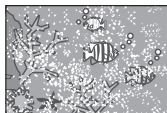
背景に対してメインの被写体が小さい場合（遠くの建物を背景に近く的人物を撮影する場合など）



絵柄が細かい場合（一面の花畑など）



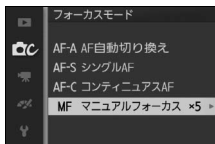
浮遊物が舞っている場合（水中など）



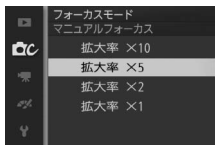
マニュアルフォーカスでピントを合わせる

ピントを自分で合わせたいときや、オートフォーカスが使えない場合、オートフォーカスの苦手な被写体の場合には、マニュアルフォーカスでピントを合わせられます。

- 1 フォーカスモード (📖170) で [MF] (マニュアルフォーカス) を選んで▶を押す



- 2 マニュアルフォーカス時の拡大表示倍率を [拡大率 × 10]、[拡大率 × 5]、[拡大率 × 2]、[拡大率 × 1] (拡大表示しない) から選んで⊕ボタンを押す

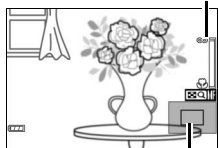


- 3 撮影画面で⊕ボタンを押す

- マニュアルフォーカスの設定画面が表示され、画面の中央部が手順2で選んだ倍率で拡大表示されます。



フォーカス距離指標

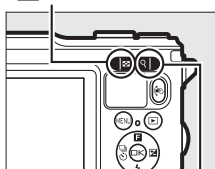


ナビゲーション
ウィンドウ

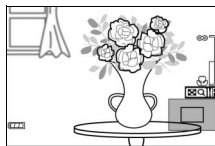
4 ピントを合わせる

- Qボタンを押すと、遠くの被写体にピントが合います。☒ボタンを押すと、近くの被写体にピントが合います（現在のピント位置の目安は、フォーカス距離指標で確認できます）。OKボタンを押すと、設定したピントに固定されます。
- 画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。
- マルチセレクターの▲▼◀▶で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。

☒ボタン




Qボタン



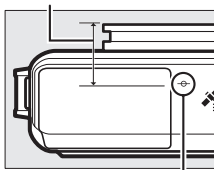
🔪 動画撮影時のマニュアルフォーカスについて

動画撮影中またはアドバンスド動画モードが「スローモーション」の場合は、OKボタンを押しても拡大表示されません。

🔪 距離基準マーク

距離基準マーク  は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面（レンズマウント）から撮像面までの寸法（フランジバック）は約17 mmです。

約17 mm

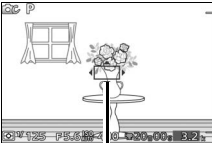


距離基準マーク



AFエリアモード

ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。

[OK] オートエリア	カメラが自動的に、全てのAFエリアから被写体を判別してピントを合わせます。
[OK] シングルポイント※	<p>静止している被写体の撮影に適しています。</p> <ul style="list-style-type: none">● [OK] ボタンを押すと、AFエリアの選択画面が表示されます。● マルチセレクターの▲▼◀▶を押してAFエリアを動かし、ピントを合わせたい被写体に重ねます。もう一度、[OK] ボタンを押すと、選択画面を終了します。● シャッターボタンを半押しすると、選んだAFエリアだけを使って、ピント合わせをします。  <p>AFエリア</p>
[OK] シングルポイント (中央)	クリエイティブモード [水中] (□53) の場合のみ選べます。常に画面中央のAF エリア内の被写体にピントを合わせます。
[OK] ターゲット追尾 (□176) ※	動きのある被写体の撮影に適しています。AF エリア内の被写体を追尾してピントを合わせ続けます。

※クリエイティブモード [水中] の場合は選べません。



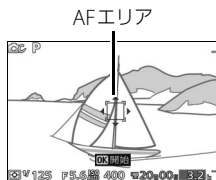
ターゲット追尾で撮影する

1 [AFエリアモード] を [ターゲット追尾] に設定し、撮影画面で **OK** ボタンを押す

- AFエリアの選択画面が表示されます。

2 AFエリアを被写体に重ねる

- マルチセレクターの **▲▼◀▶** を押して AFエリアを動かし、ピントを合わせた被写体に重ねます。
- **OK** ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせて AFエリアが移動します。



3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 追尾動作中にシャッターボタンを半押しすると、AFエリアの位置でピントを合わせます。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- **OK** ボタンを押すと、追尾を終了します。

☑ ターゲット追尾についてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われなかったりすることがありますので、ご注意ください。

- 被写体の色、明るさが背景と似ている
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる
- 被写体の動きが速すぎる
- 被写体が隠れたり、画面から外れる



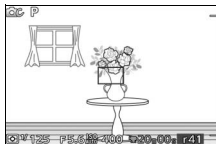
フォーカスロック撮影する

AFエリアが画面中央のときも、ピントを固定（フォーカスロック）すると、構図を工夫して撮影できます。オートフォーカスが苦手な被写体（□172）を撮影する場合にも効果的です。

フォーカスロックを行う前に、フォーカスモードを [AF-S] に設定してください（□170）。AFエリアモード（□175）は [オートエリア] 以外に設定することをおすすめします。

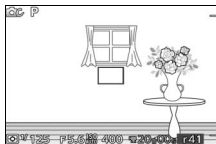
1 ピントを合わせたい被写体を画面の中央付近に配置し、シャッターボタンを半押しする

- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます（フォーカスロック）。
- ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯します。



2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変え、そのまま全押しして撮影する

- 被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんシャッターボタンから指を放してフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。



顔認識

人物を撮影する場合に、顔認識（□31）を使うかどうかを設定できます。[しない] を選ぶと、人物を撮影するときも、顔認識を行いません。

内蔵AF補助光の照射

する	<p>オートフォーカスでのピント合わせの際に、次の条件が全て満たされたときに自動的にAF補助光を照射します。*</p> <ul style="list-style-type: none">• 被写体が暗い場合• アドバンスト動画モード以外の撮影モードの場合• フォーカスモードが [AF-S]、または [AF-A] で自動的に [AF-S] が選ばれた場合 (□170)• [AF エリアモード] (□175) が [シングルポイント]、[シングルポイント (中央)] または [オートエリア] の場合 <p>※ 動画撮影中はAF補助光は照射されません。</p>	<p>AF補助光</p> 
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、オートフォーカスでのピント合わせができなくなる場合があります。	

AF補助光について

- 使用するレンズの径の大きさによっては、AF補助光がレンズでさえぎられることがあります。
- AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。



関連ページ

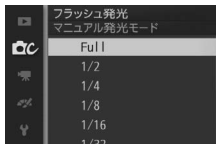
[内蔵AF補助光の照射] を設定できる撮影モードと露出モード → 「設定できる機能一覧」 (□229)




フラッシュ発光

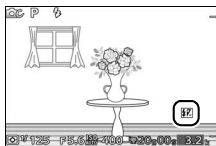
内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。

TTL  TTLモード	フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的に調節されます (i-TTL調光)。
M  マニュアル発光モード	<p>[Full] (フル発光) の他、[1/2] ~ [1/32] の5段階の発光量を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none">• [Full] に設定した場合、内蔵フラッシュのガイドナンバーは約5 (ISO 100・m) / 約6.3 (ISO 160・m) となります (20℃の場合)。



フラッシュ調光補正マークの表示について

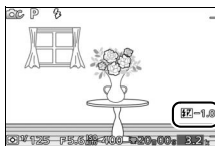
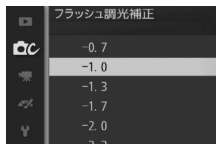
[マニュアル発光モード] にすると、フラッシュ使用時に、液晶モニターに  マークが点滅します。



フラッシュ調光補正

調光補正とは、内蔵フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

- 調光補正は、1/3段ステップで-3段～+1段の範囲で設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正するのが基本です。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。
- 補正量を設定すると、液晶モニターに**閃**（調光補正）マークが点灯します。



水中フラッシュ

別売の水中スピードライト接続時に、**[使用する]** に設定します。



動画撮影メニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[動画撮影] を選ぶと、動画撮影メニューが表示されます。



メニュー項目	内容	初期設定	📖
動画撮影のリセット	動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。	—	182
撮影速度	アドバンスド動画モードでスローモーション動画を撮影 (📖70) するときのフレームレートを設定できます。	400fps	182
動画の設定	HD動画を撮影 (📖65) するときの解像度とフレームレートを設定できます。	1080/60i	183
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法 (測光モード) を設定できます。	マルチパターン測光	164
動画音声の設定	動画撮影時の内蔵マイクの感度の程度を設定します。また、風切り音を低減するかどうかを設定できます。	録音設定：マイク感度 オート (A) 風切り音低減：する	184
光学手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。	ACTIVE/ON*1	169
フォーカスモード	撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。	📖171をご覧ください。	170

メニュー項目	内容	初期設定	□
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。	オートエリア※2	175
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をすることがどうかを設定できます。	する※3	177

※1 装着しているレンズによって異なります (□169)。

※2 アドバンスト動画が [スローモーション] の場合は、常に画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。

※3 アドバンスト動画が [スローモーション] の場合は、顔認識は行いません。

動画撮影のリセット

動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します (□181)。

撮影速度

アドバンスト動画モードでスローモーション動画を撮影 (□70) するときのフレームレートを設定できます。[1200 fps] を選ぶと、画像サイズが小さくなります。

	解像度	ビットレート	最長記録時間	再生時間※
400 fps	640×240ピクセル	約2Mbps	3秒	約40秒
1200 fps	320×120ピクセル	約1Mbps	3秒	約120秒

※撮影速度が [400 fps] の場合は記録時間の約13.2倍、[1200 fps] の場合は約40倍の時間で、スローモーション動画が再生されます。





📄 関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数 (静止画) と時間 (動画)」 (□234)



動画の設定

HD動画を撮影（□65）するときの解像度とフレームレートを設定できます。

	解像度	記録レート	ビットレート	最長記録時間
 1080/60i	1920×1080 ピクセル	59.94fields/s※	約24Mbps	20分
 1080/30p	1920×1080 ピクセル	29.97fps	約24Mbps	20分
 720/60p	1280×720 ピクセル	59.94fps	約16Mbps	29分
 720/30p	1280×720 ピクセル	29.97fps	約12Mbps	29分

※センサー出力は、約60コマ/秒です。

動画撮影中に撮影できる静止画の画像サイズについて

動画撮影中にシャッターボタンを全押しして撮影できる静止画（□66）のアスペクト比（横：縦）は常に3：2になり、**【動画の設定】**の設定に応じて次の画像サイズで記録されます。

- **1080/60i、1080/30p**：4608×3072ピクセル
- **720/60p、720/30p**：1280×856ピクセル

関連ページ

「1枚のSDカードに記録できるコマ数（静止画）と時間（動画）」（□234）



動画音声の設定

動画撮影時の内蔵マイクの感度の設定と、風切り音低減の設定ができます。

■ 録音設定

マイクの感度の程度を設定します。

A マイク感度 オート (A)	設定した感度で録音します。
3 マイク感度 高 (3)	
2 マイク感度 中 (2)	
1 マイク感度 低 (1)	
録音しない	音声は記録しません。

音声記録されていない動画の表示について

[録音設定] を [録音しない] にして撮影した動画の場合、1コマ表示モード時と再生中に (音声なしマーク) が表示されます。

■ 風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

する	ローカットフィルター機能により、マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。 • 風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。
しない	風切り音を低減しません。



絵づくりメニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[絵づくり] を選ぶと、絵づくりメニューが表示されます。



メニュー項目	内容	初期設定	📖
絵づくりのリセット	絵づくりメニューをリセットして、初期設定に戻します。	—	185
ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。	オート	186
ISO感度設定	ISO感度を設定できます。	オート160-3200	192
Picture Control	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。	スタンダード	193
Custom Picture Control	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。	—	197
高感度ノイズ低減	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズを低減できます。	する	200

絵づくりのリセット








絵づくりメニューをリセットして、初期設定に戻します（📖185）。

ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

ホワイトバランスを選ぶ

初期設定の[AUTOオート]でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AUTO オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。ほとんどの撮影状況に適しています。
 水中	水中での撮影に適しています。水中撮影時の画像の青みを自動で補正します。
 電球	白熱電球下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯下での撮影に適しています。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
PRE プリセット マニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは、「事前に取得したホワイトバランスを使う（プリセットマニュアル）」（□189）をご覧ください。

ホワイトバランスが自動で選ばれる撮影モード

次の撮影モードでは、カメラが認識した撮影シーンに適したホワイトバランスが自動的に選ばれます。

- オートモード
- P、S、A、M以外のクリエイティブモード
- ベストモーメントキャプチャーモード
- モーションスナップショットモード（[露出モード]を[露*おまかせシーン]に設定している場合）



ホワイトバランスを微調整する

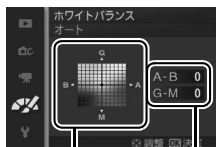
1 設定したいホワイトバランスを選ぶ

- ホワイトバランスの一覧画面でホワイトバランスを選びます。



2 微調整画面を表示する

- マルチセレクターの▶を押すと、微調整画面が表示されます。

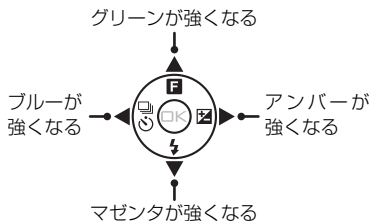


座標

設定段数

3 微調整値を設定する

- ▲▼◀▶を押して、座標上のカーソルを動かします。
- A (アンバー)、B (ブルー)、G (グリーン)、M (マゼンタ) の4方向で、各方向6段まで微調整できます。

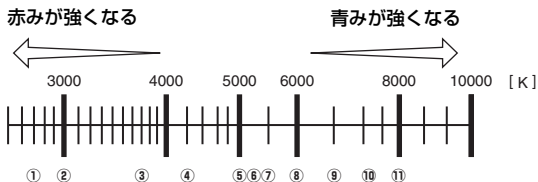








4 決定する

-  ボタンを押して決定します。




色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



①	ナトリウム灯混合光 (約2700K)	⑥	 晴天 (約5200K)
②	 電球 (約3000K) 電球色蛍光灯 (約3000K)	⑦	 フラッシュ (約5400K)
③	温白色蛍光灯 (約3700K)	⑧	 曇天 (約6000K)
④	 白色蛍光灯 (約4200K)	⑨	昼光色蛍光灯 (約6500K)
⑤	昼白色蛍光灯 (約5000K)	⑩	高色温度の水銀灯 (約7200K)
		⑪	 晴天日陰 (約8000K)

ホワイトバランスの微調整について

- [PREプリセットマニュアル] の場合、微調整画面は表示されません。
- ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを [ 電球] に設定してB（ブルー）方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。
- ホワイトバランスを微調整すると、詳細表示（ 7）で微調整したホワイトバランスのアイコンにアスタリスク（*）が表示されます（ 5）。



事前に取得したホワイトバランスを使う (プリセットマニュアル)

特殊な照明の下で撮影するときなど、[AUTOオート] や [電球] などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います。

1 撮影時に使う照明と、無彩色（白またはグレー）の被写体を用意する

2 [PREプリセットマニュアル] を選ぶ

- ホワイトバランスの一覧画面で [PREプリセットマニュアル] を選びます。

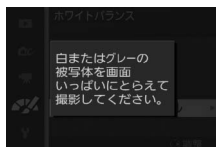


3 プリセットデータ取得の確認画面で [はい] を選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すと、プリセットデータ取得の確認画面が表示されます。[はい] を選んでOKボタンを押します。
- 前回取得したプリセットマニュアルデータを使いたいときは、[いいえ] を選んでOKボタンを押します。
- 右のメッセージが画面に表示された後、プリセットマニュアルデータ取得モードに入ります。



- 液晶モニターでPREが点滅します。



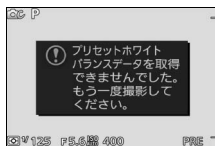
4 PREの点滅中に、撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色（白またはグレー）の被写体を液晶モニター画面いっぱいにとらえて、シャッターボタンを全押しする



- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータが取得されます。
- シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。

5 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認する

- データが取得されると、液晶モニターに「取得に成功しました」と表示されます。メッセージの表示中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。
- 液晶モニターに右のように表示された場合、データ取得は失敗です。原因として、被写体が明るすぎる、または暗すぎることが考えられます。もう一度手順4からやり直してください。



データ取得についてのご注意

- カメラでプリセットマニュアルデータを取得するたびに、以前取得したプリセットマニュアルデータは、新しいデータに置き換えられますので、ご注意ください。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、被写体をグレー（ホワイトバランス取得用の18%標準反射板）にしてプリセットマニュアルデータを取得してください。
- 無彩色（白またはグレー）の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮影モードが [マニュアル] (M) の場合は、露出インジケータを確認して、適正露出になるよう設定してください (□40)。

プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままセットアップメニュー [オートパワーオフ] (□206) で設定した時間（初期設定では1分）が過ぎると解除されます。

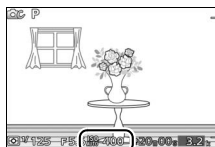


ISO感度設定

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度（ISO感度）を変更できます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます（同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合）。







A6400 オート 160-6400、 A3200 オート 160-3200、 A800 オート 160-800	カメラが自動的にISO感度を決めるときの範囲を選べます（感度自動制御）。[オート 160-800] の場合、選んだ範囲の上限値より感度が高くないため、画像のノイズ（ざらつき、むら、すじ）を抑える効果があります。
160、200、400、 800、1600、3200、 6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

- [オート 160-6400]、[オート 160-3200]、[オート 160-800] に設定すると、液晶モニターに **ISO AUTO** マークと自動制御されたISO感度が表示されます。
- 高感度で撮影した画像は、ノイズが発生しやすくなります。



Picture Control (ピクチャーコントロール)

このカメラには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピクチャーコントロール (Picture Control)」が搭載されています。

 SD スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 <ul style="list-style-type: none">ほとんどの撮影状況に適しています。
 NL ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 <ul style="list-style-type: none">撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
 VI ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 <ul style="list-style-type: none">青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
 MC モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 PT ポートレート	人物の肌が滑らかで自然な画像になります。
 LS 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。

[Picture Control] と [Custom Picture Control] について

- 絵づくりメニューの [Picture Control] では、ピクチャーコントロールを撮影目的や好みに合わせて選び、調整できます (□194)。
- [Custom Picture Control] では、調整したピクチャーコントロールをカスタムピクチャーコントロールとして登録したり (□197)、SDカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用する (□198) ことができます。

ピクチャーコントロールが自動で選ばれる撮影モード

次の撮影モードでは、カメラが認識した撮影シーンに適したピクチャーコントロールが自動的に選ばれます。

- オートモード
- P、S、A、M以外のクリエイティブモード
- ベストモーメントキャプチャーモード
- モーションスナップショットモード ([露出モード] を [露出モード] おまかせシーンに設定している場合)



ピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール (□197) の設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。

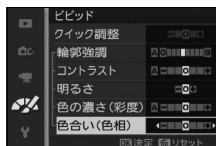
1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールの一覧画面でピクチャーコントロールを選びます。
- ピクチャーコントロールを調整しないで使う場合は、**OK** ボタンを押します。



2 ピクチャーコントロールを調整する

- マルチセレクターの **▶** を押すと、ピクチャーコントロールの調整画面が表示されます。
- ▲▼** で調整する項目 (□195) を選んで、**◀▶** で値を設定します。
- [**クイック調整**] を選ぶと、各項目のレベルを自動的に調整します (□195)。
- ⏪** ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。



3 決定する

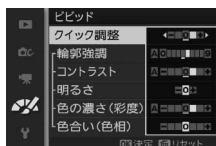
- OK** ボタンを押して決定します。

ピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、手順1の画面でアイコンにアスタリスク (*) が表示されます。また、詳細表示 (□7) では調整したピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク (*) が表示されます (□5)。



■■ ピクチャーコントロール調整時の設定項目



クイック調整※1		輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。
手動調整	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整できます。
	色の濃さ（彩度）※2	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整できます。[A]（オート）を選ぶと、自動で調整します。
	色合い（色相）※2	画像の色合いを調整できます。
	フィルター効果※3	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
	調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。

※1 [ニュートラル] と [モノクローム] はクイック調整できません。カスタムピクチャーコントロール (□197) の場合も、クイック調整できません。手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。

※2 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときは、表示されません。

※3 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示されます。

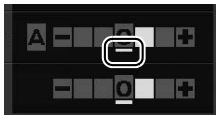


✔ [輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ（彩度）] の [A]（オート）についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりの具合は変化します。

✎ ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示されるアンダーバーは、調整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するときに便利です。



✎ [モノクローム] の [フィルター効果] について

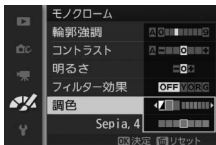
[フィルター効果] には、次のような効果があります。

Y（黄※）	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
O（オレンジ※）	
R（赤※）	
G（緑※）	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。[フィルター効果] で得られる効果は、市販の白黒写真用カラーフィルターよりも強くなります。

✎ [モノクローム] の [調色] について

- 調色は [B&W]、[Sepia]、[Cyanotype]、[Red]、[Yellow]、[Green]、[Blue Green]、[Blue]、[Purple Blue]、[Red Purple] から選べます。
- [調色] の項目（[B&W] 以外）を選んでマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀▶を押して選んでください。



Custom Picture Control (カスタムピクチャーコントロール)

カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

カスタムピクチャーコントロールを登録する

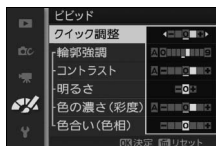
1 [編集と登録] を選ぶ

- [Custom Picture Control] 画面で [編集と登録] を選んでマルチセレクターの ▶ を押すと、[編集・登録対象を選択] 画面が表示されます。



2 元にするピクチャーコントロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールを選んで ▶ を押すと、編集画面が表示されます。
- 編集を行わない場合は ⓧ ボタンを押します。[登録先の選択] 画面が表示されます (手順4へ)。



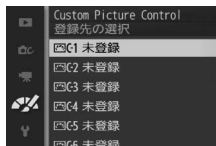
3 ピクチャーコントロールを調整する

- 項目の内容や調整方法は [Picture Control] (193) と同じです。
- ⓧ ボタンを押すと [登録先の選択] 画面が表示されます。
- 戻るボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。



4 登録先を選択する

- C-1～9（カスタム1～9）の中から登録先を選びます。
- **OK** ボタンを押すと、カスタムピクチャーコントロールを登録して、絵づくりメニューに戻ります。
- 登録したピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。



登録したピクチャーコントロールを削除するには

[Custom Picture Control] で [削除] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロールを削除できます。

SDカードを使ってピクチャーコントロールを対応ソフトウェアと共用する

付属のViewNX 2 や別売のCapture NX 2 のピクチャーコントロールユーティリティ（Picture Control Utility）で作成したカスタムピクチャーコントロールを、SDカードからカメラに読み込んで登録したり、カメラで作成したカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーすることができます。また、SDカード上の不要なカスタムピクチャーコントロールを削除することもできます。



1 [Custom Picture Control] 画面で [メモリーカードを使用] を選ぶ

- [メモリーカードを使用] を選んでマルチセクターの▶を押すと、[メモリーカードを使用] 画面が表示されます。



2 [カメラに登録]、[メモリーカードから削除] または [メモリーカードにコピー] を選ぶ

[カメラに登録] :

- SDカードにあるカスタムピクチャーコントロールをカメラに登録できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロールと登録先 (C-1~9 (カスタム1~9)) を選んでⓀボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。



[メモリーカードから削除] :

- SDカードにあるカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。右のような確認画面が表示されるので、[はい] を選んでⓀボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールを削除できます。



[メモリーカードにコピー] :

- カメラにあるカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーできます。SDカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先 (1 ~ 99) を選んでⓀボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがSDカードにコピーされます。



SDカードへのコピー /SDカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロール (□193) は、コピーや削除ができません。
- SDカードに保存できるカスタムピクチャーコントロールは、99個までです。

高感度ノイズ低減

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき、むら、すじ）を低減します。

する	常に高感度ノイズ低減処理を行います。
しない	ISO感度を高くして撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は、[する]に設定したときよりも弱めになります。



セットアップメニュー

MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[セットアップ] を選ぶと、セットアップメニューが表示されます。



メニュー項目	内容	初期設定	📖
セットアップのリセット	セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します。	—	203
メモリーカードの初期化	SDカードを初期化します。	—	204
カードなし時リリース	カメラにSDカードを入れていないときのリリース操作を設定できます。	リリース禁止	204
モニター表示	液晶モニターの明るさや、ハイコントラスト表示、構図用格子線の表示/非表示を設定できます。	モニターの明るさ：0 ハイコントラスト表示：しない 格子線の表示：しない	205
音の設定	撮影時の電子音の鳴る/鳴らないを設定できます。	AFとセルフタイマー： <input checked="" type="checkbox"/> シャッター： <input checked="" type="checkbox"/>	206
オートパワーオフ	カメラの電源をONにしたまま何も操作しないで、待機状態になるまでの時間を設定できます。	1分	206



メニュー項目	内容	初期設定	□
半押しAE ロック	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。	しない	207
操作ボタン ロック	選んだボタンを機能しないようにロックできます。	—	207
位置情報	位置情報記録のする/しない、取得した位置情報データの表示、位置情報機能による日時合わせ、A-GPSファイルの更新、位置情報記録時のオートパワーオフを設定できます。	位置情報記録： しない 自動日時合わせ： する オートパワー オフ：無効	106
ログ取得	位置情報ログおよび水深ログを取得し、SDカードに記録できます。	—	109
ログデータ 削除	SDカードに保存された位置情報ログおよび水深ログデータを削除できます。	—	112
電子コンパス 補正	内蔵の電子コンパスを補正できます。	—	113
高度/水深設定	高度計/水深計の切り換えおよび高度/水深の補正を行えます。	高度計/水深計 表示：高度計 高度/水深単位： m	208
HDMIの機器 制御	HDMI-CEC 対応テレビのリモコンを使って、テレビに接続したカメラの操作を行えます。	する	138
フリッカー 低減	蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。	—	209
連番リセット	ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。	—	209
地域と日時	現在地と日時、年月日の表示順を設定できます。	夏時間の設定： しない	210



メニュー項目	内容	初期設定	📖
言語 (Language)	メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。	—	211
縦横位置情報の記録	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。	する	211
ワイヤレスモバイルアダプター*	ワイヤレスモバイルアダプターを取り付けた場合に、無線LAN接続を開始します。	—	98
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います。	—	212
ファームウェアバージョン	「ファームウェア」のバージョンを表示します。	—	212

※別売のワイヤレスモバイルアダプター WU-1b装着時のみ表示されます。

セットアップのリセット

セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します（[フリッカー低減]、[地域と日時]、[言語 (Language)] を除く）。

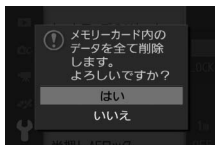


メモリーカードの初期化

このカメラに他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。**SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください（□129）。

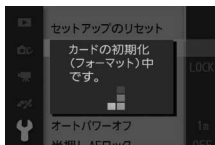
1 [はい] を選ぶ

- 初期化をキャンセルするには、[いいえ] を選びます。



2 [OK] ボタンを押す

- 初期化が始まり、右の画面が表示されます。
- 初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻るまで、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。



カードなし時リリース

カメラにSDカードを入れていないときのリリース操作を設定できます。

LOCK リリース禁止	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK リリース許可	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、SDカードが入っていないときに撮影した画像は、液晶モニターに表示されますが、画像上に【デモモード】と表示され、プリントやSDカードへの保存はできません。



モニター表示

液晶モニターの明るさや、構図用格子線の表示/非表示などを設定できます。

モニターの明るさ

液晶モニターの明るさを調整できます。

マルチセレクターの▲▼を押すと、-3~+3 および [Hi]（高輝度）の範囲で調整ができます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

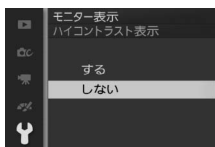
- アウトドア表示 (□97) のときは、自動的にモニターの明るさが [Hi] に設定されます。



ハイコントラスト表示

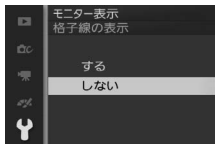
[する] を選ぶと、液晶モニターの明るさと暗さを強調した表示になります。晴れた屋外などの明るい場所で画面を見やすくできます。

- アウトドア表示 (□97) のときは、自動的にハイコントラスト表示が [する] に設定されます。



格子線の表示

撮影時に、液晶モニターに構図用格子線 (□26) を表示する/表示しないを設定できます。



音の設定

オートフォーカスでピントが合ったときやセルフタイマー撮影時の電子音と、シャッターをきったときのシャッター音の鳴る/鳴らないを設定できます。



- 次の項目を選択して、マルチセレクターの▶を押すと、チェックボックスのオン/オフが切り替わります。チェックボックスをオフにすると、音が鳴らなくなります。

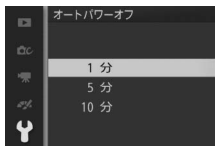


- **AFとセルフタイマー**：オートフォーカスでピントが合ったときやセルフタイマー撮影時の電子音
- **シャッター**：シャッターをきったときのシャッター音

- **OK** ボタンを押すと、設定が完了します。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態になります (□21)。ここでは、待機状態になるまでの時間を設定できます。



待機状態の解除方法について

シャッターボタンなどを操作すると、待機状態が解除されます。

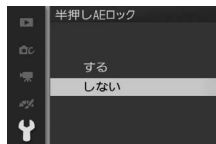
位置情報記録時のオートパワーオフについて

位置情報記録時にオートパワーオフ機能を使うには、セットアップメニュー [位置情報] の [オートパワーオフ] を [有効] に設定してください (□106)。



半押しAEロック

シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。



操作ボタンロック

選んだボタンを機能しないようにロックできます。



- 次のボタンを選択して、マルチセレクターの▶を押すと、チェックボックスのオン/オフが切り替わります。チェックボックスをオンにすると、選んだボタンがロックされます。

-  ボタン/Q ボタン
-  ボタン
-  ボタン
- DISP ボタン
-  ボタン

-  ボタンを押して決定します。



高度/水深設定


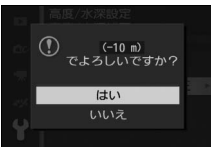
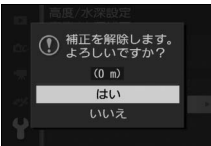
高度計と水深計について設定できます。

高度計/水深計表示

高度計または水深計のいずれかに表示を切り換えられます (☐55、102)。

高度/水深補正

高度または水深を補正できます。補正を行うと、撮影画面の高度/水深の数値にアスタリスク (*) が表示されます。

<p>手動補正</p>	<p>高度または水深を手動で入力して補正します。</p> <ul style="list-style-type: none">マルチセレクターの ◀▶ で桁を変更し、▲▼で数値を変更します。OK ボタンを押すと決定します。	
<p>位置情報による補正</p>	<p>取得した位置情報 (☐103) を使って高度を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none">確認画面で [はい] を選び OK ボタンを押すと、表示されている値で高度が補正されます。セットアップメニュー [位置情報] (☐103) の [位置情報記録] が [しない] に設定されている場合、または位置情報が取得できない場合は補正できません。[高度計/水深計表示] が [水深計] の場合は補正できません。	
<p>補正解除</p>	<p>設定した補正を解除します。</p> <ul style="list-style-type: none">確認画面で [はい] を選び、OK ボタンを押すと補正が解除されます。	

高度/水深単位

高度/水深表示の距離単位を「m (メートル)」または「ft (フィート)」に設定できます。



フリッカー低減

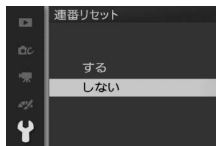
蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。お使いの地域の電源周波数に応じて、[50 Hz] と [60 Hz] から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では [50 Hz] を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では [60 Hz] を選んでください。

フリッカー低減についてのご注意

- クリエイティブモード [水中] のときは設定できません。
- 電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをするをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードを [絞り優先オート] (A) または [マニュアル] (M) にして、絞り値を大きくしてください。

連番リセット

ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。[する] を選んで連番をリセットすると、新しいフォルダーが作成され、「0001」からの連番でファイル番号が付けられます。



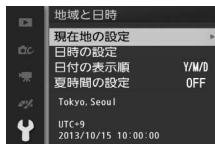
- フォルダ番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、[連番リセット] を行った後、SDカードを初期化するか交換してください。



地域と日時

現在地と日時、年月日の表示順、夏時間を設定します。

- ログ取得中 (□ 109) は設定できません。



現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを変更すると、[日時の設定] で設定された日時が、時差に合わせて自動的に更新されます。	
日時の設定	[現在地の設定] で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定します。	
日付の表示順	液晶モニターに表示される、日付の年、月、日の表示順を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。	
夏時間の設定	現在地で夏時間（サマータイム制）が実施されている場合は [する] に、そうでない場合は [しない] に設定します。[する] にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は [しない] です。	



言語 (Language)

メニュー画面やメッセージの表示言語を、日本語または英語に設定します。

縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。

する	液晶モニターや、付属のViewNX 2または別売のCapture NX 2 (□215) で画像を再生するとき、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に回転表示されます。 記録されるカメラの縦横位置情報は、次の3種類です。		
	 横位置	 縦位置 時計回りに90°回転	 縦位置 反時計回りに90°回転
しない	縦横位置情報は記録されず、再生時には常に横位置で表示します。		

☑ 縦横位置情報記録についてのご注意

- 動画やモーションスナップショット、かんたんパノラマの画像には、縦横位置情報を記録できません。
- カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

🔍 再生メニュー [縦位置自動回転]

再生メニューの [縦位置自動回転] (□149) では、[縦横位置情報の記録] を [する] に設定して縦位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。



ピクセルマッピング

撮影した画像に予期しない輝点が記録されて気になる場合は、次の手順でピクセルマッピングを行ってください。本機能により、撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います（ご購入時には、カメラの撮像素子と画像処理機能は最適な状態に調整されています）。

- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。

1 カメラの電源をOFFにして、カメラに1 NIKKORレンズを取り付ける

- レンズキャップを付けた状態でピクセルマッピングを行ってください。

2 セットアップメニューの [ピクセルマッピング] を選ぶ

- カメラの電源をONにして、MENUボタンを押し、セットアップメニューの [ピクセルマッピング] を選びます。

3 [はい] を選ぶ

- ピクセルマッピングを開始します。

4 ピクセルマッピングが終了したら、カメラの電源をOFFにする

ピクセルマッピングについてのご注意

ピクセルマッピング中は、カメラの操作はできません。カメラの電源をOFFにしたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。

ファームウェアバージョン

「ファームウェア」のバージョンを表示します。



資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。

レンズ	<ul style="list-style-type: none">• 防水1マウントレンズ• 1マウントレンズ <p>1マウントレンズを使用する場合は、カメラに付属のOリングプロテクターを取り付けてください (□216)。</p>
マウントアダプター	<ul style="list-style-type: none">• マウントアダプター FT1 <p>Fマウント用のNIKKORレンズを1マウントのレンズ交換式デジタルカメラ (Nikon 1) に取り付けるためのアダプターです。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。マウントアダプターを使用する場合は、カメラに付属のOリングプロテクターを取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">- マウントアダプターFT1を使った撮影については、□260をご覧ください。- マウントアダプターFT1のカメラへの取り付け方と取り外し方、マウントアダプターのお手入れと取り扱い上のご注意については、「マウントアダプター FT1使用説明書」をご覧ください。マウントアダプター装着時に使用できるレンズについては、「使用できるFマウント用NIKKORレンズ」をご覧ください。「マウントアダプター FT1使用説明書」と「使用できるFマウント用NIKKORレンズ」は、マウントアダプターFT1に付属しています。



Oリング	<ul style="list-style-type: none"> ● OリングWP-O2000 専用防水レンズ装着時にカメラの防水性を保ちます。新しいOリングを初めて使用するときは、カメラに装着する前に専用シリコングリスを塗布してください (□62)。
Oリングプロテクター	<ul style="list-style-type: none"> ● Oリングプロテクター PA-N1000 非防水1 NIKKOR レンズ装着時にOリングを保護します (□216)。
Oリングリムーバー	<ul style="list-style-type: none"> ● Oリングリムーバー WP-OR1000 カメラボディからOリングを取り外すときに使用します (□60)。
シリコングリス	<ul style="list-style-type: none"> ● シリコングリスWP-G1000 専用防水レンズの取り付けまたは取り外しが滑らかに行えるようになります。
電源	<ul style="list-style-type: none"> ● Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20 (□14、15) ニコンデジタルカメラNikon 1 AW1用のバッテリーです。 ● バッテリーチャージャー MH-27※1 (□14) Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20用のチャージャーです。 ※1 家庭用電源のAC100～240V、50～60Hzに対応しています。 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。 ● パワーコネクター EP-5C、ACアダプター EH-5b※2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 <ul style="list-style-type: none"> - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Cが必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」(□221)をご覧ください。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 <p>※2 日本国内専用電源コード (AC 100V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。</p>



<p>水中スピードライト</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 水中スピードライトSB-N10 水中スピードライトSB-N10 を使って水中撮影するには、水中光ファイバーケーブルアダプター SR-N10A（別売）と水中光ファイバーケーブルSC-N10A（別売）、および水中ブラケットSK-N10A（別売）が必要です。カメラへの取り付け方など、詳しくはSB-N10 の使用説明書をご覧ください。
<p>ニコンデジタルカメラ専用ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Capture NX 2 画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。必ず最新版※にバージョンアップしてお使いください。 ※ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OS ログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッセージセンター 2はCapture NX 2の更新情報などを確認します（初期設定）。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。 • 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報（□xxv）でご確認ください。
<p>ボディーキャップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ボディーキャップBF-N2000 レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ダストシールドなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
<p>ワイヤレスモバイルアダプター</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレスモバイルアダプター WU-1b（□98） Wireless Mobile Utility をインストールしたスマートデバイスと、無線で画像転送やリモート撮影ができます。

☑ 使用できるアクセサリーについて

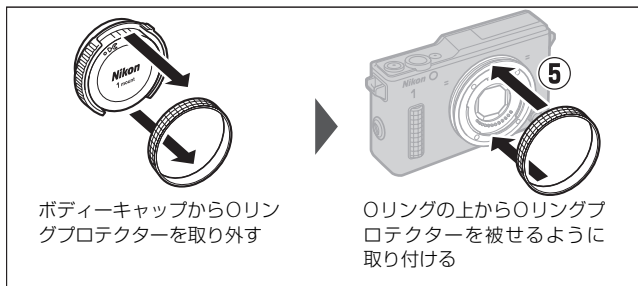
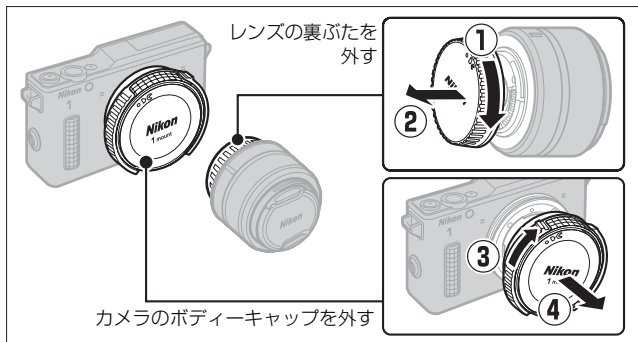
- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

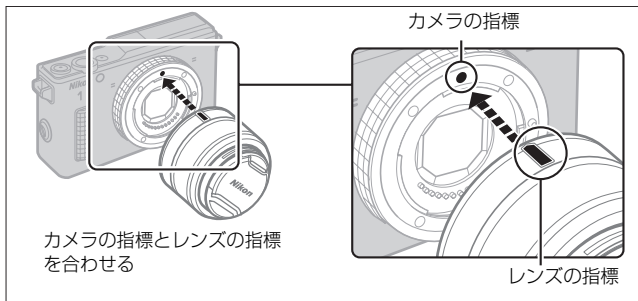


非防水1 NIKKOR レンズの取り付け方

このカメラは、非防水1 NIKKORレンズも使用できます。非防水1 NIKKORレンズを使うときは、必ずカメラに付属のOリングプロテクターを取り付けてください。

- ほこりなどがカメラ内部に入ったり、Oリングプロテクターに付着したりしないように注意してください。
- Oリングプロテクターをカメラに取り付けるときは、Oリングの内側に付着した汚れなどを柔らかい布で拭き取ってください。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 のレンズを使用して説明しています。





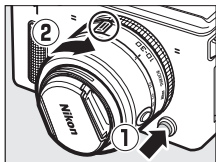
- ズームリングボタンを押しながら (①)、ズームリングを矢印の方向に回して (②)、ロックを解除すると撮影できるようになります。



- 手ブレ補正機能 (VR) があるレンズの場合は、カメラで手ブレ補正の設定を切り換えられます (□169)。

❏ 非防水レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら(①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜きます。



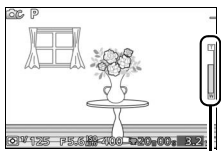
- レンズを取り外した後は、カメラからOリングプロテクターを取り外してから、カメラのボディーキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。カメラのボディーキャップを取り付ける前に、Oリングにほこりなどの異物が付着している場合は、取り除いてください(□60)。
- Oリングプロテクターは、内側に付着した汚れなどを柔らかい布で拭き取ってから、ボディーキャップの前面に取り付けてください。

❏ ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

- 収納するときは、ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを逆方向に回します。レンズが鏡筒に収まり、ズームリングがロックされます。
- レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないよう、ご注意ください。
- ズームリングのロックを解除すると、電源がONになります。
- 次の場合にズームリングをロックすると、電源がOFFになります。
 - 液晶モニターに撮影画面が表示されている場合
 - 液晶モニターが消灯し待機状態の場合(1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 または1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6 レンズをお使いの場合、レンズのファームウェアがVer.1.10以降である必要があります。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページなどでご確認ください)

❏ パワードライブズームスイッチの付いたレンズ(別売)をお使いの場合

被写体を大きく写したいときはパワードライブズームスイッチを望遠(T)側に、広い範囲を写したいときは広角(W)側にスライドさせてください。スライドさせる量に応じて、ズームの速度が変わります。ズーム位置は液晶モニターのズーム移動ガイドで確認できます。



ズーム移動ガイド



推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

	SDメモリー カード	SDHCメモリー カード※2	SDXCメモリー カード※3
SanDisk製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	64GB
東芝製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	64GB
Panasonic製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	48GB、64GB
LEXAR MEDIA社製	—	4GB、8GB、 16GB	—
プラチナIIシリーズ	—	4GB、8GB、 16GB、32GB	—
プロフェッショナル シリーズ	—	4GB、8GB、 16GB、32GB	—
フルHDビデオ カードシリーズ	—	4GB、8GB、 16GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。



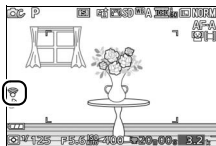
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。



使用できるEye-Fiカード

このカメラでは、市販のEye-Fiカードを使って、カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信できます。販売の有無は地域によって異なりますので、カードメーカーにお問い合わせください。Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

カメラ内にEye-Fiカードが入っている場合は、液晶モニターに📶が点灯し、通信状態を確認できます。



- 📶 (点灯)：画像の送信を待っています。
- 📶 (点滅)：画像の送信中です。
- 📶：未送信の画像がありません。
- 📶：エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

✔ Eye-Fiカードを使用するときのご注意

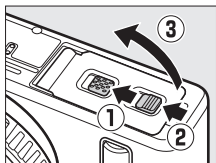
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- 電波の状態が悪い場合、画像を送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、カメラの電源をOFFにしてEye-Fiカードを取り出してください。
- Eye-Fiカードは、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。



カメラとパワーコネクター、ACアダプターの 接続方法

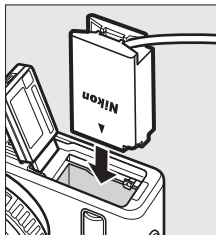
カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

1 カメラのバッテリー/SDカードカバーを開ける (①、②、③)




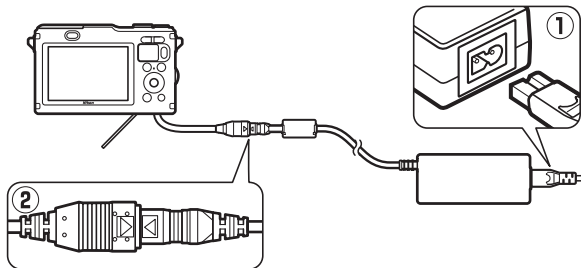
2 パワーコネクター EP-5Cを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがパワーコネクターに掛かり、パワーコネクターがロックされます。
- パワーコネクターを使用する場合は、バッテリー/SDカードカバーは開けたままにしてください。



3 パワーコネクターとACアダプターを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込みます (①)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込みます (②)。
- パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター上のバッテリー残量表示がに変わります。



カメラのお手入れについて

水中で使用した後のお手入れについて

水中で使用した後のお手入れについては、「使用後のお手入れをする」(□58)をご覧ください。

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が+50℃以上、または-10℃以下の場所



クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアード払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。スプレー缶タイプのブローアードは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブローアード払いします。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
ダストシールド	ダストシールドは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

☑ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。



カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□xii～xviii) や「<重要>専用防水レンズを取り付けて使用する場合のご注意」(□xx～xxiii)、 「<重要>位置情報機能(GPS/GLONASS)についてのご注意」(□xxiv) もお読みください。また、水中でお使いの場合は「カメラを水中で使う」(□48～63) もよくお読みの上、正しくお使いください。

●強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

●急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

●強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

●レンズやボディーキャップを外した状態でカメラを放置しない

レンズを取り外した後は、カメラにボディーキャップを必ず取り付けてください。

●カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、プロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。



● レンズのお手入れについて

レンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブローアードで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブローアードの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● ダストシールドのお手入れについて

ダストシールドを押さえたり、突いたりなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。カメラやバッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておく、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストープの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。



- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。このモアレは線状に発生する場合もあります。モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズームリングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

●線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに画像上に線状のノイズが発生することがあります。



バッテリーの取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～10℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、十分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL20をお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。



● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と
数値は、電池
によって異な
ります。



設定できる機能一覧

撮影モードや露出モード (□159) によって、設定できる機能は異なります。ここでは、それぞれの撮影モードごとに設定できる機能とできない機能を表にまとめています。表の見方は次の通りです。

- : 設定を変更できます。
- : 設定は変更できません。

■ 📷 オートモード / 📷 ベストモーメントキャプチャーモード / 📷+ アドバンスト動画モード / 📷 モーションスナップショットモード

撮影モード	📷	📷	📷+				📷				
			P	S	A	M	SCENE♥	P	S	A	M
露出モード	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●
画質モード	●※1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
画像サイズ※2	●※1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
画像の保存枚数	—	●※3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動画の前後比率	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●
ファイル形式	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●
測光モード	—	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	●	●	●	●
自動ゆがみ補正	●※1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
色空間	●※1	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アクティブ D-ライティング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HDR	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長秒時ノイズ低減	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光学手ブレ 補正※5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
電子手ブレ補正	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●
フォーカスモード*	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—
AFエリアモード	—	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	●	●	●	●
顔認識	—	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	●	●	●	●
内蔵AF補助光の 照射	●	●	—	—	—	—	●	●	●	●	●

撮影、動画撮影、絵づくりに



撮影モード			● ⁺								
			P	S	A	M		P	S	A	M
フラッシュ発光	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フラッシュ調光補正	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水中フラッシュ	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
撮影速度※6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動画の設定	●	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	—	—	—	—
動画音声の設定	●	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	—	—	—	—
ホワイトバランス	—	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●
ISO感度設定	—	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●
Picture Control	—	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●
Custom Picture Control	—	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●
高感度ノイズ低減	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
AFエリア	—	—	●※4	●※4	●※4	●※4	—	●	●	●	●
プログラムシフト	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
AERロック	—	—	●	●	●	—	—	●	●	●	—
フォーカスロック	—	—	●	●	●	●	—	●	●	●	●
連写※7	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
セルフタイマー※7	●	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—
露出補正	●	—	●	●	●	—	●	●	●	●	—
フラッシュモード	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アドバンスト動画	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—
テーマ	—	—	—	—	—	—	●	●	●	●	●

※1 動画撮影ボタンを押して動画を撮影する場合は、設定の変更は反映されません。

※2 [画質モード] が [RAW] の場合は、常に4608×3072ピクセルになります。

※3 ベストモーメントキャプチャーモードが [スマートフォトセクター] の場合のみ設定できます。

※4 アドバンスト動画モードが [スローモーション] の場合は設定できません。

※5 VRレンズ使用時のみ設定できます。

※6 アドバンスト動画モードが [スローモーション] の場合のみ設定できます。

※7 連写とセルフタイマーは同時には設定できません。



●● ●● クリエイティブモード

撮影モード	P	S	A	M								
露出モード	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
画質モード	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2	● ※1,2
画像サイズ	● ※1,3	● ※1,3	● ※1,3	● ※1,3	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1
画像の保存枚数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動画の前後比率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ファイル形式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
測光モード	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	—	—	—	—	—	—
自動ゆがみ補正	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	● ※1	● ※1	● ※1
色空間	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1
アクティブ D-ライティング	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	—	—	—	—	—	—	—
HDR	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—
長秒時ノイズ 低減	● ※4	● ※4	● ※4	● ※4	—	—	—	—	—	—	—	—
光学手ブレ 補正※5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
電子手ブレ補正	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フォーカス モード	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	—	—	—	—	—	—	—
AFエリアモード	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	—	—	—	—	—	—
顔認識	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
内蔵AF補助光 の照射	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
フラッシュ発光	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
フラッシュ 調光補正	● ※4	● ※4	● ※4	● ※4	●	—	● ※6	—	●	●	●	●
水中フラッシュ	● ※4	● ※4	● ※4	● ※4	●	—	● ※6	—	●	●	●	●

撮影、動画撮影、絵づくりにメニュー

●●=水中 (●●)、●●=夜景、●●=夜景ポートレート、●●=逆光、●●=かんたんパノラマ、●●=ソフト、●●=ミニチュア効果、●●=セレクトカラー

	撮影モード	P	S	A	M								
撮影、動画撮影、絵づくりメニュー	撮影速度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	動画の設定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動画音声の設定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ホワイト バランス	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	ISO感度設定	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	● ※1	—	—	—	—	—	—	—
	Picture Control	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	Custom Picture Control	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
高感度ノイズ 低減	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	
撮影関連の設定	AFエリア	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	プログラム シフト	● ※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AEロック	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●
	フォーカス ロック	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	連写※7	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—
	セルフ タイマー※7	●	●	●	●	●	●	●	—	—	●	●	●
	露出補正	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●
	フラッシュ モード	● ※4	● ※4	● ※4	● ※4	● ※4	—	●	※6	—	●	●	●
	アドバンスト 動画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	テーマ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1 動画撮影ボタンを押して動画を撮影する場合は、設定の変更は反映されません。

※2 [RAW] または [RAW+FINE] は設定できません。

※3 [画質モード] が [RAW] の場合は、常に4608×3072ピクセルになります。

※4 [連写とセルフタイマー] が [15fps]、[30fps]、[60fps] の場合は設定できません。

※5 VRレンズ使用時のみ設定できます。

※6 [HDR] が [する] の場合は設定できません。

※7 連写とセルフタイマーは同時には設定できません。



撮影に関する設定の初期設定一覧

再生メニュー (☐146)、撮影メニュー (☐156)、動画撮影メニュー (☐181)、絵づくりメニュー (☐185)、セットアップメニュー (☐201) の初期設定は各メニューのページを参照してください。

撮影に関する設定	初期設定
クリエイティブモード (☐34)	プログラムオート (P)
AFエリア (☐175)	中央*
プログラムシフト (☐37)	解除
フォーカスロック (☐177)	解除
連写とセルフタイマー (☐86、88)	[S] (単写)
露出補正 (☐90)	0.0
フラッシュモード (☐92)	夜景ポートレート：赤目軽減発光 オートモード、プログラムオート (P)、シャッター優先オート (S)、絞り優先オート (A)、マニュアル (M)、水中、逆光、ソフト、ミニチュア効果、セレクトカラー：通常発光
ベストモーメントキャプチャー (☐74、77)	スロービュー
アドバンスト動画 (☐64、70)	プログラムオート (P)
テーマ (☐84)	きらめき
Picture Controlの調整 (☐195)	解除
アウトドア表示 (☐97)	OFF

※ [AFエリアモード] (☐175) が [オートエリア] のときは、AFエリアは表示されません。



1枚のSDカードに記録できるコマ数 (静止画) と時間 (動画)

撮影時のカメラの設定によって、16GBのSDカードに記録できるコマ数(静止画)や時間(動画)、および連続撮影できるコマ数は、各撮影モードで次のようになります(東芝社製16GBのSDHC UHS-Iカード(SD-E016GUX)を使用した場合)。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

■ オートモード、クリエイティブモード([かんたん パノラマ]以外)、スロービュー、スマートフォト セレクター([画像の保存枚数]が[1枚])

画質モード (□160)	画像サイズ (□161)	1コマあたりの ファイルサイズ	記録可能 コマ数
RAW+FINE※1、2	4608×3072	約26.8MB	591コマ
	3456×2304	約23.3MB	681コマ
	2304×1536	約20.7MB	765コマ
RAW※2	—	約17.4MB	902コマ
FINE	4608×3072	約9.2MB	1700コマ
	3456×2304	約5.6MB	2700コマ
	2304×1536	約3.1MB	5000コマ
NORMAL	4608×3072	約4.6MB	3300コマ
	3456×2304	約2.9MB	5400コマ
	2304×1536	約1.6MB	9800コマ
BASIC	4608×3072	約2.4MB	6600コマ
	3456×2304	約1.5MB	10700コマ
	2304×1536	約0.8MB	18600コマ

※1 画像サイズはJPEG画像のもので、ファイルサイズはRAW画像とJPEG画像の合計です。

※2 [RAW] または [RAW+FINE] は、P、S、A、Mモードの場合のみ選択できます。



■■ クリエイティブモード ([かんたんパノラマ])

画質モード (□160)	画像サイズ (□161)		1コマあたりの ファイルサイズ	記録可能 コマ数
FINE	パノラマ標準	4800×920	約4.5MB	3400コマ
		1536×4800	約4.5MB	3400コマ
	パノラマワイド	9600×920	約8.6MB	1800コマ
		1536×9600	約8.6MB	1800コマ
NORMAL	パノラマ標準	4800×920	約2.3MB	6800コマ
		1536×4800	約2.3MB	6800コマ
	パノラマワイド	9600×920	約4.4MB	3500コマ
		1536×9600	約4.4MB	3500コマ
BASIC	パノラマ標準	4800×920	約1.2MB	13200コマ
		1536×4800	約1.2MB	13200コマ
	パノラマワイド	9600×920	約2.2MB	7000コマ
		1536×9600	約2.2MB	7000コマ



■■ スマートフォトセレクト ([画像の保存枚数] が [5枚])

画質モード (□160)	画像サイズ (□161)	ファイルサイズ※1	撮影回数
RAW + FINE※2	4608 × 3072	約134.0MB	118コマ
	3456 × 2304	約116.3MB	136コマ
	2304 × 1536	約103.6MB	153コマ
RAW	—	約87.2MB	180コマ
FINE	4608 × 3072	約45.9MB	342コマ
	3456 × 2304	約28.2MB	556コマ
	2304 × 1536	約15.6MB	1000コマ
NORMAL	4608 × 3072	約23.2MB	675コマ
	3456 × 2304	約14.3MB	1000コマ
	2304 × 1536	約8.0MB	1900コマ
BASIC	4608 × 3072	約11.8MB	1300コマ
	3456 × 2304	約7.4MB	2100コマ
	2304 × 1536	約4.2MB	3700コマ

※1 ファイルサイズは、1回の撮影で記録される5コマの静止画の合計です。

※2 画像サイズはJPEG画像のもので、ファイルサイズはRAW画像とJPEG画像の合計です。

■■ HD動画

動画の設定 (□183)	記録可能時間※
1080/60i	約1時間28分
1080/30p	約1時間28分
720/60p	約2時間12分
720/30p	約2時間56分

※1回の撮影での最長記録時間については、□183をご覧ください。



■■ スローモーション

撮影速度 (□182)	記録可能時間*
400 fps	約1時間4分
1200 fps	約2時間8分

※1回の撮影での最長記録時間は3秒です。撮影速度が[400 fps]の場合は記録時間の約13.2倍、[1200 fps]の場合は約40倍の時間で、スローモーション動画が再生されます。

■■ モーションスナップショットモード

画質モード	画像サイズ	ファイル形式 (□164)	ファイルサイズ	撮影回数
—	—	NMS形式	約21.6MB*	約729
—	—	MOV形式	約30.8MB	約510

※ファイルサイズは、1回の撮影で記録される静止画と動画の合計です。



故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラを操作できない

- ボタンがロックされていませんか？ (□207)
 - 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
 - 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。
-

● 液晶モニターに何も表示されない

- 電源が入っていません (□21)。
 - バッテリー残量がありません (□14、24)。
 - 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
 - カメラとパソコン、またはカメラとテレビを接続しています (□129、136)。
-

● カメラの電源が突然切れる


- バッテリー残量がありません (□14、24)。
 - 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
 - カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまで、しばらく放置してから電源を入れ直してください (□xxvii、247)。
-

● 液晶モニターに撮影情報や画像情報が表示されない

DISP ボタンを押すと、撮影時または再生時に液晶モニターに表示される内容を切り換えられます (□7)。



撮影関連 (全モード共通)

- 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる
SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。
- シャッターがきれない
 - バッテリー残量がありません (□14、24)。
 - 残量のあるSDカードが入っていますか？ (□15、24)
 - SDカードがロックされていませんか？ (□17)
 - 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません (□91)。
 - 被写体にピントが合っていません (□26)。
 - スローモーション動画撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません (□72)。
- 連続撮影できない
[連写とセルフタイマー] (□86) が [5fps] の場合、内蔵フラッシュを上げているときは [S] (単写) として動作します。
- ピントが合わない
 - オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています (□172)。
 - フォーカスモードが [MF] (マニュアルフォーカス) になっていませんか？ (□170、173)
- シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない
フォーカスロックするには、フォーカスモードを [AF-S] にしてください (□170、177)。
- AFエリアを選ばない
 - AFエリアモードが [オートエリア] または [シングルポイント (中央)] のときは選べません (□175)。
 - AFエリアモードが [シングルポイント] または [ターゲット追尾] のときは、 ボタンを押すと、AFエリアを選べます (□175、176)。
 - 顔認識での撮影時は、選べません (□31)。
- AFエリアモードを変更できない
 - フォーカスモードが [MF] (マニュアルフォーカス) になっていませんか？ (□170、173)
 - オートモードまたはベストモーメントキャプチャーモードになっていませんか？ (□25、74)
 - P、S、A、M、[水中] 以外のクリエイティブモード (□34) になっていませんか？
 - 露出モードが [露出*おまかせシーン] になっていませんか？ (□159)



● **画像サイズを変更できない**

[画質モード] が [RAW] のときは、画像サイズを変更できません (□160)。

● **画像の記録に時間がかかる**

- [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか? (□168)
 - クリエイティブモードの [夜景] (□35)、[夜景ポートレート] (□35)、[かんたんパノラマ] (□45) の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。
 - クリエイティブモードの [逆光] で [HDR] が [する] になっている場合、画像の記録に時間がかかることがあります (□44)。
-

● **画像がざらつく**

- ISO感度が高くなっていませんか? ISO 800以上の高感度で撮影する場合、[高感度ノイズ低減] を [する] にすれば、ざらつきを低減できます (□200)。
 - シャッタースピードが1秒より低速な場合は、ざらつきが発生しやすくなります。[長秒時ノイズ低減] を [する] にして撮影すると、ざらつきを低減できます (□168)。
-


● **画像にゴミが写り込む**

- レンズの前面または背面 (マウント側) が汚れていませんか?
 - ダストシールドが汚れていませんか? (□223)
-

● **撮影時の画面や動画にちらつきや横縞が生じる**

[フリッカー低減] の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください (□209)。

● **フラッシュが発光しない**

- 内蔵フラッシュが発光する条件については、「内蔵フラッシュの制限について」(□93) をご覧ください。
 - 内蔵フラッシュが収納されている場合 (□93) やフラッシュモードが  (発光禁止) の場合 (□92) は、内蔵フラッシュは発光しません。
-

● **選択または設定できないメニュー項目がある**

- 撮影モードや露出モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません (□229)。
 - セットアップメニューの [ワイヤレスモバイルアダプター] は、別売のワイヤレスモバイルアダプター WU-1b装着時のみ表示されます (□98)。
-



撮影関連（撮影モードP、S、A、M）

● シャッターがきれない

撮影モードが [マニュアル] (M) のときにシャッタースピードをBulbに設定し、そのまま撮影モードを [シャッター優先オート] (S) に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください (□38)。

● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。

● 画像の色合いがおかしい

- ホワイトバランスは正しく設定されていますか？ (□186)
 - [Picture Control] は正しく設定されていますか？ (□193)
-

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます (□190)。

● [Picture Control] の効果が安定しない

[Picture Control] の調整画面で、[輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)] のいずれかが [A] (オート) に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を [A] (オート) 以外に設定してください (□195)。

● 画像の一部が赤っぽくなる

• シャッタースピードをBulbにした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなる場合があります。この現象は、[長秒時ノイズ低減] を [す] に設定することで低減できます (□168)。

動画撮影関連

● 動画を撮影できない

ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンを押しても、動画撮影できません (□76、84)。

● 動画に音声記録されない

- [動画音声の設定] の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか？ (□184)
 - スローモーション動画には、音声は記録されません (□70)。
 - モーションスナップショット画像には、音声は記録されません (□84)。
-



再生関連

● RAW画像が表示されない

[画質モード] を [RAW + FINE] にして撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません (□160)。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (□149)
 - [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか? (□211)
 - 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません (□149)。
 - カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります (□211)。
-

● 動画の音声が再生されない

- Qボタンを押すと、音量が大きくなります (□68)。
 - スローモーション動画には、音声は記録されません (□70)。
 - モーションスナップショット画像には、音声は記録されません (□84)。
 - テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。
-

● 画像を削除できない

- SDカードがロックされていませんか? (□17)
 - 画像にプロテクトが設定されていませんか? (□149)
-

● プリント指定ができない

- SDカードがロックされていませんか? (□17)
 - SDカードの空き容量が不足していませんか? (□24)
-

● RAW画像をプリントできない

RAW画像はパソコンに転送してから、付属ソフトウェアや別売の Capture NX 2などのソフトウェアを使ってプリントしてください (□129)。

● 画像がHDMI機器で再生できない

市販のHDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください (□136)。

● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります (□127)。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに保存してください。

● Capture NX 2で画像が表示されない

ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか? (□215)





位置情報機能関連

● 測位できない、測位に時間がかかる

- 撮影する環境によって、測位できない場合があります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください (□103)。
 - 初めて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーを交換したときは、測位情報を取得するまで時間がかかります (□105)。
 - A-GPSファイルを更新してください (□107)。
-

● 撮影した画像に位置情報が記録されない

衛星受信状態が  や  のときは、位置情報が記録されません。撮影前に衛星受信状態を確認してください (□104)。

● 撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある

撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。航法衛星からの電波の誤差が大きいと、最大で数百メートルの誤差を生じる場合があります (□105)。

● A-GPSファイルが更新できない

- 次のことを確認してください。
 - SDカードが入っているか
 - SDカード内にA-GPSファイルが入っているか
 - A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください (□107)。
 - カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください (□22)。
-

● セットアップメニュー [高度/水深設定] の [高度/水深補正] で [位置情報による補正] が選べない

- セットアップメニューの [位置情報記録] が [しない] になっています (□106)。
 - 3つ以上の衛星から受信して測位できていないときは選べません (□104)。
-

● セットアップメニューの [ログ取得] が選べない

カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください (□22、210)。

● [位置情報ログ取得開始] が選べない

- セットアップメニューの [位置情報記録] が [しない] になっています (□106)。
 - ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[ログ取得終了] を選び、取得中のログを終了してください (□110)。
-



● ログデータを保存できない

- SDカードが入っているか確認してください。
 - 記録できるログデータの数は、位置情報ログが1日に36件まで、水深ログが1日に36件までです。
 - 1枚のSDカードに保存できるログデータは、位置情報ログが最大100件まで、水深ログが最大100件までの、合計200件までです。不要なログデータをSDカードから削除するか、新しいSDカードに交換してください (□15、112)。
-

その他

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか？カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします (□22、210)。

● 表示されているメニュー項目が選択できない

- SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります (□15)。
 - 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります (□229)。
-



警告メッセージ

液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

表示	対処方法	□
(シャッタースピード表示、 絞り値表示の いずれかが点滅)	被写体が明るすぎる場合、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none">• ISO感度を低くしてください。• シャッタースピードをより高速側にセットしてください。• 絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。	192 38、40 39、40
	被写体が暗すぎる場合、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none">• ISO感度を高くしてください。• 内蔵フラッシュをお使いください。• シャッタースピードをより低速側にセットしてください。• 絞りを開いてください（より小さい数値）。	192 91、92 38、40 39、40
ズームリングボタンを押し ながら、ズームリングを 回してレンズを 繰り出してください。	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。	217
レンズを確認してくだ さい。レンズが装着されて いないと撮影できません。	レンズを装着してください。	18、 216
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	残量のあるバッテリーに交換してください。	14、15
時計がリセット されました。	日時を設定してください。	22、 210
メモリーカードが 入っていません。	SDカードを正しく入れてください。	15
メモリーカードが書き込み 禁止になっています。	SDカードのロックを解除してください。	17



表示	対処方法	□
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードのロックを解除してください。	17
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。	<ul style="list-style-type: none"> このカメラで使用できるSDカードであるかどうかを確認してください。 SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 新しいSDカードに交換してください。 	219 204、 274 15、219
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。フォーマットしますか？	<ul style="list-style-type: none"> 「はい」を選んで、SDカードを初期化してください。 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。 	204 15
メモリーカード残量がありません。	<ul style="list-style-type: none"> SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 新しいSDカードに交換してください。 	120、 129 15、219
メモリーカードにこれ以上フォルダーを作成できません。	フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、「連番リセット」を行った後、SDカードを初期化するか交換してください。	209
このモードでは動画撮影ボタンを使用できません。	ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンは使用できません。	76、84
このモードでは静止画の撮影ができません。	スローモーション動画の撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません。	72
Bulb設定ではシャッター優先オートでの撮影ができません。	<ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードを変えてください。 撮影モードを「マニュアル」(M)にして撮影してください。 	38 40



表示	対処方法	📖
現在のレンズの焦点距離では撮影できません。	[かんたんパノラマ] で撮影を行う場合、実焦点距離が6~30 mmのレンズを使用してください。ズームレンズの場合は、実焦点距離6~30 mmのズーム位置で使用してください。	45
レンズのファームウェアのバージョンアップに失敗しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてファームウェアのバージョンアップをやり直してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	274
カード内にA-GPSファイルが見つかりません。	SDカードに更新可能なA-GPSファイルがありません。次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • SDカードが入っているか • SDカード内にA-GPSファイルが入っているか • SDカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか • A-GPSファイルの有効期限が切れていないか 	107
更新に失敗しました。	A-GPSファイルの更新ができませんでした。A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	107
電子コンパスの補正に失敗しました。	電子コンパスの補正が正しくできませんでした。屋外でもう一度補正を行ってください。	113
カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源OFF後、再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	274
カメラ内が高温となったため、電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。	xxvii
撮影画像がありません。	画像が記録されているSDカードを入れてください。	15



表示	対処方法	☐
このファイルは表示できません。*	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。 	—
プリンターの状態を確認してください。*	インク交換してください。インクに残量がある場合は、プリンターの状態を確認してください。	—
用紙を確認してください。*	指定したサイズ of 用紙がセットされていません。指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
紙詰まりです。*	用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
用紙がありません。*	用紙がセットされていません。指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクを確認してください。*	インクに異常があります。インクを確認した後、 [継続] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。	—
インクがありません。*	インクがなくなりました。インクを交換した後、 [継続] を選んで OK ボタンを押して、プリントを再開してください。	—

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。



主な仕様

ニコンデジタルカメラ Nikon 1 AW1

型式

型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン1防水マウント
実撮影画角	レンズの焦点距離の約2.7倍に相当 (35mm判換算)

有効画素数

有効画素数	1425万画素
-------	---------

撮像素子

方式	13.2×8.8mmサイズCMOSセンサー、ニコンCXフォーマット
----	-----------------------------------

記録形式

記録画素数

- 静止画 (オートモード、クリエイティブモード (【かんたんパノラマ】以外)、ベストモーメントキャプチャーモード) ※1
 - 4608×3072ピクセル
 - 3456×2304ピクセル
 - 2304×1536ピクセル
- 静止画 (クリエイティブモード 【かんたんパノラマ】)
 - 4800×920ピクセル
(パノラマ標準：水平移動時) ※2
 - 1536×4800ピクセル
(パノラマ標準：垂直移動時) ※3
 - 9600×920ピクセル
(パノラマワイド：水平移動時) ※4
 - 1536×9600ピクセル
(パノラマワイド：垂直移動時) ※5
- 静止画 (動画撮影時) ※1
 - 4608×3072ピクセル (1080/60i、1080/30p)
 - 1280×856ピクセル (720/60p、720/30p)
- 静止画 (モーションスナップショットモード) ※6
 - 4608×2592ピクセル

※1 アスペクト比は3：2 ※4 アスペクト比は240：23

※2 アスペクト比は120：23 ※5 アスペクト比は4：25


















※3 アスペクト比は8：25 ※6 アスペクト比は16：9



記録形式

画質モード	<ul style="list-style-type: none">• RAW 12ビット (圧縮)• JPEG-Baseline準拠、圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16)• RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
対応規格	DCF 2.0 (Design rule for Camera File system)、DPOF (Digital Print Order Format)、Exif 2.3 (Exchangeable image file format for digital still cameras)、PictBridge

撮影モード

撮影モード	 : オートモード、  : クリエイティブモード (P : プログラムオート (プログラムシフト可能)、 S : シャッター優先オート、 A : 絞り優先オート、 M : マニュアル、  () : 水中、  : 夜景、  : 夜景ポートレート、  : 逆光、  : かんたんパノラマ、  : ソフト、  : ミニチュア効果、  : セレクトカラー)、  : ベストモーメントキャプチャーモード ( : スロービュー、  : スマートフォトセクター)、  : アドバンスド動画モード (HD動画 (P : プログラムオート、 S : シャッター優先オート、 A : 絞り優先オート、 M : マニュアル)、  : スローモーション)、  : モーションスナップショットモード
-------	--

シャッター

シャッター方式	エレクトロニックシャッター
シャッタースピード	1/16000~30秒 (1/3ステップ)、Bulb ※ バルブ撮影時、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/60秒以下の低速シャッタースピードで同調



レリーズ機能

レリーズモード	<ul style="list-style-type: none">• 単写、連写• セルフタイマー
連続撮影速度	約5コマ/秒、約15コマ/秒、約30コマ/秒、約60コマ/秒
セルフタイマー	作動時間：2秒、5秒、10秒

露出制御

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none">• マルチパターン測光• 中央部重点測光：ϕ4.5mm相当を測光• スポット測光：ϕ2mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
露出モード	P ：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、 S ：シャッター優先オート、 A ：絞り優先オート、 M ：マニュアル、 ☒ ：おまかせシーン（シーン自動判別）
露出補正	範囲：±3段、補正ステップ：1/3ステップ
AEロック	シャッターボタン半押しによる輝度値ロック方式
ISO感度 (推奨露光指数)	<ul style="list-style-type: none">• ISO 160～6400（1段ステップ）• 感度制限オート（160～6400、160～3200、160～800）• クリエイティブモードP、S、A、M、[水中]時に設定可能
アクティブ D-ライティング	する、しない

オートフォーカス

方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none">• オートフォーカス（AF）：シングルAF（AF-S）、コンティニューアスAF（AF-C）、AF自動切り換え（AF-A）、常時AF（AF-F）• マニュアルフォーカス（MF）
AFエリアモード	シングルポイント、シングルポイント（中央）、オートエリア、ターゲット追尾
AFエリア	<ul style="list-style-type: none">• シングルポイント：135点のAFエリア（中央部73点は位相差AF）• オートエリア：41点のAFエリア
フォーカスロック	シャッターボタン半押し（シングルAF（AF-S）時）
顔認識	する、しない



フラッシュ

内蔵フラッシュ	手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約5 (ISO 100・m) /約6.3 (ISO 160・m)、20℃の場合
調光方式	撮像素子によるi-TTL調光制御
フラッシュモード	通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スロー、赤目軽減発光+スロー、後幕発光+スロー、後幕発光、発光禁止
調光補正	範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ使用時に充電完了で点灯

ホワイトバランス

ホワイトバランス	オート、水中、電球、蛍光灯、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル、プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能
----------	--

動画機能

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none">● マルチパターン測光● 中央部重点測光：φ4.5mm相当を測光● スポット測光：φ2 mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
記録画素数/ 記録レート	<ul style="list-style-type: none">● HD動画*1<ul style="list-style-type: none">- 1920×1080ピクセル (60i (59.94fields/s) *2)- 1920×1080ピクセル (30p (29.97fps))- 1280×720ピクセル (60p (59.94fps))- 1280×720ピクセル (30p (29.97fps))● スローモーション動画*3<ul style="list-style-type: none">- 640 × 240 ピクセル (記録：400fps、再生：30p (29.97fps))- 320 × 120 ピクセル (記録：1200fps、再生：30p (29.97fps))● モーションスナップショットモードで撮影した動画*1<ul style="list-style-type: none">- 1920×1080ピクセル (記録：60p (59.94fps)、再生：24p (23.976fps)) <p>*1 アスペクト比 (横：縦) は16：9 *2 センサー出力は、約60コマ/秒です。 *3 アスペクト比 (横：縦) は8：3</p>
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	AAC



動画機能	
録音装置	内蔵ステレオマイク、マイク感度設定可能
画像モニター	
画像モニター	3型TFT液晶モニター、約92万ドット、明るさ調整可能
再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（4、9、72分割またはカレンダーモード）、拡大再生、動画再生、パノラマ再生、スライドショー、ヒストグラム表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB
HDMI出力	HDMIミニ端子（Type C） 装備
電子コンパス/位置情報機能/高度計/水深計	
電子コンパス	16方位（3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動オフセット調整機能付き）
位置情報機能	<ul style="list-style-type: none"> • GPS：受信周波数（MHz）：1575.4200MHz、測地系：WGS84 • GLONASS：受信周波数（MHz）：1598.0625MHz～1605.3750MHz、測地系：WGS84
高度計	動作範囲：約-500～+4500 m（-1640～+14760 ft）
水深計	動作範囲：約0～20 m（0～65 ft）
表示言語	
表示言語	日本語、英語
電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20（1個使用）
ACアダプター	ACアダプター EH-5b（パワーコネクター EP-5Cと組み合わせて使用）（別売）
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法・質量	
寸法（W×H×D）	約113.3×71.5×37.5 mm（突起部を含まず）
質量	約356 g（バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップおよびOリングプロテクターを除く） 約313 g（本体のみ）



動作環境

温度	-10℃～+40℃（陸上） 0℃～+40℃（水中）
湿度	85%以下（結露しないこと）

耐衝撃/防水/防じん

耐衝撃性能※1、2	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件※3をクリアー
防水性能※2	JIS/IEC保護等級8（IPX8）をクリアー（当社試験条件による）水深15 m（49 ft）以内で60分までの撮影が可能
許容耐圧※2	水深15 m 以内
防じん性能※2	JIS/IEC保護等級6（IP6X）をクリアー（当社試験条件による）

※1 内蔵フラッシュを上げているときは、耐衝撃性能の保証対象外です。

※2 専用防水レンズ装着時

※3 MIL-STD 810F Method 516.5-Shockを基準に、高さ200 cmから厚さ5 cmの合板上へ落下させる試験です。なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。本製品の耐衝撃性能は当社試験方法によるもので、すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によります。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

バッテリーチャージャー MH-27

電源	AC 100～240 V、50～60 Hz、0.2 A
定格入力容量	13～21 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.6 A
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20
充電時間	約2時間 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約67.0×28.0×94.0 mm（突起部除く）
質量	約83 g



Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、1020 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法 (W×H×D)	約30.7×50.0×14.0 mm
質量	約41 g (端子カバーを除く)

レンズ 1 NIKKOR AW 11-27.5mm f/3.5-5.6

型式	防水1マウントレンズ
焦点距離	11 mm-27.5 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	6群8枚 (EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚)、他保護ガラス1枚
画角	72°- 32° 20'
最短撮影距離	撮像面から0.3 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	<ul style="list-style-type: none">• 焦点距離11 mm時 : f/3.5-16• 焦点距離27.5 mm時 : f/5.6-16
電子コンパス	カメラに取り付けた状態でカメラの電子コンパスを使用可能
アタッチメントサイズ	40.5 mm (P=0.5 mm)
耐衝撃性能	カメラに取り付けた状態でMIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件をクリア。なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。
防水性能※	JIS/IEC 保護等級 8 (IPX8) をクリア (当社試験条件による)
許容耐圧	水深15 m以内 (ただし、取り付けるカメラの許容耐圧によって異なる)
防じん性能※	JIS/IEC 保護等級 6 (IP6X) をクリア (当社試験条件による)
動作環境温度	<ul style="list-style-type: none">• 陸上 : - 10℃～+40℃• 水中 : 0℃～+40℃
寸法	約63 mm (最大径) × 56.5 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで)
質量	約182 g

※ 防水カメラに装着時

レンズ1 NIKKOR AW 10mm f/2.8

型式	防水1マウントレンズ
焦点距離	10 mm
最大口径比	1 : 2.8
レンズ構成	5群6枚（非球面レンズ2枚）、他保護ガラス1枚
画角	77°
最短撮影距離	撮像面から0.2 m
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	f/2.8-11
電子コンパス	カメラに取り付けた状態でカメラの電子コンパスを使用可能
アタッチメントサイズ	40.5 mm (P=0.5 mm)
耐衝撃性能	カメラに取り付けた状態でMIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件をクリアー。なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。
防水性能※	JIS/IEC 保護等級 8 (IPX8) をクリアー（当社試験条件による）
許容耐圧	水深20 m以内（ただし、取り付けるカメラの許容耐圧によって異なる）
防じん性能※	JIS/IEC 保護等級 6 (IP6X) をクリアー（当社試験条件による）
動作環境温度	• 陸上：- 10℃～+40℃ • 水中：0℃～+40℃
寸法	約61 mm（最大径）×30 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約118 g

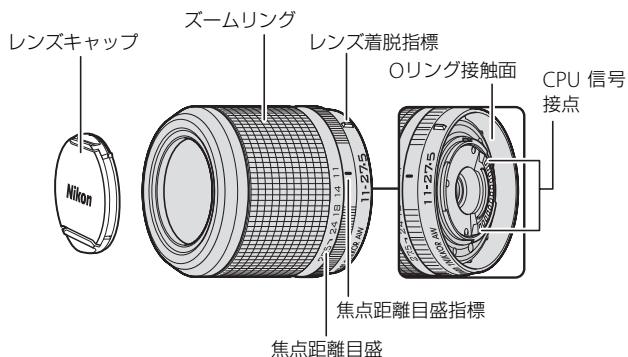
※防水カメラに装着時

- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

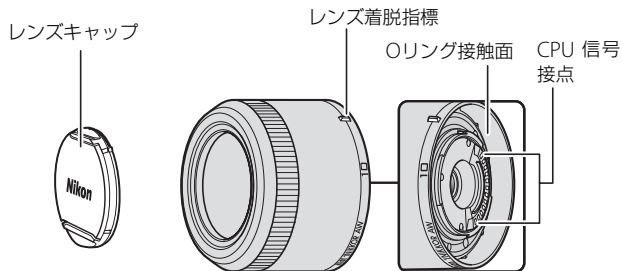


■ 防水1 NIKKORレンズについて

1 NIKKOR AW 11-27.5mm f/3.5-5.6



1 NIKKOR AW 10mm f/2.8



- これらのレンズは、レンズ交換式デジタルカメラ（Nikon 1）AW1専用です。撮影画角は、35mm判換算で約2.7倍の焦点距離に相当する画角になります。
- これらのレンズは、防水機能と耐衝撃性能を備えています。防水機能については、カメラに装着した状態でJIS/IEC保護等級8（IPX8）に相当します。AW1に装着した場合、水深15 m以内で使用できます。水中に持ち込むことができる最長時間は60分間です。また、耐衝撃性能については、カメラに装着した状態で落下高さ2 mまでの衝撃に耐える試験をクリアしています。
- レンズ単体の場合、上記の防水/防じん性および耐衝撃性はありません。
- これらのレンズの防水/防じんおよび耐衝撃性能は、全ての条件での防水/防じん、無破壊および無故障を保証するものではありません。
- ズームリングを行うには、ズームリングを回転させます。

🔪 付属アクセサリ

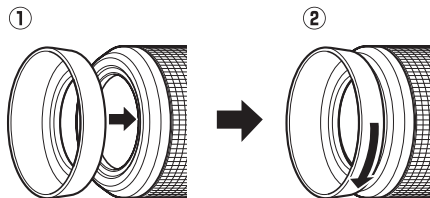
- 40.5mmスプリング式レンズキャップLC-N40.5
- 裏ぶた LF-N2000

🔪 使用できるアクセサリ

- 40.5mmネジ込み式フード HN-N103※

※フードを取り付けると、耐衝撃性能が失われます。水中では使用できません。

レンズフードHN-N103の取り付け方



▼ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- フードやレンズキャップなどの専用アクセサリ以外は、取り付けずにお使いください。
- フード（別売）をレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU信号接点やOリング接触面は汚さないようにご注意ください。異物が付着したときは、すぐにプロアーなどで取り除いてください。
- Oリング接触面に傷やヒビ割れ、変形などがある場合はニコンサービス機関にご相談ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。レンズ面に砂やゴミが付着した状態で強く拭かないでください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズをケースなどに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- ストープの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- このレンズにはOリングが内蔵されています。レンズ内蔵のOリングは消耗品です。使用頻度にかかわらず、少なくとも1年に1度はニコンサービス機関にお持ちになり、新品との交換を依頼してください（有料）。

▼ 水辺や水中で使用する場合のご注意

- 水中では、レンズを絶対に取り外さないでください。
- レンズの取り付けまたは取り外しをするときは、カメラのOリング、およびレンズのOリング接触面に、汚れや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒、液体などの異物が付着していないことを念入りにご確認ください。また、カメラのOリングがねじれたり、はみ出したり、外れたりしていないかご確認ください。
- 水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でレンズの取り付けまたは取り外しを行わないでください。
- 海水など、塩分や水分の付いた手で、レンズの取り付けまたは取り外しを行わないでください。
- Oリング接触面に水滴などの液体が付着したときは、すぐに清潔な柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 水中では、水深が深くなるほどズームリングの操作が重くなります。
- 万一、水漏れが確認された場合は、ただちに使用を中止し、カメラとレンズの水分を十分に拭き取り、カメラおよびレンズをニコンサービス機関にお持ちください。



■■ 別売のマウントアダプター FT1について

本書およびマウントアダプターFT1とレンズの使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

オートフォーカス (AF) でピントを合わせる

Nikon 1カメラでFT1を使ってオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-Sレンズを装着してください。その他のFマウント用NIKKORレンズの場合は、オートフォーカスでピント合わせはできません。マニュアルフォーカスをお使いください。

- オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードを**[AF-S]**または**[AF-C]** ※に設定してください。その他のオートフォーカスモードは設定できません。
- **[シングルポイント]** 以外のAFエリアモードは選べません。常に画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。
- **[顔認識]** は行いません。
- 撮影の状況により、ピントが合っていないなくても電子音が鳴ってAFエリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。

※ **[AF-C]** はFT1のファームウェアバージョンが「L : 1.10」以降のときに設定できます。



マニュアルフォーカス (MF) でピントを合わせる

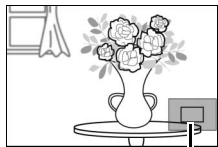
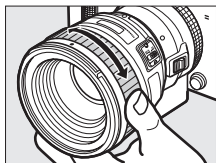
1 MF (マニュアルフォーカス) を選ぶ

- 撮影メニューの [フォーカスモード] (□170) で [MF] (マニュアルフォーカス) を選んでマルチセクターの▶を押し、マニュアルフォーカス時の拡大表示倍率を [拡大率×10]、[拡大率×5]、[拡大率×2]、[拡大率×1] (拡大表示しない) から選びます (□173)。
 - M/A (マニュアル優先オートフォーカス) モード機能付きのレンズをお使いの場合、カメラのフォーカスモードが [AF-S] または [AF-C] のときに、シャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスに切り替わります。オートフォーカス撮影に戻るには、カメラのシャッターボタンを半押しし直してください。



2 レンズのフォーカスリングを回して、ピントを合わせる

- 画面上のメインの被写体をはっきり見えるようにピントを合わせます。
- OK ボタンを押すと、画面の中央部が手順1で選んだ倍率で拡大表示され、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ (グレーの枠) が表示されます。
- マルチセクターの▲▼◀▶で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。
- OK ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

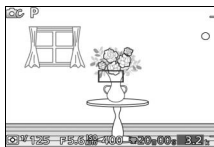


ナビゲーション
ウィンドウ

※ 動画撮影中またはアドバンスト動画モードが [スローモーション] の場合は、OK ボタンを押しても拡大表示されません。

フォーカスエイドについて

CPUレンズ装着時にマニュアルフォーカスで撮影するときは、液晶モニターのポイント表示（●）でポイントが合っているかどうかを確認できます。この場合、画面中央のAFエリアが、ポイントが合っているかどうかの基準となります。



- ポイントが合うと、ポイント表示（●）が表示されます。

ポイント表示	カメラの操作
●（点灯）	被写体にポイントが合っています。
▶（点灯）	目的の被写体よりも手前にポイントが合っています。
◀（点灯）	目的の被写体よりも後方にポイントが合っています。
▶ ◀（点滅）	ポイント合わせができません。

- オートフォーカスの苦手な被写体では、ポイントが合っていないなくてもポイント表示（●）が点灯することがありますので、被写体にポイントが合っていることを確認してください。

FT1使用時の警告について

液晶モニター下部の絞り値表示部に表示される警告の意味は次の通りです。

表示	原因	対処方法
FEE	レンズの絞りリングが最小絞りになっていません。	絞りリングのあるCPUレンズの場合、レンズの絞りリングを最小絞り（最も大きい値）にしてください。
F--	• レンズが装着されていません。 • 非CPUレンズが装着されています。	非CPUレンズを使用する際は、レンズの絞りリングで絞り値を設定してください。



FT1使用時の制限について

- オートモード、ベストモーメントキャプチャーモードでは撮影できません。
- モーションスナップショットモードの場合、AF-Sレンズ使用時にオートフォーカスでピントが合った場合にのみ撮影可能です。このとき、フォーカスリングには触れないでください。
- 1秒以下の低速シャッタースピードには設定できません。
- レンズのフォーカス作動ボタン（フォーカスロック/メモリーリコール/AF作動）と電子音スイッチは無効になります。

FT1使用時のご注意

- 質量が380gを超えるレンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持ちたり、カメラに取り付けたストラップだけを持ちたりしないでください。カメラのマウント部分が破損するおそれがありますので、必ずレンズを持ってください。
- 非CPUレンズで絞りを絞って撮影する場合、画像上に線状のノイズが発生することがあります。
- 動画撮影中にレンズの動作音が気になる場合は、撮影モードを[マニュアル] (M) または [絞り優先オート] (A) にして撮影してください。
- [連写とセルフタイマー] を [5fps] にして連続撮影する場合、連続撮影速度が遅くなる場合があります。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。また、AF補助光は点灯しますが、レンズによるケラレのため使用できません。
- 開放絞りがF1.4のレンズで、絞りを開いて撮影した場合、撮影条件によっては円ボケ（丸ボケ）の上下が欠けることがあります。
- FT1を使用した場合は、防水および耐衝撃性能を満たしません。



このカメラの準拠規格

- **Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0** : 各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- **DPOF (Digital Print Order Format)** : デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- **Exif Version 2.3** : (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras) : デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- **PictBridge** : デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- **HDMI (High-Definition Multimedia Interface)** : 家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft, WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OSおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI, HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。



電池寿命について

電池寿命は、次の通りです。

- 静止画撮影時：約250コマ※1
- 動画撮影時：約55分※2

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は次の通りです。

- 30秒ごとに1回撮影
- 2回に1度、内蔵フラッシュを発光する
- 10回に1度、電源をON/OFFする。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分（1080/60i）です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- SDカードは東芝社製16GBのSDHC UHS-Iカード（SD-E016GUX）を使用
- 装着レンズは1 NIKKOR AW 11-27.5mm f/3.5-5.6
- フル充電したバッテリー（EN-EL20）を使用
- 温度23℃（±3℃）
- カメラは初期設定状態

バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって、電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- パワーズームレンズ使用時にズーム動作を繰り返した場合
- ワイヤレスモバイルアダプターを使用した場合
- 位置情報機能を使用した場合
- ログデータを取得した場合
- 液晶モニターの明るさを【Hi】にした場合





Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20の性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。



索引

マーク・英数字

-  (オートモード)10, 25
-  (クリエイティブモード) ..10, 34
-  (ベストモーメントキャプチャーモード).....10, 74
-  (アドバンスド動画モード) 10, 64
-  (モーションスナップショットモード).....10, 82
-  (おまかせシーン) 159
- P** (プログラムオート)
..... 35, 37, 64, 159
- S** (シャッター優先オート)
..... 35, 38, 64, 159
- A** (絞り優先オート) ... 35, 39, 64, 159
- M** (マニュアル) 35, 40, 64, 159
-  (夜景)35
-  (夜景ポートレート)35
-  (逆光)36, 44
-  (ソフト)36
-  (ミニチュア効果)36
-  (セレクトカラー)36
-  (スローモーション).....70
-  (ポートレート).....30
-  (風景)30
-  (夜景ポートレート)30
-  (クローズアップ)30
-  (夜景)30
-  (オート)30
- *** (プログラムシフト)37
- MENU** (メニュー) ボタン
..... 9, 146, 156, 181, 185, 201
-  (再生) ボタン.....28, 80, 85
-  (削除) ボタン
..... 29, 69, 81, 85, 120
-  (OK) ボタン8, 47
- Q** (拡大) ボタン 119
-  (縮小/サムネイル) ボタン ... 117
- DISP** (表示切り換え) ボタン7
-  (アクション) ボタン95
- F** (フィーチャー)
..... 12, 32, 70, 84, 121
-  (連写/セルフタイマー) 86, 88
-  (セルフタイマー)88
-  (露出補正)90
-  (レディーライト)91
-  (マルチパターン測光) 164
-  (中央部重点測光) 164
-  (スポット測光)..... 164
-  (オートエリア) 175
-  (シングルポイント) 175
-  (ターゲット追尾) 175
- 1コマ表示.....28
- ACアダプター 214, 221
- Adobe RGB (色空間)..... 166
- AF-A** (AF自動切り換え) 170
- AF-C** (コンティニュアスAF) 171
- AF-F** (常時AF) 171
- AF-S** (シングルAF) 170
- AFエリア 26, 175
- AFエリアモード 175
- AF自動切り換え 170
- AF補助光 178
- A-GPSファイル更新 107
- BASIC 160
- BGM 84, 123, 134, 155
- Bulb 42
- Capture NX 2 160, 198, 215
- CEC 138
- Custom Picture Control (カスタムピクチャーコントロール)
..... 193, 197
- D-ライティング 150

DCF Version 2.0	264
DPOFプリント (PictBridge)	141
DPOF (Digital Print Order Format)	145, 264
Exif Version 2.3	264
Eye-Fi	220
FINE	160
FT1	213, 260
HDMI	136
HDMI-CEC	138
HDMIの機器制御	138, 202
HDR	44, 157
HD動画	64, 65
H.264	252
INDEXプリント (PictBridge)	141
ISO感度設定	192
JPEG	160
k (1000コマ以上補助表示)	24
L (画像サイズ)	161
Li-ionリチャージャブルバッテリー	14, 15
M (画像サイズ)	161
MF (マニュアルフォーカス)	173, 261
MOV	161, 164, 252
NEF	160
Nikon Transfer 2	130
NORMAL	160
Oリング	18, 60, 214
Oリングプロテクター	216
Oリングリムーバー	60, 214
PictBridge (ピクトブリッジ)	139, 264
Picture Control (ピクチャーコントロール)	193
PRE (プリセットマニュアル)	186, 189
RAW	160

r (連続撮影可能コマ数)	87
S (画像サイズ)	161
SDカード	15, 17, 204, 219
Short Movie Creator	133
sRGB (色空間)	166
USBケーブル	129, 139
UTC	103, 106
ViewNX 2	125, 131
WU-1b	98, 215

ア

アウトドア表示	97
赤目軽減発光 (フラッシュモード)	92
明るさ (ピクチャーコントロール)	195
アクションボタン	95
アクセサリ (使用できるアクセサリ)	213
アクティブD-ライティング	167
アシストGPS	107
アドバンスト動画モード	10, 64, 70
後幕発光 (フラッシュモード)	92
位置情報	xxiv, 103
位置情報記録	103
位置情報ログ	109
色合い (色相) (ピクチャーコントロール)	195
色温度	188
色空間	166
色の濃さ (彩度) (ピクチャーコントロール)	195
印刷 (プリント)	139
液晶モニター	5, 7, 114, 205
絵づくりのリセット	185
絵づくりメニュー	185
オートエリア	175
オートパワーオフ	21, 106, 206
オートフォーカス	170, 175



オートモード	10, 25
音の設定	206
おまかせシーン	159

カ

カードなし時リリース	204
カードの初期化 (フォーマット)	17, 204
顔認識	31, 177
拡大時顔優先	153
拡大表示	119
拡大ボタン	119
風切り音低減 (動画音声の設定)	184
画質モード	160
カスタムピクチャーコントロール	193, 197
画像サイズ	161
画像の保存枚数	162
画像をテレビで見る	136
画像をパソコンに取り込む	129
カレンダー表示	118
かんたんパノラマ	45
感度自動制御	192
逆光	36, 44
距離基準マーク	174
記録可能コマ数	24, 234
クイック調整 (ピクチャーコントロール)	195
クリエイティブモード	10, 34
クローズアップ (水中モード)	53
言語 (Language)	211
現在地の設定 (地域と日時)	22, 210
光学手ブレ補正	169
高感度ノイズ低減	200
格子線の表示	26, 205
高度計	100, 102
高度計/水深計表示	208
高度/水深設定	208

高度/水深単位	208
高度/水深補正	208
コマ送り	67
コンティニュースAF	171
コントラスト (ピクチャーコントロール)	195

サ

サイズ	161, 183
再生	114
再生メニュー	146
先取り撮影	79, 83
先幕発光 (フラッシュモード)	92
削除	29, 69, 81, 85, 120
撮影速度 (スローモーション動画)	182
撮影直後の画像確認	149
撮影メニュー	156
撮影メニューのリセット	159
撮影モード	10
サマータイム (夏時間)	210
サムネイル表示	117
自動日時合わせ	106
自動ゆがみ補正	165
絞り値	39, 40
絞り優先オート	35, 39, 64, 159
シャッタースピード	38, 40
シャッターボタン	26, 30
シャッター優先オート	35, 38, 64, 159
縮小/サムネイルボタン	117
詳細表示	5, 7
常時AF	171
使用できるレンズ	213
情報表示 (位置情報)	106
ショートムービー	133
初期化 (フォーマット)	17, 204
初期設定一覧	233
シリコングリス	20, 62, 214



シングルAF.....	170	ダストシールド.....	2, 223, 225
シングルポイント.....	175	縦位置自動回転.....	149
シンプル表示.....	7	縦横位置情報の記録.....	211
水準器.....	100, 101	地域と日時.....	22, 210
推奨SDカード.....	219	チャージャー.....	14, 214, 254
水深計.....	55, 102, 208	中央部重点測光（測光モード）.....	164
水深ログ.....	109	調光範囲.....	94
水中（クリエイティブモード）	52, 53	長時間露出.....	42
水中フラッシュ.....	180, 215	調色（ピクチャーコントロール）	195, 196
ズームリングボタン.....	217, 218	長秒時ノイズ低減.....	168
スタンダード（ピクチャーコント ロール）.....	193	通常発光（フラッシュモード）.....	92
スタンダード（水中モード）.....	53	テーマの変更.....	155
スポット測光（測光モード）.....	164	テーマ（モーションスナップショット モード）.....	84
スマートフォトセクター.....	77	手ブレ補正.....	169, 170
スライドショー.....	122	デモモード.....	204
スローシャッター（フラッシュ モード）.....	92	テレビ.....	136
スロービュー.....	74	電子コンパス補正.....	113
スローモーション動画.....	70, 182	電子手ブレ補正.....	170
設定できる機能一覧.....	229	動画.....	64, 153, 183, 184
節電機能（オートパワーオフ）.....	21	動画音声の設定.....	184
セットアップのリセット.....	203	動画撮影のリセット.....	182
セットアップメニュー.....	201	動画撮影ボタン.....	65, 71
セルフタイマー.....	88	動画撮影メニュー.....	181
セレクトカラー.....	36	動画の設定.....	183
全押し（シャッターボタン）.....	30	動画の前後比率.....	163
全画像削除.....	120	動画編集.....	153
選択画像削除.....	120	統合表示.....	7, 115
操作ボタンロック.....	207	動作環境.....	127
測光モード.....	164	時計用電池.....	22
ソフト.....	36	トリミング.....	152

タ

ターゲット追尾.....	175, 176
耐衝撃性能.....	xix, xx
ダイビング（水中モード）.....	53
ダイレクトプリント.....	139

ナ

内蔵AF補助光の照射.....	178
内蔵フラッシュ.....	91
夏時間の設定（地域と日時）.....	210
日時の設定（地域と日時）.....	22, 210



ニュートラル (ピクチャーコントロール)..... 193

八

ハイコントラスト表示 205
ハイビジョンテレビと接続する ... 136
パソコン 125
バッテリー 14, 15, 214, 255
バッテリー残量 24
バッテリーをカメラに入れる 15
バッテリーを充電する 14
パノラマ標準 162, 235
パノラマワイド 162, 235
パワーコネクター 214, 221
パワードライブズームスイッチ ... 218
半押しAEロック 207
半押し (シャッターボタン)
..... 26, 30, 71
ピクセルマッピング 212
ピクチャーコントロール 193
ヒストグラム表示 116
日付の表示順 (地域と日時) 210
日付プリント (PictBridge) 143
ビビッド (ピクチャーコントロール)
..... 193
非防水レンズ 216
ファームウェアバージョン 212
ファイル形式 164
フィーチャーボタン
..... 12, 32, 70, 84, 121
風景 (ピクチャーコントロール)
..... 193
フォーカスモード 170, 173
フォーカスロック 177
フォーマット (カードの初期化)
..... 17, 204
フチ設定 (PictBridge) 143
フラッシュ 91, 179, 180
フラッシュ調光補正 180

フラッシュ発光 179
フラッシュモード 92
プリセットマニュアル 186, 189
フリッカー低減 209
プリント 139
プリント画像選択 (PictBridge)
..... 141
プリント実行 (PictBridge)
..... 140, 142
プリント指定 (DPOF) 145
プリント設定 143
プログラムオート 35, 37, 64, 159
プログラムシフト 37
プロテクト設定 149
ベストショット 74
ベストモーメントキャプチャーモード
..... 10, 74
方位 100, 101
防水/防じん性能 xix, xxi
防水レンズ 18, 257
ポートレート (ピクチャーコントロール)
..... 193
ボディキャップ 2, 215
ホワイトバランス 186
ホワイトバランスの微調整 187

マ

マイク 184
枚数設定 (PictBridge) 143
マウントアダプター 213, 260
マニュアル 35, 40, 64, 159
マニュアル発光モード 179
マニュアルフォーカス 173, 261
マルチセレクター 8
マルチパターン測光 (測光モード)
..... 164
ミニチュア効果 36
メモリーカード 15, 17, 204, 219
メモリーカードの初期化 17, 204



モーションスナップショットモード	10, 82
モニターの明るさ	205
モニター表示	205
モノクローム (ピクチャーコントロール)	193

ヤ

夜景	35
夜景ポートレート	35
用紙設定 (PictBridge)	143

ラ

ライブコントロール	32
陸上専用ストラップ	14
リサイズ	151
リセット	159, 182, 185, 203
輪郭強調 (ピクチャーコントロール)	195
レーティング	121, 150
レディーライト	91
連写 (連続撮影)	86
レンズの取り付け	18, 216
レンズの取り外し	20, 218
レンズマウント	174
連続撮影可能コマ数	87, 234
連番リセット	209
録音設定 (動画音声の設定)	184
録画可能残り時間	65
ログ取得	109
ログデータ削除	112
露出インジケーター	41
露出補正	90
露出モード	159

ワ

ワイヤレスモバイルアダプター	98, 215
----------------	---------



ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階

営業時間：10:30～18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)

0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)

0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)

0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。



- ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※ 内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。



製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**